

# 令和7年度第2回大田圏域地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会（地域医療構想調整会議関係者会議）

日 時：令和8年2月13日（金）13：30～15：00

場 所：県央保健所集団指導室（オンライン併用）

## 1. あいさつ

## 2. 協議事項

### （1）地域医療構想の進捗状況について

- － 大田圏域の状況【資料1】
- － 各病院の状況【資料2】

### （2）島根県保健医療計画の大田圏域における取組について【資料3】

- － 医療連携体制の構築
- － 地域医療
- － 在宅医療
- － 外来医療に係る医療提供体制の確保（外来医療計画）
- － 緩和ケア及び人生の最終段階における医療
- － 保健医療従事者の確保・育成（医師確保計画を含む）

### （3）紹介受診重点医療機関について【資料4】

### （4）大田圏域地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会運営要領の改正について【資料5】

### （5）へき地医療重点支援地区について【資料6】

## 3. 報告事項

### （1）地域医療構想に係る今後の取組について【資料7】

### （2）在宅医療・介護連携に係る取組について【資料8】

### （3）救急医療提供体制について【資料9】

## 出席者名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
大田市医師会	会 長	木島 良民	
邑智郡医師会	会 長	河野 圭一	欠席
大田邑智歯科医師会	会 長	森脇 真樹	
島根県薬剤師会大田支部 (なの花薬局石見大田店)	薬局長	土屋 雄太	
大田市立病院	院 長	山形 真吾	代理：事務部長 板垣 譲次
公立邑智病院	院 長	山口 清次	同席：副院長 日高 武英(オンライン)
社会医療法人仁寿会加藤病院	病院長	大畑 修三	オンライン
特定医療法人恵和会石東病院	院 長	安田 英彰	オンライン
島根県訪問看護ステーション協会 大田支部	支部長	柳樂 京子	オンライン
大田地域介護支援専門員協会	幹 事	森山 真吾	
大田市介護サービス事業者協議会	会 長	野際 智紀	
邑智郡老人福祉施設協議会	会 長	中村 英史	
健康保険組合連合会島根連合会	常任理事	乙社 修司	欠席
大田市地域医療推進課	課 長	松本 朱美	
大田市介護保険課	課 長	中村 正一	
川本町健康福祉課	課 長	高砂 康喜	オンライン
美郷町健康福祉課	課 長	志村 幸恵	オンライン
邑南町医療福祉政策課	課 長	坂本 晶子	オンライン
邑南町保健課	課 長	岩井 和也	オンライン
<事務局> 県央保健所	所 長	藤井 俊吾	
	総務保健部長	深崎 美樹	
地域包括ケア推進スタッフ 医事・難病支援課	主任保健師	三島 あゆみ	
	課 長	遠藤まどか	
	係 長	佐野 優子	
	主 幹	甲斐 功一	
	保健師	霊山 明日香	

## 大田圏域地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会運営要領

### (目的)

第1条 「医療介護総合確保推進法」の成立により、病院、有床診療所における病床機能報告制度、県による地域医療構想の策定が制度化され、地域包括ケアシステムの構築を見据えて、医療と介護の一層の連携が求められている。

併せて、消費税増収分を財源として、医療・介護サービスの提供体制改革を推進するための新たな財政支援制度が創設されたところである。

このため、大田圏域の医療・介護サービスの提供体制に関する情報共有・意見交換の場として、「大田圏域地域保健医療対策会議」に「医療・介護連携部会」（以下「部会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 部会は、次に掲げる事項について情報共有、意見交換等を行う。

- (1) 大田圏域の医療・介護サービスの提供体制に関すること。
- (2) 新たな財政支援制度に対する圏域内の要望事項に関すること。
- (3) その他、圏域内の医療と介護の連携に関すること。

### (組織)

第3条 部会の委員は、地域の病院、市郡医師会、市町、介護サービス事業者の代表者等及び保健所長をもって構成することとし、別表のとおりとする。

2 必要に応じ、その他の関係者を参加させることができる。

### (運営)

第4条 部会は、必要に応じ、県央保健所長が招集し開催する。

### 附則

この要領は、平成26年9月2日から施行する。

この要領は、令和1年11月28日から施行する。

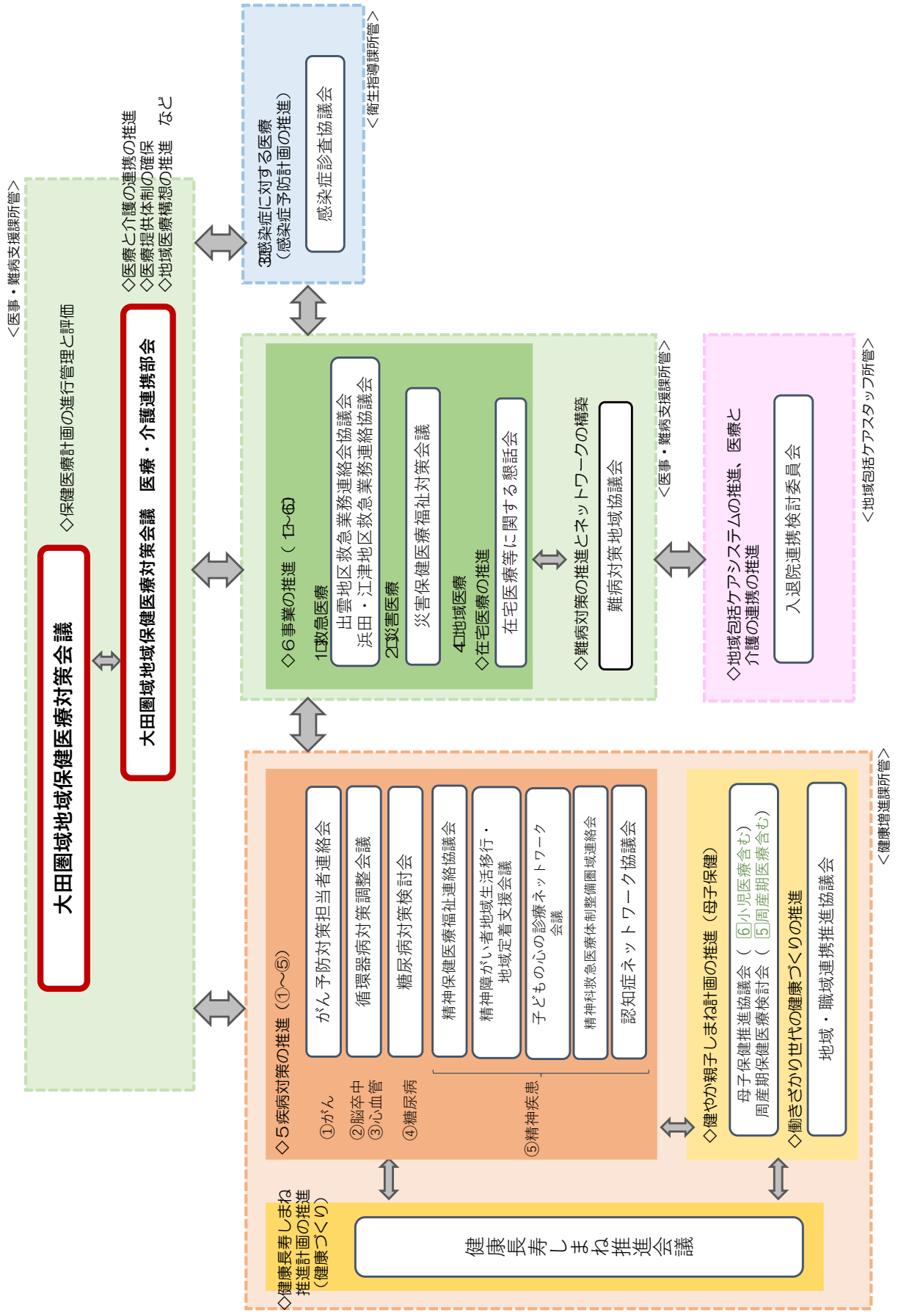
この要領は、令和5年3月1日から施行する。

この要領は、令和6年6月25日から施行する。

#### 別表

大田市医師会
邑智郡医師会
大田邑智歯科医師会
島根県薬剤師会大田支部
大田市立病院
公立邑智病院
加藤病院
石東病院
島根県訪問看護ステーション協会大田支部
大田地域介護支援専門員協会
邑智郡老人福祉施設協議会
大田市介護サービス事業者協議会
健康保険組合連合会島根連合会
大田市 地域医療推進課
大田市 介護保険課
川本町 健康福祉課
美郷町 健康福祉課
邑南町 医療福祉政策課
邑南町 保健課

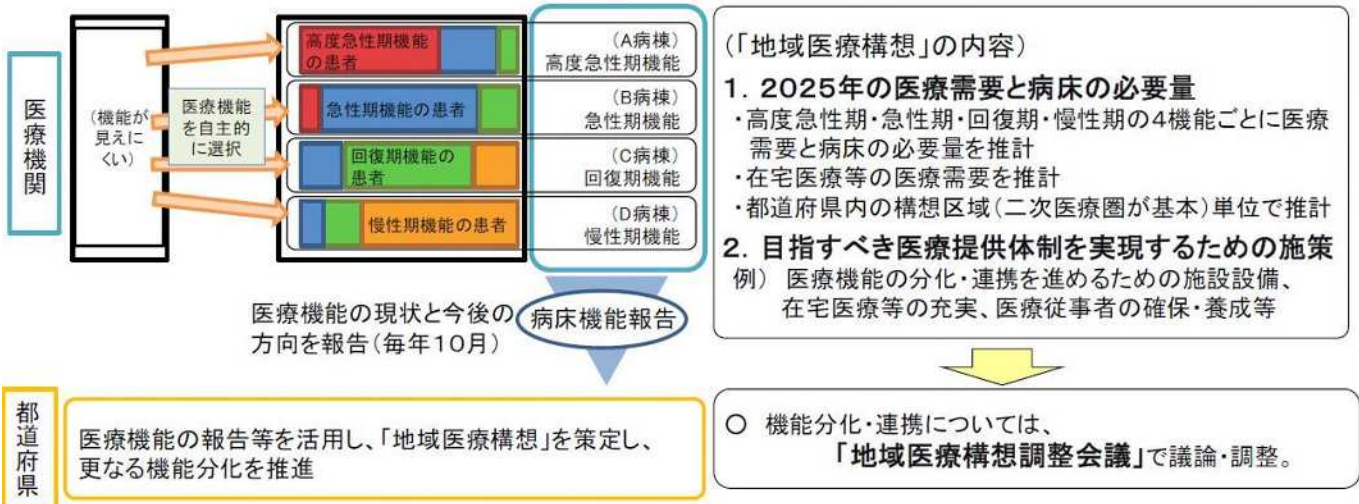
# 島根県保健医療計画に係る県中央保健所の検討体制



## 地域医療構想の進捗状況について 大田圏域の状況

### 地域医療構想

- 今後の人口減少・高齢化に伴う医療ニーズの質・量の変化や労働力人口の減少を見据え、質の高い医療を効率的に提供できる体制を構築するためには、医療機関の機能分化・連携を進めていく必要。
- こうした観点から、各地域における2025年の医療需要と病床の必要量について、医療機能(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)ごとに推計し、「**地域医療構想**」として策定。  
 その上で、各医療機関の足下の状況と今後の方向性を「**病床機能報告**」により「見える化」しつつ、各構想区域に設置された「**地域医療構想調整会議**」において、病床の機能分化・連携に向けた協議を実施。



**趣旨**

○令和（2025）年に向けて、適切な医療・介護の提供体制構築の検討を進めるためのもの

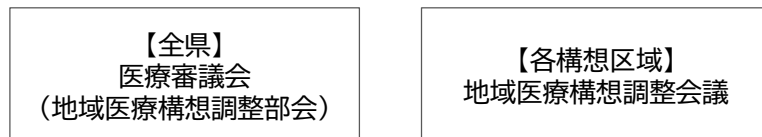
**内容**

- 国の定めた算定式に基づき推計した令和7（2025）年の必要病床数
- 構想区域（二次医療圏域）ごとの課題と医療提供体制の構築の方向性



- ① 医療機関の医療機能分担と相互連携
- ② 医療と介護の連携による円滑な入退院時連携体制の構築
- ③ 医療・介護従事者の確保・育成
- ④ 構想区域を超えた救急搬送体制の整備
- ⑤ ICTの活用による地域連携の強化・診療支援
- ⑥ 医療体制の現状と今後のあり方に関する住民への理解促進

⇒①～⑥の達成のため、継続して検討を重ねる  
※検討の過程で解決に向け国の対応が必要なものについては、国に政策提言する



構想区域別地域医療構想（大田区域）

**現状・課題**

- 入院患者について、主に隣接する出雲区域、浜田区域及び広島県へ流出しており、区域内完結率は約5割。
- 区域内の病院の慢性期病棟が廃止されるに伴い、慢性期機能が不足することが懸念される。

**今後の方向性**

- 急性期の一部（整形外科等）及び回復期以降については、機能の充実や病院間の連携促進により自区域内での完結を目指す。
- 国・県における検討・調査も参考に、区域として必要な慢性期機能について継続的に検討していく。

## 病床機能報告

### 制度の概要

- 地域医療構想の策定にあたり、地域の医療機関が担っている医療機能の現状把握、分析を行う必要がある
- そのために必要なデータを収集するため、医療機関がその有する病床（一般病床及び療養病床）において担っている医療機能を自ら選択し、病棟単位を基本として都道府県に導入する仕組みが導入された
- また、医療機能の報告に加えて、その病棟の設備や医療スタッフの配置、医療行為の内容についても報告することとしている

### 報告された情報の公表

- 報告された情報を公表し、地域医療構想とともに示すことにより、関係機関や住民等が、地域の医療提供体制の現状と将来の姿について、共通認識をもつことができ、協議や取組が進む

### 4つの医療機能について

高度急性期	・急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期	・急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期	・急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能 ・特に、急性期を経過した脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者に対し、ADLの向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能（回復期リハビリテーション機能）
慢性期	・長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能 ・長期にわたり療養が必要な重度の障がい者（重度の意識障がい者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

## 令和6年度病床機能報告（確定版）の結果（大田圏域）

2024（令和6年）7月1日時点

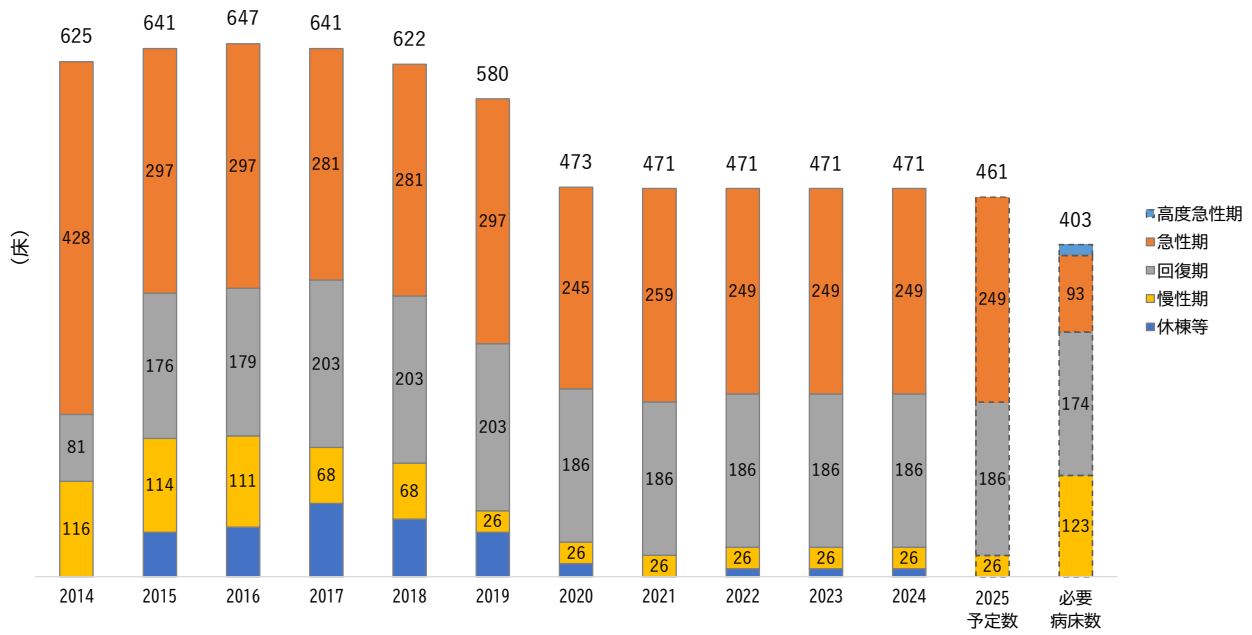
（単位：床）

施設名称	全体	内訳					
		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中 (再開予定)	休棟中 (廃止予定)
大田市立病院	225	0	135	90	0	0	0
加藤病院	81	0	0	55	26	0	0
公立邑智病院	98	0	57	41	0	0	0
郷原医院	10	0	0	0	0	0	10
大田呼吸循環クリニック	19	0	19	0	0	0	0
福田医院	19	0	19	0	0	0	0
上垣医院	16	0	16	0	0	0	0
ふじわら眼科クリニック	3	0	3	0	0	0	0
大田圏域計	471	0	249	186	26	10	10

※郷原医院の10床は令和7年3月31日廃止

# 大田圏域での機能別病床数の推移

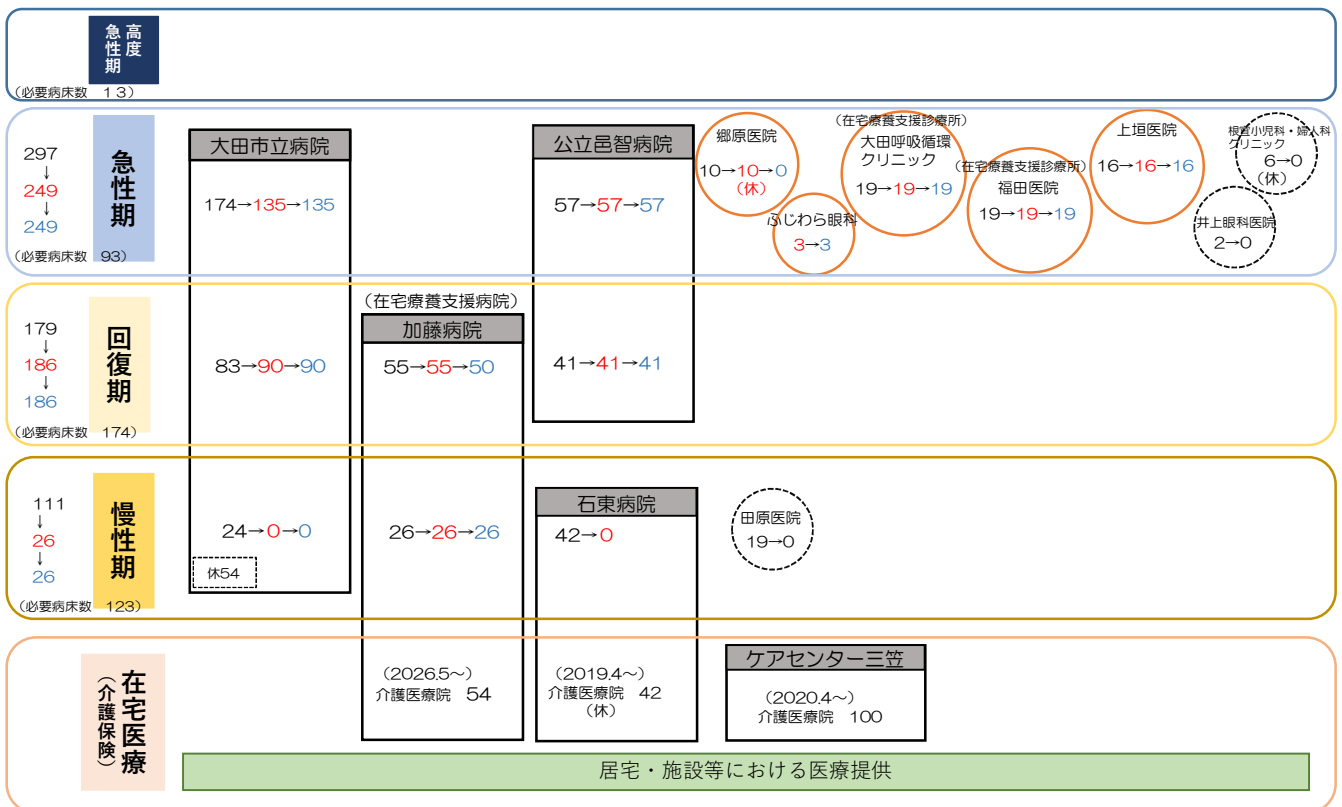
2024、2025予定数は、令和6年度病床機能報告（確定版）より  
基準日：2024（令和6年）7月1日時点



病床機能報告

## 医療機関別の病床数推移

病床数：H28（2016）→R6（2024）→R7（2025予定数）



病床機能報告

## 慢性期医療の提供体制

### 年齢調整標準化レセプト比（SCR）による検討

－SCRとは、ある医療行為について、全国の性年齢階級別出現率で発生した場合の期待値を求め、この値で実際の出現率を除して100をかけたもの

－大田圏域では、外来医療、一般病棟入院サービス提供料が全国より少ない一方、訪問診療や往診、介護施設等の利用が多い

二次医療圏	初再診料 _2	一般病棟 入院基本 料等_1	療養病棟 入院基本 料_1	有床診療 所入院基 本料_1	回復期リ ハビリ テーション 病棟入 院料_1	地域包括 ケア入院 医療管理 料_1	往診等_2	緊急往診 加算等	在宅患者 訪問診療 料等_2	救急搬送 診療料	看取り加 算_在宅患 者訪問診 療料往診 料	訪問看護 指示料_2	介護施設 SCR*	サ高住 SCR*	SS SCR*	訪問看護 SCR*	通所サー ビスSCR*	訪問介護 SCR*
3201松江	99.1	109.7	61.5	60.4	142.3	144.5	101.2	63.7	104.0	63.1	43.3	140.3	152.1	101.3	114.4	143.7	123.5	133.7
3202豊南	56.6	79.3	74.6	0.0	0.0	135.9	128.3	142.4	87.2	171.4	32.9	80.6	NA	NA	NA	NA	NA	NA
3203出雲	112.6	91.8	159.7	140.4	133.7	0.0	200.9	199.2	120.5	461.1	97.7	147.2	114.4	89.9	119.6	66.6	101.0	87.2
3204大田	75.2	52.2	0.0	80.1	0.0	231.2	143.9	181.9	116.5	324.4	68.7	86.9	172.3	58.4	157.7	66.1	145.6	47.9
3205浜田	86.3	85.3	158.9	123.9	0.0	0.0	131.1	200.7	74.7	142.9	86.1	90.5	150.6	0.0	112.0	116.7	96.6	104.1
3206益田	93.9	111.9	0.0	0.0	0.0	175.0	87.1	75.2	96.9	72.6	60.5	56.0	138.5	50.2	125.2	34.3	87.0	42.1
3207隠岐	38.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	121.7	52.4	196.3	108.0	21.6	166.2	0.0	211.6	20.3	87.3	88.4

令和5年度「島根県内19市町村単位での人口推計、医療介護需要の推計作業及び分析作業」報告書  
産業医科大学ヘルスマネジメントシステム有限責任事業組合

「慢性期医療＝入院医療＋施設介護＋在宅医療」と捉えた場合、  
大田圏域の実情に合った配分を考える必要がある

## 介護保険施設の整備状況（1/2）

### ① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 令和7年7月1日時点

市町村	事業所名	定員
大田市	特別養護老人ホーム 眺峰園	70
	介護老人福祉施設 サンシルバー さわらび	80
	指定介護老人福祉施設 サンデイズ双葉園	50
	ゆうイング さわらび	50
	特別養護老人ホーム 湯の郷苑	50
	特別養護老人ホーム しおさい	30
川本町	介護老人福祉施設 みどりの里やすらぎ荘	30
美郷町	特別養護老人ホーム 双葉園	50
	指定介護老人福祉施設 ハートランド双葉園	30
邑南町	特別養護老人ホーム ゆめあいの丘	30
	特別養護老人ホーム あさぎり	30
	特別養護老人ホーム 桃源の家	100
計		600

島根県高齢者福祉課ホームページ

## 介護保険施設の整備状況（2/2）

### ② 介護老人保健施設 令和7年9月1日時点

市町村	事業所名	定員
大田市	介護老人保健施設 恵寿苑	60
	介護老人保健施設 たてがみの郷 多床室型	18
	介護老人保健施設 たてがみの郷 ユニット型	32
川本町	介護老人保健施設 仁寿苑	36
邑南町	介護老人保健施設 サンホームみずほ	90
計		236

### ③ 介護医療院 令和7年10月1日時点

市町村	事業所名	定員
大田市	石東病院介護医療院【休止中】	—
邑南町	介護医療院ケアセンター三笠	100
計		142

島根県高齢者福祉課ホームページ

## 現状と課題、今後の方向性について

現状と課題	今後の方向性
<p>○病院</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田市立病院 令和2年5月に新病院開院</li> <li>・公立邑智病院 令和7年1月に新病院開院</li> <li>・加藤病院 令和8年5月新病院開院予定 介護老人保健施設を廃止し、介護医療院開設予定</li> <li>・石東病院 平成31年4月に介護医療院開設 令和7年度現時点休止中</li> </ul> <p>⇒おおむね病床再編に目途 圏域全体では慢性期病床が相対的に不足</p> <p>○診療所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想策定後、複数の有床診療所が閉院</li> <li>・医師の高齢化、後継者不足</li> </ul> <p>○地域医療における連携等の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4病院による医療機能連携協定の締結（平成30年）</li> <li>・4病院の地域連携室による定期的な連絡会議の開催</li> <li>・大田圏域入退院連携ガイド、邑智郡地域連携ハンドブックの活用</li> <li>・まめネットの活用等による他圏域を含めた情報連携</li> </ul> <p>○市町ごとの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田市 隣接自治体や病院との意見交換会の開催</li> <li>・川本町 町内医療機関による医療MaaSの実証事業</li> <li>・美郷町 IP告知端末を活用したオンライン診療の実施</li> <li>・邑南町 町独自の地域医療構想の策定（令和3年）</li> </ul>	<p>○2025年の医療提供体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4病院を中心に、他圏域の医療機関とも連携して必要な医療提供体制を確保</li> <li>・不足する慢性期病床については、急性期・回復期病床の柔軟な運用のほか、在宅医療の実施、介護保険施設における医療的ケアの充実等により補完</li> <li>・まめネットやオンライン診療等、ICTの活用による効率的で質の高い医療提供を一層促進</li> </ul> <p>○2040年頃を見据えた医療提供体制の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療を含む一次医療について、市町単位での議論を促進</li> <li>・保健所では、診療所医師を中心とした在宅医療等に関する意見交換の場を設置し、幅広いテーマで議論を実施</li> <li>・県が令和8年度に策定する新たな地域医療構想を基に、構想区域ごとの検討を進める</li> </ul>

公立邑智病院本館棟建て替え事業進捗について

- 平成 28 年 2 月から進めて参りました公立邑智病院本館棟建て替え事業ですが、皆様のおかげで令和 7 年 12 月をもって完了し、本年 1 月にグランドオープンいたしました。



旧本館棟解体後、駐車場を整備



R8.1.5 から場外ヘリポート再開  
初日にランデブー症例があった



R7.6 に A・B 棟改修工事が終了



地域包括ケア病棟は、3 色の扉で温かみを感じられる空間に。

# 社会医療法人仁寿会加藤病院 2026年5月1日OPEN



## 施設概要

### ■住所

邑智郡川本町大字川本332-16

### ■延床面積

4124.16㎡

### ■構造

地上3階 鉄筋コンクリート造 全室個室

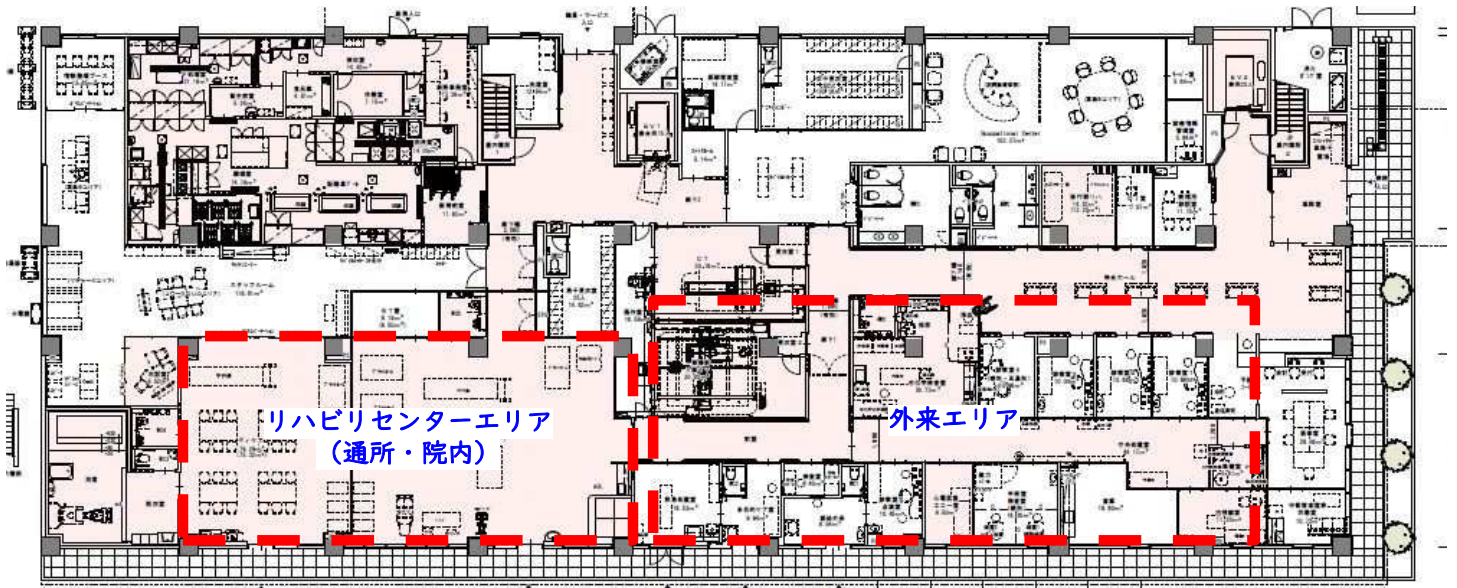
## 病床機能変更

	2025年8月現在 <u>117床</u>	2026年5月～ <u>104床</u>
地域包括ケア病棟	55	<u>50</u>
医療療養病棟	26	廃止 ↓
介護医療院 ※基準Ⅰの(1)		<u>54</u>
介護老人保健施設	36	↑ 廃止

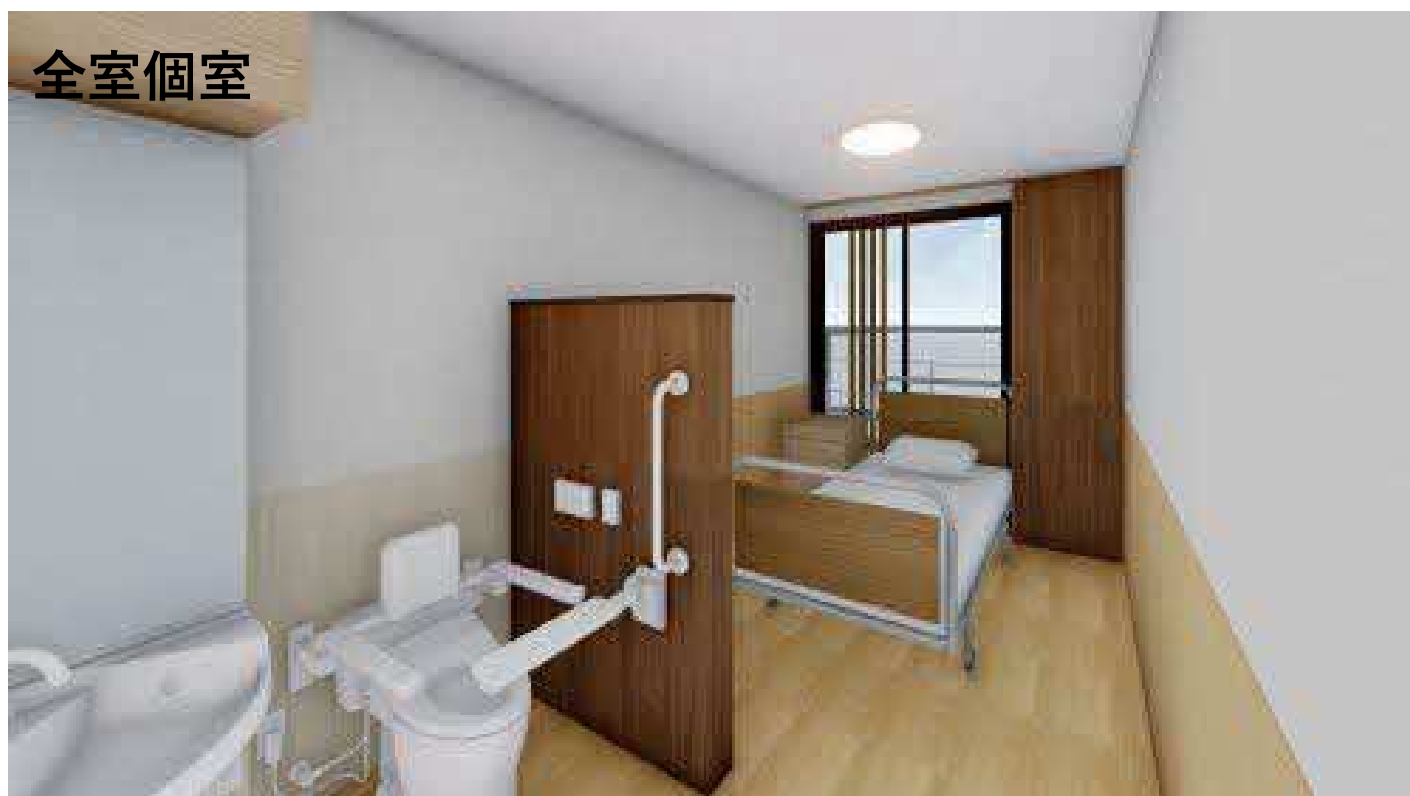
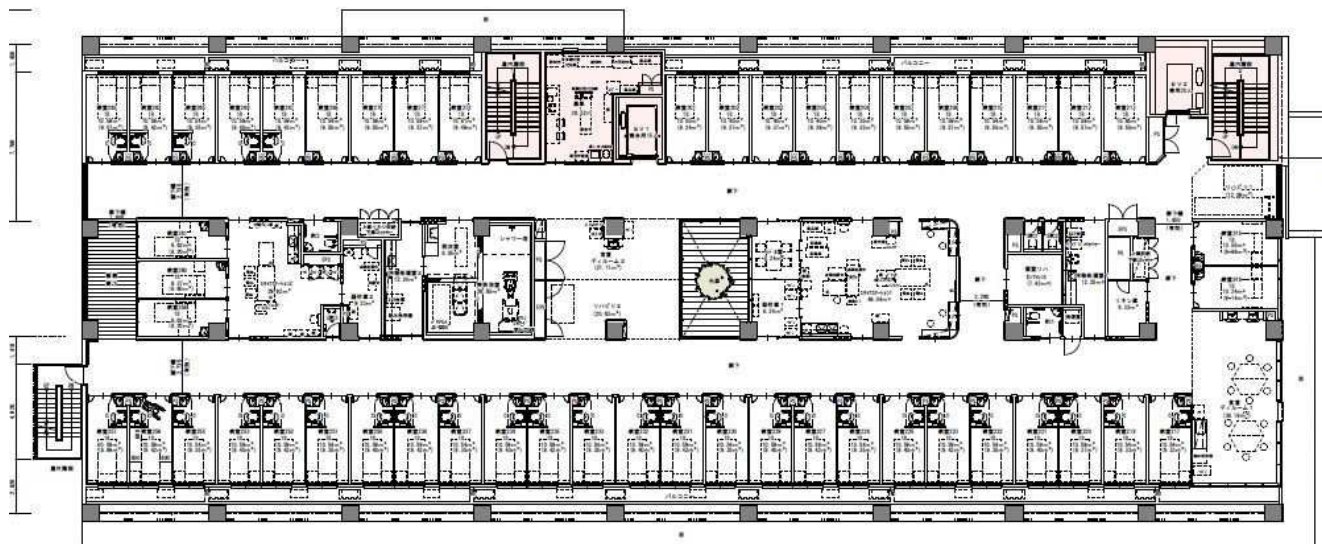
## 移転スケジュール

- 2026年4月28日  
外来・予定入院・通所リハビリ最終日
- 2026年5月1日  
入院・入所患者移送
- 2026年5月4日  
通所リハビリOPEN
- 2026年5月7日  
外来・予定入院OPEN

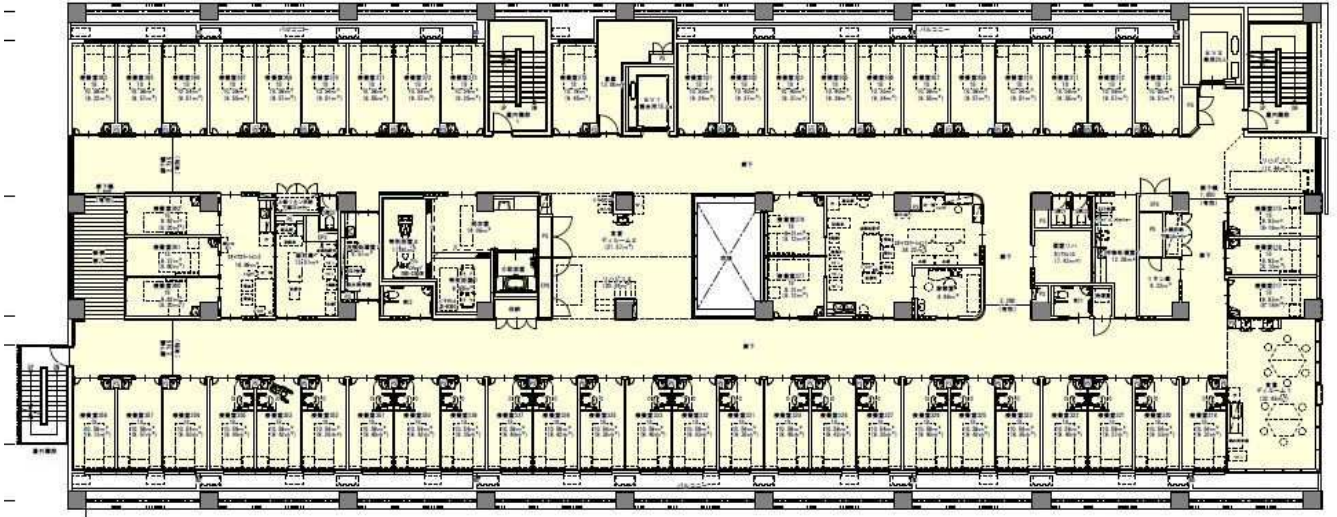
1F (外来・リハビリ・通所リハビリ・厨房・スタッフエリア)  
※外来診療科変更なし



## 2F (地域包括ケア病棟50床)



## 3F（介護医療院54床）



## 3F 介護医療院

●要介護1～要介護5の方

（対応可能な医療行為）

経管栄養管理	気管切開術後管理	麻薬管理
インスリン管理	喀痰吸引	酸素吸入
CVポート・PICC管理	NPPV管理	CPAP管理

※その他病態に応じご相談ください。

## 島根県保健医療計画の『施策の方向』の取組状況（大田圏域）

## &lt;構成&gt;

## =第5章=

第1節：住民・患者の立場に立った医療提供体制の構築

第2節：疾病・事業ごとの医療提供体制の現状、課題及び施策の方向

（がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病、精神疾患、救急医療、災害医療、感染症に対する医療、地域医療、周産期医療、小児医療、在宅医療）

第3節：外来医療に係る医療提供体制の確保 [外来医療計画]

第4節：その他の医療提供体制の整備充実

（緩和ケア及び人生の最終段階における医療、医薬品等の安全確保対策、臓器等移植、難病等保健・医療・福祉対策）

第5節：医療安全の推進

## =第6章=

第1節：健康長寿しまねの推進 [健康長寿しまね推進計画]

第2節：健やか親子しまねの推進 [健やか親子しまね計画]

第3節：高齢者の疾病予防・介護予防対策

第4節：食品の安全確保対策

第5節：健康危機管理体制の構築

## =第7章=

第1節：保健医療従事者の確保・育成

第2節：薬剤師の確保・育成 [薬剤師確保計画]

第3節：その他の保健医療従事者の確保・育成

鳥根県保健医療計画の『施策の方向』の取組状況（大田圏域）

第5章 医療提供体制の現状、課題及び施策の方向  
第1節 住民・患者の立場に立った医療提供体制の構築

1. 医療連携体制の構築【全県共通】

	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>①</p> <p>二次医療圏で開催されている地域医療連携懇話会（保健医療対策会議及び同医療介護連携部会）等により、「公立病院経営強化プログラム」及び「公的医療機関等2025プログラム」で提示された内容等に基づき、将来に向けた医療機関間の連携と役割分担の在り方について検討を進めます。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【4病院連携協定の推進】 ・機能分担を明確化し、提供体制への提案をおこなった ・医師の相互派遣をおこなった ・コメディカルへの派遣をおこなった ＜大田市介護サニービス事業者協議会＞ 令和6年度より大田市立病院との連携体制をさらに強化し、毎月利用者情報共有、連携会議をウエア会議にて実施してきました。この会議を通じて病院施設部会の各施設の意見交換や感染状況など情報交換、共有ができ、さらなるため引き続き行っていきたいと思っています。 ＜地域保健所医事・難病支援課＞ 地域保健医療対策会議（第1回：令和6年9月30日、第2回：令和7年3月4日）及び同医療・介護連携部会（第1回（書面開催）：令和6年6月24日～28日、第2回：令和6年9月30日）を開催し、医療機関の役割分担、連携や病床機能について協議した</p>	<p>＜公立邑智病院＞ 「公立邑智病院経営強化プログラム」については、9月29日に開催された令和7年第4回病院組合議会定例会において、令和6年度実施状況の点検・評価報告があり、「経営強化プログラムの項目は概ね達成できている」とされた。また「今後はインフラ等による経常収支の悪化が懸念される」とされた。 ＜加藤病院＞ 【4病院連携協定の推進】 ・機能分担を明確化し、提供体制への提案をおこなった。 ・医師の相互派遣をおこなった。 ・まめネットを活用した患者情報共有をおこなった。 ＜大田市介護サニービス事業者協議会＞ 令和6年に始まった大田市立病院との協力医療機関連携会議（2月1回のWeb会議）は、入院受入体制、感染症の発生状況に関する情報共有を目的とし、特養、老健、6Hが参加している。現在は、大田市立病院主催のもと継続実施されている。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ 地域保健医療対策会議（第1回：令和8年2月13日）及び同医療・介護連携部会（第1回（書面開催）：令和7年7月9日～16日、第2回：令和8年2月13日）を開催し、医療機関の役割分担、連携や病床機能について協議した。</p>
<p>②</p> <p>「地域医療介護総合確保基金」を活用し、関係者との合意に基づく医療機能の分化・連携に向けた病床転換等の施設設備整備、それに関連した人材の確保や関係機関の連携による地域の課題解決の取組を推進します。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【大病院連携協定の推進】 ・機能分担を明確化し、提供体制への提案をおこなった ・医師の相互派遣をおこなった ・コメディカルへの派遣をおこなった ＜大田市介護サニービス事業者協議会＞ 令和6年度より大田市立病院との連携体制をさらに強化し、毎月利用者情報共有、連携会議をウエア会議にて実施し、了承を得た。 ・まちづくりの視点で川本町と協議を進めることのできた。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ 「医師確保計画」の推進に関する支援事業」について、大田市立病院及び公立邑智病院から提出された事業計画書を第1回地域保健医療対策会議医療・介護連携部会で協議し合意を得た（書面開催：令和6年6月24日～28日）</p>	<p>＜加藤病院＞ 【大病院連携協定の推進】 ・機能分担を明確化し、提供体制への提案をおこなった ・医師の相互派遣をおこなった ・まめネットを活用した患者情報共有をおこなった ＜大田市介護サニービス事業者協議会＞ 令和7年に始まった大田市立病院との協力医療機関連携会議（2月1回のWeb会議）は、入院受入体制、感染症の発生状況に関する情報共有を目的とし、特養、老健、6Hが参加している。現在は、大田市立病院主催のもと継続実施されている。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ 地域保健医療対策会議（第1回：令和8年2月13日）及び同医療・介護連携部会（第1回（書面開催）：令和7年7月9日～16日、第2回：令和8年2月13日）を開催し、医療機関の役割分担、連携や病床機能について協議した。</p>
<p>③</p> <p>行政、医療機関、医師会等が連携し、地域の医療の現状と課題や各二次医療圏（構想区域）が自指す入防医療及び在宅医療の在り方について、住民に対し適切な情報提供と啓発に取り組みます。</p>	<p>＜大田市立病院＞ 令和6年度に院内に地域連携支援プロジェクトチームを設置し、地域の医療機関、福祉、介護関係者、行政等と連携を深めるため、地域連携研修会を令和6年度に2回開催した。 ＜加藤病院＞ 【EHAイールヘルスケア推進】 ・経済産業省実証事業「地域新aaS創出事業」受託し、Diopwithinの実証事業をおこなない、移動課題への新たな医療の選択肢を提案した ・住民や職域への啓発活動を実施する ・オンラインに必要なインフラを整備する ①機器：誰でも簡単に操作できる ②通信：どこでもインターネットが使える ③手段：専用システムを活用しオンラインでの業務効率化を図る ＜大田市消防本部＞ ・県・地域メディアカルコンロール会議、鳥根トクヘリ連航調整委員会などの会議に参加。会議を通じて共通の認識をもつことと他機関との連携および情報共有を図った。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ 地域保健医療対策会議（第1回：令和6年9月30日、第2回：令和7年3月4日）及び同医療・介護連携部会（第1回（書面開催）：令和6年6月24日～28日、第2回：令和6年9月30日）について、資料及び議事概要を県医療政策課ホームページで公表した。</p>	<p>＜大田市立病院＞ 令和6年度に院内に地域連携支援プロジェクトチームを設置し、地域の医療機関、福祉、介護関係者、行政等と連携を深めるため、地域連携研修会を2回開催した。 ・病診連携会を開催し、大田市医師会と合同研修会を行った（1回）。 ＜加藤病院＞ 【EHAイールヘルスケア推進】 ・経済産業省実証事業「地域新aaS創出事業」受託し、医療has車両で複数事業所によるDiopwithin型オンライン診療でスマートフォン実証事業をおこなない、移動課題や事業継続可能性への新たな医療の選択肢を提案した。 ・経済産業省実証事業「経産産福共創生プログラム創出事業」受託し、複数事業所による共同送迎サービス提供でモバイル実証事業をおこなない、住民や職員の移動課題や事業継続可能性への新たな選択肢を提供した。 ＜鳥根県薬剤師会大田支部＞ ・介護保険を持っている患者または家族に在宅訪問について随時説明。 ＜大田市消防本部＞ ・鳥根県や地域メディアカルコンロールでの定期的な会議及び鳥根県トクヘリ連航調整委員会などに参加。会議を通じて他消防本部、関係機関と意見交換を実施することや情報共有を図ることができた。今後においても更なる連携強化に努めていきたい。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ 地域保健医療対策会議（第1回：令和7年7月9日～16日、第2回：令和8年2月13日）について、資料及び議事概要を県医療政策課ホームページで公表した。</p>
<p>④</p> <p>二次医療圏外・県外の医療機関と市町村や消防機関等との連絡会議の開催や、ドクターヘリ・防災ヘリを活用した広域的な搬送体制を確立することにより、二次医療圏・県境を越えた医療連携に取り組めます。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・近隣の二次医療機関や、消防署との連携（連絡）会議の開催と会議の出席者で意見交換を図り医療の問題点のクローズアップとその対応に終始している。 ＜江津邑智消防組合消防本部＞ ・広島県トクターヘリ症例検討会への症例発表を実施。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ ・県医療政策課主催の「令和6年度鳥根県トクターヘリ連航調整委員会」に参加した（令和6年11月20日）</p>	<p>＜公立邑智病院＞ ・R8.1.5から場外ヘリポートの使用を再開した。救急室に隣接しているため、より関係機関と連携しスムーズな調整をしていきたい。早速初日から救急隊とトクヘリがドックリングするラフテラーとして利用があった。パイロットからも利用しやすいヘリポートだとお声をいただいた。 ＜大田市消防本部＞ ・鳥根県を含め他県のトクターヘリ症例検討会にWeb会議システム（Zoom）を使用しで多くの職員が参加することで、課題などを字の所属での救急活動に繋げている ＜江津邑智消防組合消防本部＞ ・広島県トクターヘリ症例検討会への参加。広島トクターヘリと各消防機関と症例について検討、意見交換できた。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ ・県医療政策課主催の「令和7年度鳥根県トクターヘリ連航調整委員会」に参加した。（令和7年11月19日）</p>
<p>⑤</p> <p>限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、医療機関や介護事業所等との連携を強化し、「まめネット」のさらなる医療機関等への普及と多くの県民の参加促進を図ります。</p>	<p>＜大田市医師会＞ 令和6年12月に大田市立病院の見学会があり、開業医会員が多数の参加。病診連携のみならず、医療機器特化に検査、MRI検査などの画像診断や専任救急症に關わる骨密度検査の説明と共同利用の進め方の話があり、今後のさらなる開業医師会員の有効利用が期待されることです。 ＜大田邑智歯科医師会＞ ・後期高齢者歯科口腔健診において「まめネット」を利用したデジタル化を行っている。各医院からのデータが後期高齢者医療広域連合を通じて各自自治体の担当課へ提供され、一体的事業のデータとしても使用されている。導入する医療機関が増えればよりスムーズに対象者のアプローチが可能となる。 ＜公立邑智病院＞ ・邑智郡地域連携推進協議会事務局として「地域連携ハンドブック」を編集（第12版）、郡内の医療・介護・福祉84事業所による連携協議と情報共有を引き続き推進します。 ・医療の事業を進めており、患者の利便性向上、職員の負担軽減、医療の質向上を目的として推進しています。 ＜加藤病院＞ 【在宅情報共有サービスを活用した病院内連携を開始】 ・大田市立病院との入院調整で活用を開始した ＜大田市介護サニービス事業者協議会＞ ・大田市立病院との連携の中で、「まめネット」の活用について説明があり、検討、開始されている施設もあります。引き続きケアシステムの構築を進めるためにも協議会でも活用を進めていきたいと思います。 ＜川本町＞ ・地域ケア会議の中で、県央保健所から講師としてきてもらい、医療機関、介護事業所等に「まめネット」の活用について説明してもらい周知を行った。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・現在盛んに医療DXやITの活用が叫ばれている。私達としては様々なチーム医療（病診連携、訪問看護システム、薬剤師、歯科医師、ケアマネジャー、OT、PTを巻き込んで）推進の視点で、医療の質の改善に向けて、認知症、心不全、床ずれの予防などなどのテーマで日夜、輪回の研修会をもち上げている。見える人間関係が最終的にデジタル化社会へのスムーズな橋渡しの役割にも貢献すると考えている。住民の健康増進や患者さんの管理の為にも、今後の電子カルテの標準化やサイバー攻撃にさらされない安心して日常利用出来るインターネットセキュリティの環境の整備、充実を期待する。 ＜公立邑智病院＞ ・邑智郡地域連携推進協議会事務局として「地域連携ハンドブック」を編集（第13版）、郡内の医療・介護・福祉84事業所による連携協議と情報共有を引き続き推進する。 ・財年に本館報連で替える事業の工事が完了し、導入できる医療DXを導入した。今後は、電子カルテの生成AIに取り組んでいく。 ＜加藤病院＞ 【在宅情報共有サービスを活用した病院内連携を継続】 ・まめネット活用文書送信サービスを開始、まめネットメニュー内で情報共有の標準化を図った。</p>
<p>⑥</p> <p>「地域医療介護総合確保基金」を活用し、関係者との合意に基づく医療機能の分化・連携に向けた病床転換等の施設設備整備、それに関連した人材の確保や関係機関の連携による地域の課題解決の取組を推進します。</p>	<p>＜大田市医師会＞ 令和6年9月30日、第2回：令和7年3月4日、第2回：令和6年9月30日）を開催し、医療機関の役割分担、連携や病床機能について協議した</p>	<p>＜大田市医師会＞ 令和6年9月30日、第2回：令和7年3月4日、第2回：令和6年9月30日）を開催し、医療機関の役割分担、連携や病床機能について協議した</p>

2. 医療に関する情報提供の推進【全県共通】

施策の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 地域医療を守る住民組織、患者サロンを含む患者団体、医療従事者の団体や医療機関等が、住民や患者に対して行っている医療に関する情報提供の取組を支援します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・必要に応じて、住民、医療従事者に対して、ITを活用し必要な医療情報の共有化を図ります。 &lt;加藤病院&gt; 【地域に住まうを支援】 ・住民主体の地区ごとの健康づくり活動支援として、邑智郡と大田市内のサロンや通いの場入専門職を派遣し出前研修をおこなっている →川本町：10/2（水）多田サロン「もしもの時のために～人生会議」（理事長）、巡回診療など →大田市：各地区通いの場（11か所）へ派遣、巡回診療など</p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・病院まつりにおいて、市民フォーラムを開催。 ・住民サロン等への出前講座の実施(3回（実績見込み）)。 &lt;加藤病院&gt; 【地域に住まうを支援】 ・住民主体の地区ごとの健康づくり活動支援として、邑智郡と大田市内のサロンや通いの場入専門職を派遣し出前研修をおこなった。 →各巡回診療など →大田市：各地区通いの場入専門職派遣など →経済産業省実証事業「経産省産福共創モデル創出事業」ミニまちづくり意見交換会開催 →島根県養老利師会大田支部 ・薬局内で健康イベントなどの情報発信の場を定期的に開催。</p>
<p>② 全ての医療機関に年1回、医療機能情報の報告を求め、医療を受ける住民が医療機関の最新情報を取得できるようにします。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・ネット情報は、一部ウェブサイトからの侵入で、安全性が脅かされることもありますが、その点を十分に把握して対応します。 &lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・年1回、医療機能情報報告の更新に努める。 &lt;加藤病院&gt; 【G-MIS活用促進】 ・G-MISにて報告している。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・届出内容に変更があった医療機関については、最新情報が閲覧できるように随時報告を求めた。 ・令和7年度の予定・方針等：最新の情報を取得できるように医療機関に新規報告、随時報告を求める。</p>	<p>&lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・年1回、医療機能情報報告を行い、医療機関の最新情報の更新に努める。 &lt;加藤病院&gt; 【G-MIS活用促進】 ・G-MISにて報告した。 ・島根県養老利師会大田支部 ・定期的にG-MISの更新を行っている。 ・また、薬局によっては医療機能情報は患者から手に取れる場所（薬局の待合等） &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・届出内容に変更があった医療機関については、最新情報が閲覧できるように随時報告を求めた。 ・最新の情報を取得できるように医療機関に新規報告、随時報告を求める。</p>
<p>③ 「医療情報ネット」により、医療を受ける住民が医療機関、助産所、薬局の選択を適切に行うための情報をわかりやすい形で公表するとともに、情報についての質問・相談には「医療安全支援センター」等で対応します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・医療情報の保護が課題になっていきます。個人情報かむやみに漏洩しない対策を十分に取っているから施策を進めたい。 &lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・年一回、医療機能情報報告を行い、医療機関の最新情報の更新に努める。 &lt;加藤病院&gt; 【医療情報ネット】 ・登録されている。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・令和7年度の予定・方針等：医療情報ネットに公表されている内容について確認する。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【厚生労働省医療情報ネット（ナビナ）】 ・登録している。 &lt;島根県養老利師会大田支部&gt; ・医療情報ネットにはほとんどどの薬局は登録済み。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・医療情報ネットに公表されている内容について確認する。</p>
<p>④ 医療機関、助産所、薬局において、「医療情報ネット」により公表した情報が閲覧できるよう医療法に基づき立入検査等の際に指導していきます。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【医療情報ネット】 ・登録されている。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・令和6年度の立入検査時に医療情報ネットで閲覧できない施設について指導した。 ・令和7年度の予定・方針等：立入対象施設で情報が公表されていない施設は指導する。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【県央保健所との連携】 ・新病院はじめ標榜や広告に関する相談を都度おこない指導を受けている。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・医療機関が住民に提供する苦情・相談はなかった。 ・今後、苦情・相談等あれば関係部署と連携し適切な指導と対応に努める。</p>
<p>⑤ 医療機関が住民に提供する広告に関する苦情・相談については「医療安全支援センター」等で対応するとともに、関係部署とも連携し、違法広告などについては適切な指導と対応に努めます。</p>	<p>&lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・そのような報告は受けていないが、万が一起こった場合、適切な情報提供を行うよう対応していく。 &lt;加藤病院&gt; 【県央保健所との連携】 ・標榜や広告に関する相談を都度おこなっている。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・医療機関が住民に提供する苦情・相談はなかった。 ・令和7年度の予定・方針等：苦情・相談等あれば関係部署と連携し適切な指導と対応に努める。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・日本人の人口は減少傾向が続き、外国人の人口は増加傾向にある。今置かれている職場で、外国語が必要な場合は、ある程度、日常会話ができる人を自主的に養成する事も考慮しなければならぬ。 ・例えば、ホテルガリ語を話す患者さんも一定数おられるが、AI翻訳器ではなかなか、職員が患者さんの母国語で対応することで、患者さんの安心感と納得につながり、信頼関係も深まる。 &lt;大田市立病院&gt; ・Googletalk翻訳、VoiceTraアプリを活用し、外国人患者に対応している。 &lt;公立邑智病院&gt; ・AI通訳器ボットークを設置して、外国人来院者に対応している。 &lt;加藤病院&gt; 【法人専与:iPhoneの活用】 ・全職員がGoogletalk翻訳、VoiceTraアプリを使える環境を整えている。 &lt;大田市消防本部&gt; ・多言語コールセンターと契約、救急隊はスマホにアプリをダウンロードすることで、迅速に救急対応する為の環境を整備している。今年度も消防本部内で多言語コールセンター：1件、アプリ利用：4件</p>
<p>⑥ 外国人が安心して適切な医療を受けられるよう、各医療機関において外国人患者の受入れ環境整備が進むよう支援していきます。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・言葉の障壁が、外国人への医療の受診抑制とならないように、また質が低下しないように、平素医師会としても可及的に対応できるようにします。 &lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・各医療機関において外国人患者の受入れ環境整備が進むよう支援していく。 &lt;公立邑智病院&gt; ・AI通訳器ボットークを設置して、外国人来院者に対応しています。 &lt;加藤病院&gt; 【法人専与:iPhoneの活用】 ・全職員がGoogletalk翻訳、VoiceTraアプリを使える環境を整えている。 &lt;大田市消防本部&gt; ・多言語コールセンターと契約、救急隊はスマホにアプリをダウンロードすることで、迅速に救急対応する為の環境を整備している。今年度も消防本部内で多言語コールセンター：0件、アプリ利用：2件</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・日本人の人口は減少傾向が続き、外国人の人口は増加傾向にある。今置かれている職場で、外国語が必要な場合は、ある程度、日常会話ができる人を自主的に養成する事も考慮しなければならぬ。 ・例えば、ホテルガリ語を話す患者さんも一定数おられるが、AI翻訳器ではなかなか、職員が患者さんの母国語で対応することで、患者さんの安心感と納得につながり、信頼関係も深まる。 &lt;大田市立病院&gt; ・Googletalk翻訳、VoiceTraアプリを活用し、外国人患者に対応している。 &lt;公立邑智病院&gt; ・AI通訳器ボットークを設置して、外国人来院者に対応している。 &lt;加藤病院&gt; 【法人専与:iPhoneの活用】 ・全職員がGoogletalk翻訳、VoiceTraアプリを使える環境を整えている。 &lt;大田市消防本部&gt; ・多言語コールセンターと契約、救急隊はスマホにアプリをダウンロードすることで、迅速に救急対応する為の環境を整備している。今年度も消防本部内で多言語コールセンター：1件、アプリ利用：4件</p>

第2節 疾病・事業ごとの医療提供体制の現状、課題及び施策の方向

1. がん【大田圏域】

施策の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 「大田圏域健康長寿しまね推進会議」と連携し、たばこ・アルコール対策、減塩や野菜摂取などの一次予防の取組を推進します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・1次予防は対象年齢が広範囲にわたるため、職場、学校、地域住民に対して、その機会あることに教育活動に取り組み。 &lt;加藤病院&gt; 【がん予防の推進】 ・川本市禁煙治療補助金交付事業へ参加した。 ・禁煙治療を実施(ニコチン依存症管理機関施設基準の維持)した。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・しまね健康寿命延伸プロジェクトにて、対象地区に介入し、健康づくりについて啓発、事業を展開した。 ・令和7年度の予定・方針等：しまね健康寿命延伸プロジェクトで青壮年期を対象とし、大田市青年協議会と連携を図り、健康づくりの取り組みを実施する。 <b>&lt;川本町&gt;</b> ・「川本町健康増進計画第2期計画(健康長寿すこやかプロジェクト)」に基づき1次予防の取組を推進している。<b>学校保健と連携した働き盛り世代への啓発の取組や防煙教育を実施している。</b> ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議と連携し、各所属で野菜フラス1・減塩、身体活動、運動の推進を行った。 ・事業所検診で、働き盛り世代に生活習慣について啓発を行った。 ・令和7年度の予定・方針等：関係機関と連携しながら野菜摂取・減塩について啓発する。 ・県中央保健所健康増進課&gt; ・「健康長寿しまね推進事業」による各種イベントや展示スペース等での啓発(フラス1活動、運動、野菜摂取、減塩、歯周病予防等)</p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・市民プロジェクトにおいて、減塩や乳がん検診について啓発を行った。 &lt;加藤病院&gt; ・禁煙治療を実施(ニコチン依存症管理機関施設基準の維持)した。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・県中央保健所と連携し、大田市青年協議会に介入し、健康づくりの取り組みを実施した。 &lt;川本町&gt; ・「川本町健康増進計画第3期計画(健康長寿すこやかプロジェクト)」に基づき1次予防の取組を推進している。学校保健、職場と連携した働き盛り世代への啓発の取組や防煙教育を実施している。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議と連携し、各所属で野菜フラス1・減塩、身体活動、運動の啓発を行った。 ・県中央保健所健康増進課&gt; ・「健康長寿しまね推進事業」による各種イベントや展示スペース等での啓発(フラス1活動、運動、野菜摂取、減塩、歯周病予防等)。</p>
<p>② 胃がんの早期発見に向けて、大田市の胃内視鏡検診の取組の管内全域への波及を目指します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・一昨年来行っている、<b>早期胃がん発見のための、クラウドサービス利用の画像デジタルエッジングシステムは順調に進んでいます。精度管理をはじめ、さらに共同利用参加者の意欲統一を図りたいところです。</b> ・島根県看護協会大田支部&gt; ・あすてらすクリニックスナバール2024において、がん予防と検診の啓発パネルを展示した。チラシも設置した。あまり減ってはいなかった。 <b>&lt;大田市健康増進課&gt;</b> ・令和5年度より開始した<b>胃内視鏡検診について、受診枠を順次拡大しながら実施しており、開始以降胃がん発見率は上昇している。周知を強化する</b> ・令和7年度の予定・方針等：さらに受診者が増えるよう、周知を強化する &lt;川本町&gt; ・邑智郡内で胃内視鏡検診の実施に向けた取組をすすめている。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・邑南町&gt; ・導入に向けて検討中。 ・令和7年度の予定・方針等：引き続き導入に向け検討。 ・<b>県中央保健所健康増進課&gt;</b> ・<b>大田圏域がん担当者会にて、邑智郡3町の胃内視鏡検診導入に向けた意見交換を行った(令和6年8月27日)</b></p>	<p>&lt;島根県看護協会大田支部&gt; ・あすてらすクリニックスナバール2025において、がん予防と検診の啓発のパネルを展示した。今後も啓発を行っている。 ・<b>胃内視鏡検診について、令和5年度より順次受診枠を拡大しながら実施しており、開始以降胃がん発見率は上昇している。</b> ・<b>川本町&gt;</b> ・R3からの胃内視鏡検診の実施に向けた体制整備をすすめている。 ・美郷町&gt; ・R3年度に単独実施に向けて県、実施予定医療機関、邑智郡と情報共有しながら体制整備をしている。 ・邑南町&gt; ・令和8年度に胃内視鏡検診を実施予定。 ・<b>県中央保健所健康増進課&gt;</b> ・<b>大田圏域がん担当者会にて、邑智郡3町の胃内視鏡検診導入に向けた情報交換を行った。(令和7年10月24日)</b></p>
<p>③ 子宮頸がんの予防のため、HPVワクチン接種の促進に向けた啓発を行います。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・1次予防としてのワクチン(HPV)の必要性安全性を、ワクチン対象の年齢の人々にPR活動を行い、接種率の向上を図る。 ・加藤病院&gt; ・院内の職員のご家族に対し、また高校への啓発を行った。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・対象者への個人通知にあわせ、ワクチン接種の有効性、安全性、接種に係る副反応等の情報提供を行い、接種勧奨を実施。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して周知を実施。 &lt;川本町&gt; ・対象者への個別通知、広報、ホームページ、ケーブルテレビ等で啓発を行っている。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;邑南町&gt; ・接種対象者に文書を送付し勧奨を実施している。 ・高等学校生を対象に、キッズアット接種についての啓発物配布を行った。 ・令和7年度の予定・方針等：引き続き対象者に接種勧奨を行う。 ・<b>県中央保健所健康増進課&gt;</b> ・希望があった市町や病院へ啓発媒体を送付 ・イベントにて啓発チラシの配布</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・現在、HPVワクチンの接種率は低い、引き続き、色々な場面で必要性、有効性、安全性について広報活動をする必要がある。 ・公立邑智病院&gt; ・子宮頸がん検診、ワクチン接種を継続して行っている。 &lt;加藤病院&gt; 【HPVワクチン接種の促進】 ・院内の職員のご家族に対し、また高校への啓発を行った。 ・大田市健康増進課&gt; ・対象者への個人通知にあわせ、ワクチン接種の有効性、安全性、接種に係る副反応等の情報提供を行い、接種勧奨を実施。 ・川本町&gt; ・対象者への個別通知、広報、ホームページ、ケーブルテレビ等で啓発を行っている。 ・美郷町&gt; ・対象者への個別通知、ホームページにて接種勧奨を実施している。 ・邑南町&gt; ・接種対象者に個別通知し勧奨を実施している。 ・中学3年生を対象に啓発物を配布した。 ・令和8年度の予定・方針等：継続して実施する。 ・<b>県中央保健所健康増進課&gt;</b> ・イベントにて啓発チラシの配布。 ・がん症圧月間にて保健所玄関や大田市図書館でリーフレットやチラシを掲示・配布。</p>
<p>④ 壮年期におけるがんの予防やがん検診・精密検査受診率向上に向けた取組を、「大田圏域地域・職場連携推進協議会」やしまね☆まめなカンパニー等、産業保健分野と連携して進めます。</p>	<p>&lt;大田市健康増進課&gt; ・事業所検診と同時に、市の胃がん検診と肺がん検診の実施を行い、受診率向上の取組組みを実施。 ・令和7年度の予定・方針等：市内事業所と連携し、乳がん検診(2年に1回)を実施する。 ・<b>県中央保健所健康増進課&gt;</b> ・事業所やしまね☆まめなカンパニー登録事業所の訪問にて、がん検診の啓発ポスターやチラシを配布。</p>	<p>&lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt; ・会員事業所の中には職員の健康管理を積極的に行っている所もあり、周知することなどで介護サービスの健康経営推進に良い影響があることから、しまね☆まめなカンパニー認定事業所の紹介予定。 ・大田市健康増進課&gt; ・市内事業所と連携し、乳がん検診(2年に1回)を実施した。 ・市と連携協定を結んだ団体と連携し、がん検診の受診率向上のため周知を行った。 ・美郷町&gt; ・美郷町産業保健会と連携をとり、各事業所に対し要精検者に対する受診勧奨をしてもらい、精検受診率向上に努めている。(美郷町) ・美郷町産業保健会加入事業所へ町独自のチラシを配布し、胸部CT検査の受診勧奨を行った。 ・邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議働き盛り部会と連携し、各所属の事業所で女性のがん検診のポスター掲示とチラシを配布し啓発を行った。 ・<b>県中央保健所健康増進課&gt;</b> ・事業所やしまね☆まめなカンパニー登録事業所の訪問にて、がん検診の啓発ポスターやチラシを配布。</p>

<p>⑤ がん診療連携拠点病院と大田圏域の医療機関との連携体制を強化するとともに、大田圏域でのがん医療提供体制を維持します。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【がん情報の提供促進】 ・がん情報提供促進病院として、がん診療連携拠点病院への紹介と情報提供をおこなった。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【がん情報の提供促進】 がん情報提供促進病院として、がん診療連携拠点病院への紹介と情報提供をおこなっている。</p>
<p>⑥ 在宅療養を希望するがん患者、家族が安心して在宅療養ができるよう、緩和ケアや在宅療養に携わる人材の育成を行うとともに、緩和ケア及び在宅療養を提供する体制や病院と診療所、訪問看護ステーション等の連携体制について検討します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・終末期ケアの満足度を高める為の活動を医師会としても、引き続き行う。今年度も鳥取県より、徳永進先生を講師に招き、住民と医療従事者への啓蒙活動を行い多数の参加者があり緩和ケアにおける理解を深めました。 &lt;加藤病院&gt; 【患者支援の促進】 ・治療と仕事の両立支援（職場労働安全衛生委員会活動支援）を行った。 ・がん教育の促進】 ・がん情報提供促進病院として、職域への労働衛生教育を行った。 ・がん情報提供促進病院として、職域への労働衛生教育を行った。 &lt;鳥取県薬剤師会大田支部&gt; ・薬剤師会、訪問看護士との合同研修会を開催し、薬剤師、訪問看護師、作業療法士による講演、在宅に関する問題点等についてデイスカッションを行い情報共有した。 &lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・在宅療養者のQOLを維持出来るよう口腔健康増進について研修会を開催した。座学と実技指導の実施によってスキルアップにつながった。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・緩和ケアについては、ADPの考えも大切だが、病名の告知と同時に病気が進行する前に、インフォームドコンセントをしっかりと行い、終末期ケアについて主治医、家族、本人の間で、本人の自己決定権を尊重しながら決めるという作業を大切にしている。 &lt;大田市立病院&gt; ・治療と仕事の両立支援コーナーを配置し、がん診療連携拠点病院と連携し患者支援を行っている。 &lt;加藤病院&gt; 【がん教育の促進】 ・がん情報提供促進病院として、職域への労働衛生教育をおこなった。</p>
<p>⑦ がん患者や家族、遺族の意向を踏まえ、医療機関や行政が連携し、がん患者や家族、遺族が情報交換や意見交換、学習等を行う場の設置を検討します。</p>		

2. 脳卒中【大田圏域】

実施の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 「大田圏域健康長寿しまね推進会議」と連携し、運動や減塩、野菜摂取など基礎疾患となる生活習慣病の発症予防の取組を推進します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・血圧の管理を始め減塩、禁煙、血中脂質や標準体重の維持管理が患者への発症予防指導が重点課題です。 &lt;大田市医師会臨床医科医師会&gt; ・歯・口腔の健康（特に歯周病との関連）と生活習慣病の関係について指導・啓発を行う。 &lt;加藤病院&gt; 【脳卒中予防の促進】 ・住民サロン・通いの場への出前研修を行った。 ・介護保険要介護認定者への訪問看護利用促進支援を行った。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」にて生活習慣病予防のために運動や減塩、野菜摂取などについて啓発実施。 令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;川本町&gt; ・「川本町健康増進計画第2期計画（健康長寿すこやかプログラム）」に基づき一次予防の取組を推進している。学校保健と連携した働き世代への啓発の取組や防健教育を実施している。 令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議と連携し、各所属で野菜トラサエ・減塩、身体活動・運動の推進を行った。 ・特定健診の場でペジエツクを実施し、野菜摂取量を見える化することによって生活改善の動機づけを行った。糖尿病または高血圧で医療機関を受診している方を対象にチラシを配布し、血圧の自己管理を促した。 令和7年度の予定・方針等：引き続き、関係機関や団体と連携した啓発や生活改善に向けた情報提供・保健指導を実施する。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・高血圧は心不全、腎不全だけでなく、脳血管障害の最も大きな危険因子であることを様々な場面で繰り返し強調する必要がある。 &lt;大田市医師会臨床医科医師会&gt; ・歯・口腔の健康（特に歯周病との関連）と生活習慣病の関係について指導・啓発を行う。 &lt;加藤病院&gt; ・住民サロン・通いの場への出前研修を行った。 ・介護保険要介護認定者への訪問看護利用促進支援を行った。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」にて生活習慣病予防のために運動や減塩、野菜摂取などについて啓発実施。 &lt;川本町&gt; ・「川本町健康増進計画第3期計画（健康長寿すこやかプログラム）」に基づき一次予防の取組を推進している。学校保健、職域と連携した働き世代への啓発の取組や防健教育を実施している。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議と連携し、各所属で野菜トラサエ・減塩、身体活動・運動の啓発を行った。 ・事業所健診で適正体重、血圧測定の普及啓発を行った。 ・ハイリスラフ者対策として町内医療機関と連携し、糖尿または高血圧で治療中者を対象にチラシを配布し、血圧・体重の自己管理を促した。 ・県央保健所健康増進課 ・「大田圏域地域・職域連携推進協議会」が発行するメールマガジンを通じて、「高血圧」をテーマとした情報を関係機関に発信。</p>
<p>② 「大田圏域脳卒中対策調整会議」で関係機関と連携をとり、脳卒中の発症予防と「大田圏域脳卒中患者の再発防止支援の取組実施要領」に基づき「再発予防の取組を医療機関、市町と連携して推進します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・外来患者では治療中断がないよう、励まし、褒めて、協力して、医療と向き合うよう外来で指導する。 &lt;加藤病院&gt; 【脳卒中予防の促進】 ・住民サロン・通いの場への出前研修をおこなった。 ・介護保険要介護認定者への訪問看護利用促進支援をおこなった。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・脳卒中発症予防事業対象者へ全数訪問を各地区担当より行い、再発予防に必要な生活習慣改善へのアドバイスなど啓発を実施。 令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;川本町&gt; ・「大田圏域脳卒中患者の再発防止支援の取組実施要領」に基づき、医療機関、保健所と連携を図り取り組んでいる。 &lt;邑南町&gt; ・「大田圏域脳卒中患者の再発防止支援の取組実施要領」に基づき情報提供があった脳卒中発症者に対して、退院後早期に保健師が訪問を行い再発予防の意識づけを実施した。しかし、初回以降の訪問が徹底できなかつた。 令和7年度の予定・方針等：再発予防への働きかけを強化する。 ・県央保健所健康増進課 ・大田圏域循環器病対策検討会議を開催し、今後の循環器病対策について検討（令和7年2月18日）</p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・脳卒中発症予防事業を市と連携して行っている。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・脳卒中発症予防事業対象者へ全数訪問を各地区担当より行い、再発予防に必要な生活習慣改善へのアドバイスなど啓発を実施した。 &lt;加藤病院&gt; ・住民サロン・通いの場への出前研修を行った。 ・介護保険要介護認定者への訪問看護利用促進支援を行った。 &lt;川本町&gt; ・「大田圏域脳卒中患者の再発防止支援の取組実施要領」に基づき、医療機関、保健所と連携を図り取り組んでいる。 &lt;美郷町&gt; ・「大田圏域脳卒中患者の再発防止支援の取組実施要領」に基づき、医療機関、保健所と連携を図り取り組んでいる。再発予防のためのチラシや必要時には血圧手帳、糖尿手帳を渡している。 &lt;邑南町&gt; ・「大田圏域脳卒中患者の再発防止支援の取組実施要領」に基づき、情報提供があった脳卒中発症者に対して保健師が訪問を行い、再発予防の意識づけを実施した。 ・県央保健所健康増進課 ・大田圏域循環器病対策検討会議を開催し、今後の循環器病対策について検討。（令和7年12月16日）</p>
<p>③ より早い段階で適切な治療につなげるため、初期症状の周知など早期発見のための啓発を行います。</p>	<p>&lt;大田市消防本部&gt; ・救命講習を通じて、「救命の連鎖」の初めの項目である「早期認識と通報」の中で、初期症状の説明を実施。リーフレットなど配布して普及啓発を行った。 &lt;島根県看護協会大田支部&gt; ・まちの保健室事業において、血圧測定や健康相談を行い、かかりつけ医をもち早期受診につながるようお話しした。圏域内で50名近くの参加があった。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・通いの場、サロンを対象に健康教育の実施。脳卒中再発予防の訪問にて、再発予防と再発時の早期対処方法について啓発。 令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;邑南町&gt; ・脳卒中発症者への訪問時にチラシ等による啓発を行った。 令和7年度の予定・方針等：出前講座やつどいの場、広報等、幅広く啓発を行う。 ・県央保健所健康増進課 ・大田市立病院、公立邑智病院において脳卒中が疑われる患者に対し、専門的治療を実施。</p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・住民サロン等への出前講座を通い啓発を行っている。 ・島根県看護協会大田支部 ・まちの保健室事業（「あすてらすフェスティバル」）「みちの駅かわもとの取組」に参加において、血圧測定や健康相談を行い、早期の受診の必要性などについて話をした。 &lt;大田市消防本部&gt; ・市民への救命講習を通じて、「救命の連鎖」の初めの項目である「早期認識と通報」の中で、初期症状の説明を実施。今後もリーフレットなどを配布しながら普及啓発に努めていきたい。 &lt;美郷町&gt; ・認定調査や重症化予防の訪問時や出前講座でチラシ配布や血圧手帳、糖尿手帳を配布し、啓発をしている。 &lt;邑南町&gt; ・脳卒中発症者への訪問時に再発予防の啓発を行った。 ・県央保健所健康増進課 ・大田市立病院、公立邑智病院において脳卒中が疑われる患者に対し、専門的治療を実施。</p>
<p>④ 高血圧を担う医療機関へ円滑に搬送できるように、消防機関と医療機関との連携体制の維持・強化を図ります。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・急性期医療が患者の予後を決定するので、専門医療機関との素早い連携を救急隊との協力で図ります。課題を共有化して、脳卒中の死亡率の減少に向け、施策の推進を行う。 &lt;公立邑智病院&gt; ・江津邑智消防組合管内の救急医療体制向上に向けて、江津市が「デジタル交付金を活用して情報共有システムを構築します。（2月未稼働予定）この事業に川本町、美郷町、邑南町、彦生会江津総合病院、公立邑智病院が参加することで、救急隊から2次救急医療機関への情報共有、2次救急と3次救急医療機関の情報共有が円滑になり、救命率の向上と医療機関の負担軽減が期待できます。」 &lt;大田市消防本部&gt; ・大田救急業務連絡協議会を通じて、症例のデイスカッションを行い連携強化を図った。 &lt;江津邑智消防組合消防本部&gt; ・江津浜田地区症例検討会において、E1V0についての検討及び勉強を行った。 ・県央保健所健康増進課 ・高度急性期医療については主に出雲圏域、浜田圏域の医療機関、消防機関と連携して提供。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・現在当圏域では急性期脳卒中のペスト対応は島根大学病院脳卒中センターである。救急隊や一次医療機関との一刻も争うシステムを構築が向よりも大切。 ・公立邑智病院 ・医療従事者コミュニケーションプログラム [10.11] がR7.2月から本格稼働し、救急隊から2次救急医療機関への情報共有、2次救急と3次救急医療機関の情報共有が円滑になり、救命率の向上と医療機関の負担軽減に寄与している。 &lt;大田市消防本部&gt; ・デジタル救急実証事業の開始に伴い、大田消防本部の依頼を受けて全会員事業所に向け協力要請文書を送付した。 &lt;大田市消防本部&gt; ・大田救急業務連絡協議会を通じて、大田市立病院の医師及び看護師、出場救急隊に参加いただき症例のデイスカッションを行い連携強化を図った。引き続き、実施すべき事業等が発生した場合は、計画を立て速やかに開催していきたい。 ・県央保健所健康増進課 ・高度急性期医療については主に出雲圏域、浜田圏域の医療機関、消防機関と連携して提供。</p>

### 3. 心筋梗塞等の心血管疾患【大田圏域】

施策の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 「大田圏域健康長寿しまね推進会議」と連携し、減塩や野菜摂取、たばこ対策など心血管疾患に関与している生活習慣を改善するための健康づくり活動をより積極的に推進します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・虚血性心疾患は継続して真剣に取り組んでいる。大田市医師会としても重点課題です。機会ある度に諸会議、研修会に参加して、関係者への予防啓蒙活動を推進する。 &lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・歯周病と心血管疾患の関係について指導・啓発を行う。 &lt;加藤病院&gt; ・生活習慣病療養計画書を作成し心血管疾患の予防に努めている。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」にて生活習慣病予防のために運動や減塩、野菜摂取などについて啓発実施。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;川本町&gt; ・川本町健康増進計画第2期計画（健康長寿すこやかプログラム）に基づき一斉予防の取組を推進している。学校保健と連携した働き世代への啓発の取組や防煙教育を実施している。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・健康長寿おおなん推進会議と連携し、各所属で野菜プログラム・減塩、身体活動、運動の推進を行った。ウツクを実施し、野菜摂取量を見える化することで食生活改善の動機づけを行った。 ・特定健診の場でベジチエツクを実施し、野菜摂取量を見える化することや食生活改善の動機づけを行った。 ・ハイリウスク者対策として糖尿尿病または高血圧で医療機関を受診している方を対象にチラシを配布し、血圧の自己管理を促した。 ・令和7年度の予定・方針等：引き続き、関係機関や団体と連携した啓発や生活改善に向けた情報提供・保健指導を実施する。 &lt;県央保健所健康増進課&gt; ・各種イベントや展示スペース等での啓発（プログラム活動、運動、野菜摂取、減塩、歯周病予防等）</p>	<p>&lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・歯周病と心血管疾患の関係について指導・啓発を行う。 &lt;加藤病院&gt; ・生活習慣病療養計画書を作成し心血管疾患の予防に努めている。 &lt;大田圏域健康長寿しまね推進会議&gt; ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」にて生活習慣病予防のために運動や減塩、野菜摂取などについて啓発実施した。 &lt;川本町&gt; ・川本町健康増進計画第3期計画（健康長寿すこやかプログラム）に基づき一斉予防の取組を推進している。学校保健、職場と連携した働き世代への啓発の取組や防煙教育を実施している。 &lt;美郷町&gt; ・「美郷町第3次健康づくり計画」に基づき、関係機関と連携しながらライフレナーシングに応じた健康づくり活動を実施している。学校保健、職場と連携し、プログラム食の推進、嗜好食品の注意点等について啓発している。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議と連携し、各所属で野菜プログラム・減塩、身体活動、運動の啓発を行った。 ・事業所健診で適正体重・血圧測定の実施し、野菜摂取・運動の啓発を行った。 ・事業所への出前講座やベジチエツクを実施し、野菜摂取・運動の啓発を行った。 ・ハイリウスク者対策として、町内医療機関と連携して糖尿尿病または高血圧で治療中の方にチラシを配布し、血圧・体重の自己管理を促した。 &lt;県央保健所健康増進課&gt; ・各種イベントや展示スペース等での啓発（プログラム活動、運動、野菜摂取、減塩、歯周病予防等）。</p>
<p>② 各市町、各保険者において、特定健康診査受診率の取組を行います。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・健診の受診率の向上は、住民の健康意識と密接な関係があります。引き続き健康への動機づけを必要不可欠に働きかけます。 &lt;島根県看護協会大田支部&gt;（再掲） ・過去5年間の特定健診結果から算出した健康年齢を表示した受診勧奨通知を実施。未受診者の特性にあわせて受診勧奨通知を実施。在宅保健師による、未受診者勧奨を実施。 ・まろの保健室事業において、血圧測定や健康相談を行い、かかりつけ医をもち早期受診につながるようお話しした。圏域内50名近頃の参加があった。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・川本町&gt; ・土日の特定健診の実施やがん検診などのセット健診等で体制を充実している。年3回、個別の受診勧奨を行い、受診率の向上につなげている。 &lt;邑南町&gt; ・集落保健衛生委員会を実施し、特定健診の申込書の配布と身近な立場からの受診勧奨の依頼を行うことで、受診率向上を図った。 ・医療機関訪問時に医師による受診勧奨の依頼を行い、受診への意識づけの強化を図った。 ・令和7年度の予定・方針等：幅広い場での啓発と、申込方法の見直しを行う。 &lt;県央保健所健康増進課&gt; ・「大田圏域＜人の健康づくり講座＞を開催し、健康づくり活動表彰受賞団体の取組事例（健診受診等）を紹介（令和6年11月28日）</p>	<p>&lt;大田市地域医療推進課&gt; ・過去5年間の特定健診受診率や内科受診歴から、未受診者の特性にあわせた受診勧奨通知を年2回実施。在宅保健師による、未受診者勧奨訪問事業を実施。健診受診者に健康年齢を表示した受診勧奨通知を実施。 ・令和8年度の予定・方針等：継続して実施。特定健診受診勧奨通知を実施する業者が変更になったため、健康年齢の通知は廃止。 &lt;川本町&gt; ・土日の特定健診の実施やがん検診などのセット健診等で体制を充実している。年3回、個別の受診勧奨を行い、受診率の向上につなげている。 &lt;美郷町&gt; ・胃がん、胸部CT検査、腹部エコー検査を特定健診に併せて実施した。申込方法は1枚に集約し、返信用封筒使用の場合とネット予約ができるようにしている。 &lt;邑南町&gt; ・集落保健衛生委員会を実施し、特定健診の申込書の配布と身近な立場からの受診勧奨の依頼を行うことで、受診率向上を図った。 ・医療機関訪問時に医師による受診勧奨の依頼を行い、受診への意識づけの強化を図った。 ・令和8年度の予定・方針等：特定健診の受診勧奨通知・申込方法の変更、胃がん検診・大腸がん検診と同日実施を行い、受診率の向上を図る。 &lt;県央保健所健康増進課&gt; ・「大田圏域＜人の健康づくり講座＞を開催し、健康づくり活動表彰受賞した事業所の取組事例（健診受診等）を紹介。（令和7年11月13日）</p>
<p>③ 「大田地区心不全連携協議会」を中心に、発症予防、早期発見のための啓発、心不全増悪への早期対応、リハビリテーションの推進、再発予防支援、緩和ケアの実施体制整備等の取組を進めていきます。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【心血管疾患の診断・治療の促進】 ・大田地区心不全連携協議会開催時は参加する。 ・発症予防、リハビリテーション、再発予防への支援を行った。 ・心不全に対する緩和ケアを実施した。 &lt;川本町&gt; ・町内医療機関の協力を得て、心不全についてケーブルテレビで周知している。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・<b>県央保健所健康増進課</b> ・<b>大田地区心不全連携協議会」と協働で、心臓病の啓発チラシを作成。</b></p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・大田市立病院、加藤病院、県央地区の開業医、訪問看護ステーション、ケアマネ、薬剤師の間で定期的な研修会と情報交換の場の開催。（心不全患者の再入院の減少など）。 &lt;大田市立病院&gt; ・県央心不全センターを作成し、関係機関と連携を図っている。 ・地域連携研修会で島根大学から講師を招き、関係機関とともに知識を深めた。 &lt;加藤病院&gt; ・大田地区心不全連携協議会開催時は参加する。 ・発症予防、リハビリテーション、再発予防への支援を行った。 ・心不全に対する緩和ケアを実施した。 &lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt; ・心不全連携センターとする大田市立病院地域連携研修会について、全会員事業所に周知した。 &lt;川本町&gt; ・町内医療機関の協力を得て、心不全についてケーブルテレビで周知している。 &lt;県央保健所健康増進課&gt; ・大田地区心不全連携協議会」と協働で作成した心臓病の啓発チラシを、訪問看護やケアマネに配布し、イベントでも配布。 ・「大田圏域循環器病対策検討会議」にて、心不全センターの共有や心疾患に関する啓発の取組の検討を行った。（令和7年12月16日）</p>
<p>④ 高度医療を提供できる医療機関へ円滑に搬送できるように、消防機関と医療機関との連携体制の維持・強化を図ります。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・機会ある度に、患者が適切な医療を受けることができるよう、専門医療機関との連携を心がける。 &lt;大田市消防本部&gt; ・大田救急業務連絡協議会を通じて、症例のデイスカッションを行い連携強化を図った。 &lt;県央保健所健康増進課&gt; ・高度急性期医療については主に出張圏域、浜田圏域の医療機関、消防機関と連携して提供。</p>	<p>&lt;江津邑智消防組合消防本部&gt; ・消防士や消防団員を招聘し、心筋梗塞等の心電図の研修会を開催し、救急隊の知識向上を図った。また、浜田・江津地区救急業務連絡協議会が主催する症例検討会に心筋梗塞が疑える症例を検討した。 &lt;県央保健所健康増進課&gt; ・高度急性期医療については主に出張圏域、浜田圏域の医療機関、消防機関と連携して提供。</p>

4. 糖尿病【大田圏域】

施策の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 「大田圏域健康長寿しまね推進会議」と連携し、運動の推進、野菜摂取や減塩などの健康づくりの取組や環境整備を進めます。</p> <p>また、「大田圏域地域・職域連携推進協議会」と連携し、特に働き盛り世代に対して、健診受診率や保健指導の実施率向上に向けた取組の推進、適切な受診や治療中断の防止に向けた啓発の強化など、関係機関との連携による効果的な取組の推進を図ります。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・糖尿病は定期的な健診（職場、特定健診）などで、発見される事が多くその後の事後指導が非常に大切である。病初期患者に自覚症状が少ない為、病識が無く、初診時の患者対応にこれまで以上に力を入れていきたい。また治療中断者が無いように、必要に応じて、病診連携や多職種連携を図る。必要ならば、医師会会員の代表の専門医が会や講演会に出かけ、必要な学的な知識を伝授する。</p> <p>・様々な機会を利用して、糖尿病についての知識の啓発活動を目指す。特に糖尿病病性管理は人工透析への大きな予備群であり日頃の管理が重要なので、定期的な腎臓専門医受診へつなぐ。</p> <p>&lt;大田 邑智歯科医師会&gt; ・歯・口腔の健康（歯周病との関連や野菜摂取を可能とする口腔の状況）と生活習慣病の関係について指導・啓発を行う。</p> <p>&lt;加藤病院&gt; 【糖尿病予防の推進】 ・巡回診療/住民サロン/通いの場などの機会を活用した啓発活動。 ・各地域の「まちの保健室」と連携し、早期相談窓口強化。 ・生活習慣病療養計画書を作成し糖尿病の予防に努めている。</p> <p>【糖尿病による合併症予防の推進】 ・糖尿病専門医を巡回診療、訪問診療、外来診療等へ配置。 ・糖尿病専門医による糖尿病教室の開催。</p> <p>・島根県薬剤師会大田支部 ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」と連携し、たばこ・アルコール対策、減塩や野菜摂取などの一次予防の取組を推進。</p> <p>&lt;大田市健康増進課&gt; ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」にて生活習慣病予防のために運動や減塩、野菜摂取などについて啓発実施。</p> <p>・糖尿病性腎症重症化予防事業について、医師会等関係機関と連携して受診中断者への受診勧奨、ハイリスク者への保健指導を実施。</p> <p>令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>&lt;大田 邑智歯科医師会&gt; ・歯・口腔の健康（歯周病との関連や野菜摂取を可能とする口腔の状況）と生活習慣病の関係について指導・啓発を行う。</p> <p>&lt;大田市立病院&gt; ・認定看護師による糖尿病外来を開設し、自宅でも安心して生活ができるようサポートしている。</p> <p>・出前講座や糖尿病教室を通じて啓発を行っている。</p> <p>&lt;加藤病院&gt; ・糖尿病専門医を巡回診療、訪問診療、外来診療等へ配置。 ・糖尿病専門医による糖尿病教室の開催。</p> <p>&lt;島根県薬剤師会大田支部&gt; ・全薬局ではないが、栄養相談や管理栄養士主催のイベントを開催。</p> <p>&lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」の「お口の健口！歯ッピー講座」において、歯周病と糖尿病等全身疾患の関連を踏まえ歯科の定期受診を含めた予防啓発を実施した。</p> <p>&lt;大田市健康増進課&gt; ・糖尿病性腎症重症化予防事業について、受診中断者への受診勧奨を実施。国保保健指導や受診勧奨のための訪問を実施。</p> <p>・令和8年度の予定・方針等：継続して実施。</p> <p>&lt;川本町&gt; ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」にて生活習慣病予防のために運動や減塩、野菜摂取などについて啓発実施。</p> <p>&lt;川本町&gt; ・特定健診の結果から、糖尿病、CKDハイリスク者に対して個別フォローを実施している。</p> <p>&lt;美郷町&gt; ・R3年度から産業保健会と協会けんぽ島根支部と連携をとり、町保健師が町内事業所へ訪問して特定保健指導を実施し、生活習慣改善に取り組んでいる。</p>
<p>② 糖尿病の予防及び適切な治療や指導を受けることができるよう、市町の対話会議や「大田圏域糖尿病対策検討会」において、かかりつけ医と専門医の連携、医師歯科連携をはじめ、多職種・多機関による連携の強化を図り、腎症等合併症の発症予防、重症化予防の取組を推進します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・特定健診の結果から、糖尿病、CKDハイリスク者に対して個別フォローを実施している。</p> <p>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p> <p>&lt;美郷町&gt; ・令和6年10月に町のイベント開催とあわせて、まちの食育ステーション事業を行い野菜摂取の普及啓発活動を行った。</p> <p>&lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなみ推進会議と連携し、各所属で野菜プラス1・減塩、身体活動、運動の推進を行った。</p> <p>・特定健診の場にてベンチエッグを活用し、野菜摂取、減塩に向けた情報提供、食習慣改善に向けた動機づけを行った。</p> <p>・運動実践の働きかけを目的に、町内の事業所職員を対象とした運動講座を開催した。</p> <p>・30歳代の国保加入者に対して健康診査を実施し、より早期からの生活習慣改善の意識づけにつなげた。</p> <p>令和7年度の予定・方針等：働き盛り世代に向けた取り組みを強化する。働き盛り部会と連携して、情報提供を行う。</p> <p>&lt;県央保健所健康増進課&gt; 各種イベントや展示スペース等での啓発（プラス1活動、運動、野菜摂取、減塩、歯周病予防等）</p> <p>・「大田圏域地域・職域連携推進協議会」と事業所を対象に「働く人の健康づくり講座」（予防、歯科）を開催、健康づくり活動表彰受賞団体の取組事例（禁煙対策、健診、心の健康等）を紹介（令和6年11月28日）</p>	<p>&lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなみ推進会議と連携し、各所属で野菜プラス1・減塩、身体活動、運動の啓発を行った。</p> <p>・事業所へ健康増進課やベンチエッグを実施し、野菜摂取・運動の啓発を行った。</p> <p>・ハイリスク者対策として、町内医療機関と連携して糖尿病または高血圧で治療中者にチラシを配布し、血圧・体重の自己管理を促した。</p> <p>&lt;県央保健所健康増進課&gt; 各種イベントや展示スペース等での啓発（プラス1活動、運動、野菜摂取、減塩、歯周病予防等）</p> <p>・「大田圏域循環器病対策検討会」や「大田圏域地域・職域連携推進会議」において、特定健診の結果から、糖尿病、CKDハイリスク者に対して個別フォローの取組強化等について検討を進めている。</p>
<p>③ 「糖尿病友の会」等の患者会に対して、関係機関及び市町等による支援を継続して実施します。</p>	<p>&lt;大田 邑智歯科医師会&gt; ・糖尿病手帳を利用した医科歯科連携、薬局での歯科受診勧奨への取り組みを模索している。</p> <p>&lt;加藤病院&gt; 【巡回診療/住民サロン/通いの場などの機会を活用した啓発活動。 ・各地域の「まちの保健室」と連携し、早期相談窓口強化。 ・糖尿病専門医を巡回診療、訪問診療、外来診療等へ配置。 ・生活習慣病療養計画書を作成し糖尿病の予防に努めている。</p> <p>&lt;大田市健康増進課&gt; 「大田圏域糖尿病対策検討会」において、圏域における糖尿病に関する課題等について共有することができた。また、保健所と連携し、市内事業所における壮年期の健康課題に関する情報収集と情報共有を行った。</p> <p>令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p> <p>&lt;川本町&gt; ・糖尿病ハイリスク者に対して疾病に関する知識の普及や運動、栄養指導を充実させ、生活改善につなげることを目的に町内医療機関と連携を図り、糖尿病教室を実施している。</p> <p>&lt;邑南町&gt; ・糖尿病の重症化予防のため、邑南町版糖尿病連携手帳を活用してかかりつけ医から歯科・眼科への受診勧奨を依頼した。調剤薬局を含め啓発ポスター掲示を依頼した。</p> <p>・医療機関訪問で保健事業への協力依頼を行った。年度末に生活習慣病対策検討会を開催し、町の現状、今年度の取り組み、次年度の方向性について報告し意見をいただく予定。</p> <p>・令和7年度の予定・方針等：医療機関（医科・歯科・眼科）との連携強化に向けた取り組みを継続する。</p> <p>&lt;県央保健所健康増進課&gt; ・大田圏域糖尿病対策検討会を開催し、管内多職種で圏域課題の共通認識を図り、今後の取組について検討（令和6年10月3日）</p>	<p>&lt;大田 邑智歯科医師会&gt; ・糖尿病手帳を利用した医科歯科連携への取り組みを模索している。</p> <p>&lt;加藤病院&gt; ・巡回診療/住民サロン/通いの場などの機会を活用した啓発活動。 ・糖尿病専門医を巡回診療、訪問診療、外来診療等へ配置。 ・生活習慣病療養計画書を作成し糖尿病の予防に努めている。</p> <p>&lt;大田市健康増進課&gt; 「大田圏域糖尿病対策検討会」において、圏域における糖尿病に関する課題等について共有することができた。</p> <p>&lt;川本町&gt; ・糖尿病ハイリスク者に対して疾病に関する知識の普及や運動、栄養指導を充実させ、生活改善につなげることを目的に町内医療機関と連携を図り、糖尿病教室を実施している。</p> <p>&lt;邑南町&gt; ・糖尿病の重症化予防のため、邑南町版糖尿病連携手帳を活用してかかりつけ医から歯科・眼科への受診勧奨を依頼した。調剤薬局を含め啓発ポスター掲示を依頼した。</p> <p>・医療機関訪問を実施し、保健事業への協力依頼を行った。年度末に生活習慣病対策検討会を開催し、町の現状、取り組み、次年度の方向性について報告し意見をいただく予定。</p> <p>・県央保健所健康増進課 ・大田圏域糖尿病対策検討会を開催し、管内多職種で大田圏域における現状や取組について共通認識を図り、今後の取組について検討。今年度から検討会に歯科医師にも参加いただき、医科歯科連携について情報共有ができた。（令和7年11月20日）</p>

5. 精神疾患【大田圏域】 施策の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 精神障がい者が地域の一員として身近な地域で自分らしい暮らしができるよう、地域住民の理解を得ながら各市町において精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築を推進します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・当地域の自死数は増加傾向ではありますが引き続き、<b>閉春期から高齢者まで全年齢を通じて、医学的な視点で、心の問題ができるだけ小さくなるよう、住みやすい町作りを支援する</b>ように、<b>日常診療や、様々な住民の健康教育や学校医としての活動の場で、精神科医の視点で行動するようにします。</b></p> <p>&lt;加藤病院&gt; 【多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築】 ・オンライン診療を活用し、医療アクセスの改善を図った。 ・川本町&gt; ・地域での疾患に対する理解をすすめていくために、計画的に認知症サポートナー、ゲートキーパー研修を行い、関係機関とも連携を図り地域包括ケアシステムの構築を推進している。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・邑南町&gt; ・障がい者総合支援協議会相談支援部会を協議の場としている。 ・当事者会の開催 家族会・当事者会の広報、会員募集を行い、活動支援をしている。令和7年度の予定・方針等：相談支援部会において、引き続き協議を行う。 ・県央保健所健康増進課&gt; ・「大田圏域精神保健福祉連絡協議会（精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議）」を開催予定（3月） ・市町が開催する自立支援協議会等へ参加。 ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた支援として、邑南町をモデルとして、「邑南町自立支援協議会相談支援部会」に参画。 ・大田圏域精神保健福祉関係機関連絡会にて、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築に関する要素ごとに意見交換を実施（大田市：令和6年2月13日 邑智郡：令和7年2月19日）</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・当地域の最近の自死の発生率は大きく変化はないが、全国的には閉春期（「イースターエッグ」）の精神的な問題では依然見過ごす事の出来ない課題である。大田市医師会としては、自殺未遂者を含めた自死予備軍の子供連への積極的関わり（学校保健会など）でのこのケアを含めた予防活動を展開する考えがあるし、精神科専門医と日頃から連携して、緊急時の対応(相談)が図れるようにする。自死予防学習集会をwebのみでなく地元でも開催して、医学的知識を深める考えである。 ・今年度専長として県中地区の警察署主催の被害者支援者ネットワークの会に参加したが、この問題に関わる主催者側のメンバーに被害者の人権の観点から弁護士に参加は必須である旨を再度申し出たが、改善されていない。 ・自死予防の会議でも、医師会の代表として参加した会では最も大切なメンバーの一人の職種として精神科専門医が入っていない事に驚いた。これらの方々の会への運営に基本的な視点の見直しが必要用性を再確認した。この様に方向づけを行なっていけばいいのか模索中である。</p> <p>&lt;加藤病院&gt; ・オンライン診療を整備し、医療アクセスの改善を図った。 ・川本町&gt; ・地域での疾患に対する理解をすすめていくために、計画的に認知症サポートナー、ゲートキーパー研修を行い、関係機関とも連携を図り地域包括ケアシステムの構築を推進している。 ・邑南町&gt; ・障がい者総合支援協議会相談支援部会を協議の場としている。 ・令和8年度の予定・方針等：相談支援部会において、引き続き協議を行い実施する。</p>
<p>② 精神疾患に対する正しい知識の普及を図るとともに、各市町による精神保健に関する相談支援体制の整備や基幹相談支援センターの設置等の動きと連携しながら、学校や地域と連携しより早期に支援につながる取組や、医療機関や相談支援事業所等との協働による当事者や家族からの相談支援体制を強化します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・自死問題対策協議会にも参加し、必要なアドバイスをした。 ・医師会の代表は、 ・【加藤病院&gt; ・自治会単位など、住まうエリアごとで情報発信。 ・大田市消防本部&gt; ・全職員ゲートキーパー研修を受講。新入職員対象にゲートキーパー研修の受講を案内、支援体制の強化を図る。今年度も新入職員は受講予定としている。 ・大田市健康増進課&gt; ・精神疾患に対する正しい知識の普及や、悩んでいる人への相談支援を地域に普及するために、今年度は年に4回、地域住民や相談支援事業所を対象にゲートキーパー研修を実施。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・川本町&gt; ・相談支援体制を強化していくため令和3年度より、月1回サテライト相談会を実施している。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・邑南町&gt; ・民生委員を対象にゲートキーパー研修を行い、日々の活動でメンタルヘルスの不調がある方を専門機関につないでいただけるよう啓発した。 ・当事者や家族に対して、医療機関、相談支援事業所、社会福祉協議会、民生委員と連携しながら支援している。 ・令和7年度の予定・方針等：老人会を対象に正しい知識の啓発を行う。関係機関と連携した相談支援を行う。</p>	<p>&lt;石東病院&gt; ・第49回自死予防学会が出席で9月5日から7日まで開催され、若年者のうつと自死に関する講演を行った。そのほか自治体からの要請に応じて「メンタルヘルズ」に関する講師派遣を行った。 ・大田市消防本部&gt; ・新入職員対象にゲートキーパー研修の受講を案内、支援体制の強化を図っており、今年度も新入職員の受講を予定している。 ・大田市健康増進課&gt; ・精神疾患に対する正しい知識の普及や、悩んでいる人への相談支援を地域に普及するために、今年度は年に4回、地域住民や相談支援事業所を対象にゲートキーパー研修を実施。 ・川本町&gt; ・相談支援体制を強化していくため令和3年度より、月1回サテライト相談会を実施している。 ・地域でのサロにて、精神疾患についての正しい知識の啓発を行う。 ・住民を対象としたこの健康についての講演会を実施予定。 ・令和8年度の予定・方針等：継続して実施。 ・邑南町&gt; ・老人クラブを対象にゲートキーパー研修を行い、正しい知識の普及や、周りの人の不調に気づき支援機関につなげ、地域で見守る体制について啓発した。 ・当事者や家族に対して、医療機関、相談支援事業所、社会福祉協議会、民生委員と連携しながら支援している。 ・令和8年度の予定・方針等：継続して実施。</p>
<p>③ 緊急的な医療相談、受診等も含めた精神科医療に対応するため、圏域内外の医療機関や消防、警察等関係機関と連携し、精神科医療体制の一層の充実を図ります。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; ・石東病院から外来診療支援に来ていただいております。緊急的な医療相談、受診等も含めた精神科医療に対応できるようにしています。 ・石東病院&gt; ・入院での受け入れが確実な可能なケースを除いて、時間外の救急搬送は石東病院では対応困難なため、引き続き出雲や浜田圏域と連携する。 ・大田市消防本部&gt; ・精神科救急医療体制整備大田圏域連絡調整会議、庁内自死対策専門部会の会議に出席、搬送困難事例など共有、他機関との連携強化を図った。また精神科フロア一宮に沿って対応することにより、関係機関と共通認識のもと迅速に対応できた。また不搬送事案で、介入が必要な場合は、関係機関と情報共有し支援体制の強化を図った。 ・県央保健所健康増進課&gt; ・精神科救急情報センターとして相談対応を実施 ・「精神科救急医療体制整備大田圏域連絡調整会議」を開催し、緊急的な医療相談等への対応について検討（令和6年9月12日） ・石東病院が精神科救急医療施設として夜間休日の空床を確保し、精神科救急医療に対応。 ・石東病院の協力により大田市立病院、公立邑智病院、加藤病院において外来医療を提供。</p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・精神科救急医療体制整備大田圏域連絡調整会議、庁内自死対策専門部会の会議に出席し、石東病院はじめ他機関と連携を図っている。 ・石東病院&gt; ・石東病院から外来診療支援に来ていただいております。医療相談、受診等も含めた精神科医療に対応できるようにしています。 ・石東病院&gt; ・緊急対応が必要なケースについて、医師同士の相談によりスムーズに対応できたケースがあった。事前の相談により受け入れ可能と判断したケースを除く以外は、引き続き時間外の救急搬送による対応は職員不足により困難なため、出雲や浜田圏域と連携する。 ・大田市消防本部&gt; ・精神科救急医療体制整備大田圏域連絡調整会議、庁内自死対策専門部会自死対策ネットワーク会議に出席、搬送困難事例など共有、他機関との連携強化を図った。また救急隊については、精神科フロア一宮に沿って対応することにより、関係機関と共通認識のもと迅速に対応することができている。今後連携を継続していきたいと考える。 ・県央保健所健康増進課&gt; ・精神科救急情報センターとして相談対応を実施 ・「精神科救急医療体制整備大田圏域連絡調整会議」を開催し、緊急的な医療相談等への対応について検討。（令和7年9月1日） ・石東病院が精神科救急医療施設として夜間休日の空床を確保し、精神科救急医療に対応。 ・石東病院の協力により大田市立病院、公立邑智病院、加藤病院において外来医療を提供。</p>

<p>④ 地域包括支援センター、かかりつけ医、認知症サポート医及び認知症疾患医療センター（石東病院）等が連携し、認知症の啓発や治療体制構築のための地域ネットワーク構築と対応力向上を目指します。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【地域ネットワークの構築】 ・川本町認知症初期集中支援チーム（認知症サポート医）に参加した。 ・住民サロンや通いの場へ専門医を派遣し、出前研修や相談会（巡回診療・通いの場へ実施）を実施した。 ＜石東病院＞ ・キャリアバリエイ卜対象の研修の実施。 ＜大田市介護サービス事業者協議会＞ ・「大田圏域高次脳機能障害がい者ネットワーク研究会」に参加 また、研修会にも参加した。 ＜大田市介護保険課＞ ・認知症サポートチーム養成講座の開催による正しい知識の普及 ・関係機関との連携による啓発活動（認知症疾患医療センター、RUN伴しまね、家族会等） ・当事者の声を反映したパネル展示（啓発月間） ・認知症初期集中支援チームによる早期介入、会議の定期開催による顔の見える関係性の構築 令和7年度の予定・方針等：地域包括支援センター、認知症疾患医療センター、認知症サポート医など関係機関との連携により、相談支援体制の充実と普及啓発を継続実施。 ＜県史保健所健康増進課＞ ・大田圏域認知症ネットワーク協議会を認知症疾患医療センター（石東病院）との共催により開催（令和6年12月19日） ・RUN伴しまねへの参加による、認知症予防の啓発実施（令和6年10月6日） ＜県史保健所地域包括ケア推進スタッフ＞ ・おおた彼岸市「中日つあん」で認知症啓発の街頭キャンペーンを開催 実施（令和6年9月22日） ・若年性認知症をテーマにした映画「オレソジ・ラソジ」の上映会に共催と 域各機関が参画（令和7年3月8日）</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・認知症についての一般市民への啓蒙活動とウオーキングを通じた認知症予防の啓の学習会が神経内科と精神科医の共同で温泉津町で開催され多くの方の参加があった。 ＜大田邑智 歯科医師会＞ ・歯科医師認知症対応力向上研修を受講し、認知症の理解を深めた歯科医師を「オレソジデソテナースト」として登録し、認知症患者が歯科医療が受けやすい環境を整備していく。 ＜加藤病院＞ ・川本町認知症初期集中支援チーム（認知症サポート医）に参加した。 ・住民サロンや通いの場へ専門医を派遣し、出前研修や相談会（巡回診療・通いの場へ実施）を実施した。 ＜石東病院＞ ・島根中央高校、川本中学校の生徒に認知症およびこころの健康についての授業を行った。地域住民を対象とした認知症予防についての講演を行った。 ・大田圏域認知症ネットワーク協議会を保健所と共催して開催。（令和7年2月25日） ＜大田市介護サービス事業者協議会＞ ・「大田圏域高次脳機能障害者ネットワーク研究会」に参加した。 ＜大田市介護保険課＞ ・認知症サポートチーム養成講座の開催による正しい知識の普及 ・関係機関との連携による啓発活動（認知症疾患医療センター、RUN伴しまね、家族会等） ・当事者の声を反映したパネル展示（啓発月間）。 ・おおた彼岸市で認知症啓発の該当キャンペーンを開催と実施。 ・若年性認知症をテーマにした映画「オレソジ・ラソジ」上映会の実施。（市内33か所：9月） ・認知症体験会の実施。（市内33か所：1月～2月 予定） ・認知症初期集中支援チームによる早期介入、会議の定期開催による顔の見える関係性の構築。</p>
<p>⑤ 治療が必要な人が早期に医療機関受診に繋がるよう、認知症疾患医療センター（石東病院）、医師会、歯科医師会、薬剤師会等と連携し、認知症対応力向上に向けた人材育成を図ります。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・今年1月に、認知症ワークショップを地元大田市でハイブリット形式で開催して、医療従事者としての在り方や問題点について検討した。島大講師の先生からは1～3次予防の話があり、早期発見と早期の医療介入の必要性を強調された。参加者であるコミュニケーションの医師からは、中山前地域では専門医がいな い事も課題としてあった。 ＜加藤病院＞ 【認知症疾患医療センターとの連携】 ・石東病院や邑智郡医師会が主催する、研修会へ参加している。 【人材育成】新規に名の医師が認知症サポート医を取得した。 ＜石東病院＞ ・ちゅうりつつがの会との連携。 ＜県史保健所地域包括ケア推進スタッフ＞ ・大田市で開催されたキャリアバリエイ卜養成研修の運営に協力（令和6年10月30日）</p>	<p>＜大田邑智 歯科医師会＞ ・「オレソジデソテナースト」に加え、地区で認知症関連施策会議への参加や在宅歯科医療に係る連携体制を確保している歯科医師を「オレソジデソテナースト・ボランティア」とし、歯科医師のネットワーク構築に努めている。 ＜石東病院＞ ・ちゅうりつつがの会（認知症本人・家族の会）との連携。 ・島根県薬剤師会大田支部 ・薬局時、患者や患者家族の動向などを見ながら随時担当医へ情報提供を行っている。 ＜大田市介護サービス事業者協議会＞ ・大田圏域認知症疾患医療センター主催の「認知症連携を考える会in大田」について、全会員事業所に案内した。 ＜大田市介護保険課＞ ・地域包括支援センターを事務局として、認知症初期集中支援チームを設置し、医療・介護に適切につながるかつていない方の相談支援対応を行っている。適切な支援が行えるよう、毎月1回チーム員会議を開催し、対応を協議している。 ・県が開催される認知症キャリアバリエイ卜養成講座に、今後サポートチーム養成講座を開催する意欲のある福祉関係職員の受講促しを行うとともに、受講したメイトが講座を開催しやすいようサポートを行っている。</p>

6. 救急医療【大田圏域】

実施の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 初期救急医療を含め、必要な救急医療体制を維持・確保できるよう、引き続き関係機関との検討を進めます。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【病院前救護体制の確立】 ・病院前救急救命士による住民対象の救命講習会（住民サロン・通いの場への出前研修）を開催した。 ・救急患者に対して病院救命士派遣を行い適切な医療機関への引継ぎができた。 ・病院前救護体制として地域の介護職等介護・医療関連専門職を対象とした、二層会メンバーカールスタッフスキルアップセミナーにおけるコミュニケーション教育を実施した。 【救急医療体制の推進】 ・かかりつけ医療能として、在宅療養支援病院として、そして地域包括ケア病棟の役割としてのサブアキュート機能として休日夜間を含む初期救急医療に対応した。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・出雲地区及び浜田・江津地区それぞれ救急業務連絡協議会総会に参加した（出雲地区：令和6年4月18日、浜田・江津地区：令和6年7月24日～8月2日（書面開催））</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・令和7年10月よりマイナビ救急の利用が開始された。救急時救急隊での救急車の利用時ごのシステムの利用で、患者の効率的（適切）な搬送先医療機関の選定に非常に大きなメリットを体験した。 ・非待時には24時間かかりつけ医と救急隊、患者家族と連絡が取れる駅ではないので、医師としてインターネットを介した、クラウド型の患者支援情報共有を行った。（令和7年12月23日） &lt;出雲地区救急業務連絡協議会に参加し、症例検討を行っている。&gt; &lt;加藤病院&gt; ・かかりつけ医療能として、在宅療養支援病院として、そして地域包括ケア病棟の役割としてのサブアキュート機能として休日夜間を含む初期救急医療に対応した。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・救急連携にかかるとする医療提供体制の確保に向けたスムーズな連携について医療機関をはじめとする医療提供体制の確保に向けたスムーズな連携について意見交換を行った。（令和7年11月26日） ・社会福祉施設等に対しても、医療機関からのスムーズな退院への協力依頼を行った。（10月2日：入退院連携検討会、12月17日：大田市介護サービス事業者協議会、居宅介護支援部会等様々な機会にて） ・大田圏域救急医療関係協議会を設置し、第1回連絡会を開催。年末年始の長期連休を控え、各関係機関における現状や今後の診療体制等について情報共有を行った。（令和7年12月23日） ・出雲地区及び浜田・江津地区それぞれ救急業務連絡協議会総会に参加した（出雲地区：令和7年6月20日、浜田・江津地区：令和7年8月18日～8月29日（書面開催））</p>
<p>② 二次救急医療を担う医療機関において、軽症患者の集中により本来の救急医療のかかり方等について、住民への啓発を推進します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・都会と同じような、救急車をタクシーがわりに利用する住民が増えることが無いよう、日頃から外来診療の場では、救急時の患者の対応について、教育指導を医師会員全体で努めるよう、医師会の会議の場でも協力要請する。 &lt;江津邑智消防組合消防本部&gt; ・公共施設等に救急車適正利用のポスターを配布し啓発活動を実施した。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・大田市医療政策課、大田市立病院及び保健所による定期意見交換会において、大田市立病院救急外来への受診状況について実態把握を行った。</p>	<p>&lt;大田市消防本部&gt; ・救急車の適正利用に対して、本庁のデジタルサインボードの活用や市民への説明会を通じて啓発活動を実施。今後も、様々な方法を用いて実施していきたい。 &lt;江津邑智消防組合消防本部&gt; ・公共施設等に救急車適正利用のポスターを配布し啓発活動を実施した。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・救急医療体制確保への協力について、各市町の広報誌にて啓発した。（大田市：12月18日、川本町：12月20日、美郷町：1月、邑南町：1月、それぞれ全戸配布）</p>
<p>③ ドクターヘリや防災ヘリコプター等を活用した救急患者搬送について、医療機関、消防機関等の各関係機関の緊密な連携を図り、効果的な広域搬送体制を確保します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・ドクターヘリや救急車の効率的利用で、救急患者の予後の改善と死亡率の改善を図る。 &lt;公立邑智病院&gt; ・10/15から稼働した新病院では、救急車のスムーズな搬入経路、NBC災害にも対応できる検査室、救急処置室には最新の救命医療機器、CTスキャンなどの高度機器アプスなど救命行為トータルでスムーズな動線を確保しています。 ・救急隊員へ指示・指導・助言を行う医療機関として、定期的に病院実習を受け入れており、救急室に併設して消防職員の執務室を設置しました。 &lt;加藤病院&gt; ・患者に対し速やかにドクターヘリや防災ヘリコプター等を活用した救急患者搬送を行った。 &lt;大田市消防本部&gt; ・キーワード方式により、適切にドクターヘリ要請を行い、早期医療介入、搬送時間の短縮を図った。R6年度 要請:153、搬送:97 &lt;江津邑智消防組合消防本部&gt; ・ドクターヘリやドクターカー対応事業については、搬送先病院からの確定診断を基に、適切な活動であったか検証を実施。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・県医療政策課主催の「令和6年度島根県ドクターヘリ運航調整委員会」に参加した（令和6年11月20日）</p>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・救急隊員へ指示・指導・助言を行う医療機関として、定期的に病院実習を受け入れており、救急室に併設して消防職員の執務室を設置している。 &lt;加藤病院&gt; ・患者に対し速やかにドクターヘリや防災ヘリコプター等を活用した救急患者搬送を行った。 &lt;大田市消防本部&gt; ・キーワード方式により、通信指令課及び救急隊が適切にドクターヘリ要請を行い、早期医療介入、搬送時間の短縮を図っている。搬送後には、島根県医療政策課を通じて確定診断情報や搬送の有無等について情報提供を受けられる。12月19日（資料作成現在） 要請:102、搬送:53 &lt;江津邑智消防組合消防本部&gt; ・ドクターカー対応事業については、事業主体である島根大学医学部附属病院から確定診断を頂いている。これに基づき、今年度から島根県が調査し県から確定診断を頂いている。これを基に、通信指令課、出雲救急隊で適切な活動であったか事後検証を行っている。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・県医療政策課主催の「令和7年度島根県ドクターヘリ運航調整委員会」に参加した（令和7年11月19日）</p>

7. 災害医療【大田圏域】

実施の方向	令和6年度の取組・成果	災害難	令和7年度の取組・成果
<p>① 災害時においても必要な医療提供体制を維持するため、医療機関等における事業継続計画（BCP）や避難行動要支援者（高齢者や障がい者等）に対する個別支援計画の作成等の取組を進めます。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【特殊災害時の医療救護・介護連携】 ・災害時（クランスタク発生時含む）において、近隣の介護施設に対し、診療支援やオンライン会議の開催をおこなえる体制を準備している。 ・定期、臨時のBCPの見直しを行った。 ・<u>島根県薬剤師会大田支部</u>の連絡網の整備を行った。 ・<u>大田市介護サービス事業者協議会</u> ・各施設BCPの策定をおこなっているが、そこからの横のつながりや行政との連携についでわからないため、2月18日に協議会の勉強会として危機管理課の方にご指導を受けながら研修を実施する予定。 ・<u>県央保健所医事・難病支援課</u> ・<u>大田圏域内の医科・歯科診療所、薬局、訪問看護ステーションを対象として、「医療機関における事業継続計画（BCP）作成状況に関するアンケート調査」を実施した（令和7年1月～2月）</u></p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・BCPの見直しを行っている。 ・<u>加藤病院</u> 【災害時連携体制】 ・定期のBCPの見直しをおこなった。 ・新病院における災害対策（BCP含む）について、県・町と協議をおこない対策立案している。 ・経済産業省実証事業「地域新Maas創出事業」において、地域事業者である「石見銀山テレビ放送（株）」さまと、医療Maas車両による災害時の利活用（既存通信インフラや通信技術を活用した避難所でのオンライン診療など）について実証内で協議した。 ・<u>県央保健所医事・難病支援課</u> ・令和7年度に、大田圏域内の医科・歯科診療所、薬局、訪問看護ステーションを対象として行った、「医療機関における事業継続計画（BCP）作成状況に関するアンケート調査」をこまめ、慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室・一般社団法人コミュニティヘルスケア研究機構 機構長・理事長 山岸晴美氏を講師に迎えて、大田圏域BCP策定支援研修会を開催した。（令和7年7月3日）</p>	
<p>② 地域災害拠点病院である大田市立病院を中心に、災害協力病院である公立邑智病院をはじめとした保健・医療・福祉分野の各関係機関との連携をより一層強化します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・今年度も大田地域災害保健医療福祉対策会議に出席した。 ・災害時の医療は、平素からの対応訓練が必要である。定期的にかつ機会をとらえてこれらのトレーニングや研修会の企画参加への取り組みを図る。医師会・他の分野との連携協力をすることでより良くなることのできる。医師会としても災害時の視野を広げて、防災、減災につなげる。 ・<u>県央保健所医事・難病支援課</u> ・県医療政策課主催の「EMIS入力・衛星電話通信訓練」に参加し、大田圏域内の病院及び有床診療所との情報共有手段を確認した（令和6年5月30日） ・「令和6年度第1回大田圏域地域保健専門職員研修」として、<u>災害時初動対応研修を各市町及び保健所合同で実施した（令和6年7月12日・19日）</u></p>	<p>&lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・（公社）日本歯科衛生士会の災害歯科保健歯科衛生士育成に協力し（公社）日ノ川の受講を推進している。新たに大田地区の会員2名が受講を終え（公社）日本歯科衛生士会に登録をした。 ・<u>大田市介護サービス事業者協議会</u> ・令和7年度は通所部会が大田市役所危機管理課より講師を招いてBCP研修を行った。各事業所、地域で課題が大きくなるため、研修としては効果を感じにくかったなどの報告があった。具体的に事前対策、打ち合わせできる項目等をチェックリスト化するなど着実な課題解決を進めたい。 ・災害時に事業者協議会としてどのように行動するべきかについて、次年度は役員会に諮り進めたい。 ・<u>県央保健所医事・難病支援課</u> ・県医療政策課主催の「EMIS入力・衛星電話通信訓練」に参加し、大田圏域内の病院及び有床診療所との情報共有手段を確認した（令和7年6月3日） ・「令和7年度第1回大田圏域地域保健専門職員研修」として、災害時初動対応研修を各市町及び保健所合同で実施した。（令和7年7月28日・8月6日）</p>	
<p>③ 圏域内での大規模災害発生時に、各種保健医療福祉活動チームの派遣及び受援の調整、情報の連携・整理・分析等を行うため、保健所に設置する災害保健医療福祉地域調整本部の円滑な運用を図ります。</p>	<p>&lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・会内の連携を深めていく。 ・<u>公立邑智病院</u> ・島根県が指定する災害協力病院として、新病院においても多数傷病者の受け入れに対応できるよう災害マニュアルを見直しています。また、3階に無線機基地局を設置しており、周辺への災害派遣では情報共有がスムーズとなりま ・<u>大田地区歯科衛生士会</u> ・（公社）日本歯科衛生士会の災害歯科保健歯科衛生士育成に協力し（公社）日ノ川の受講を推進した。 ・<u>県央保健所医事・難病支援課</u> ・令和6年度大田地域災害保健医療福祉対策会議を開催し、以下の内容について協議した（令和6年7月4日） ―大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制について ―令和6年能登半島地震における各支援チームの活動報告 ―大田圏域における難病患者等の個別支援（避難）計画の作成状況について ―新たな島根県保健医療計画を踏まえた今後の取組について</p>	<p>&lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・令和7年度大田地域災害保健医療福祉対策会議を開催し、以下の内容について協議した。（令和7年7月3日） ―大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制について ―医療機関における事業継続計画（BCP）の作成状況に関するアンケート調査結果報告 ―大田圏域における難病患者等の個別支援（避難）計画の作成状況について ―送付施設における災害対策について（島根県臨床工学技士会 県央地区災害時情報センターイネーター 坂本純平氏より）</p>	

8. 感染症に対する医療【大田圏域】

実施の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 医療提供体制については、県が策定する指針等の内容を踏まえ、医療機関その他関係者と連携し、感染症医療提供体制の確保に取り組みます。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・今年度も大田市医師会では、年末年始の大田市発熱外来を担当して大田市立病院をサポートした。 &lt;加藤病院&gt; ・引き続き発熱外来・患者受入・自宅療養者への対応を行う。 &lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt; ・大田市立病院との月1回ワエラ会議にて感染症状況や面会制限などについて情報交換や情報の共有をおこなう事で、感染対策強化など予防につながる。 &lt;県立保健衛生指導課&gt; ・県と各医療機関において、新興感染症発生・まん延時における医療提供の分担・確保に係る協定(医療措置協定)を締結。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・大田市医師会では、開業医会員の協力を得て、12月31日(水)より1月4日(日)までの5日間におたる期間に発熱(救急)外来を実施。地元住民と他の総合病院への負担軽減を図った。 ・今年は例年より1か月以上早くインフルエンザの流行開始が早まったので、地域住民に、年末年始のこのためのインフルエンザの流行開始が早まったので、対策的だった。インフルエンザに対する予防接種も順調におこなわれ、例年より小中学校での学級閉鎖も少ない状態であった。 &lt;加藤病院&gt; 【第一種及び第二種協定指定医療機関】 ・引き続き発熱外来・患者受入・自宅療養者へ対応した。 ・介護施設と連携をおこなっている。 &lt;島根県薬剤師会大田支部&gt; ・引き続き一定の薬局において年末年始だけでなく臨時応需体制は整えている。 &lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt; ・大田市立病院との月1回ワエラ会議にて感染症状況や面会制限などについて情報交換や情報の共有を行う事で、感染対策強化など予防につながる。 &lt;県立保健衛生指導課&gt; ・県と各医療機関において、新興感染症発生・まん延時における医療提供の分担・確保に係る協定(医療措置協定)を締結(継続)。等特記すべき感染症情報を病院及び郡市医師会へ共有。</p>
<p>② 取組にあたっては、感染症法に基づき策定する予防計画やインフルエンザ等対策特別措置法に基づき策定する行動計画との整合性を図ります。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・コロナ感染症は一部ウイルスの弱毒化で、当初より重症者は減少傾向にある。今後も別の新しい輸入感染症(新興感染症)に対して、常時対応できるように実務研修に加え、県の策定計画に沿って行動出来るよう努める。 &lt;加藤病院&gt; ・引き続き発熱外来・患者受入・自宅療養者への対応を行う。 ・島根県薬剤師会大田支部 ・<b>年末年始の医療機関の休業時期においても、一定の薬局においては臨時応需体制を整え、医療機関の要請に伴い感染症等患者対応を行った。</b> &lt;県立保健衛生指導課&gt; ・令和7年度の予定・方針等：島根県新型コロナウイルス等対策行動計画改定予定(17.5酒) &lt;県立保健衛生 難病支援課&gt; ・結核対策は、令和3年3月改定「島根県結核対策推進計画」に基づき早期発見・定期健康診断・予防接種・集団感染対策を重点とした啓発活動を行う。令和7年度の予定・方針等：引き続き早期発見のための医師等の研修事業を行う。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【第一種及び第二種協定指定医療機関】 ・感染症に関するBCP更新をおこなっている。 &lt;島根県薬剤師会大田支部&gt;(再掲) ・引き続き一定の薬局において年末年始だけでなく臨時応需体制は整えている。 &lt;県立保健衛生指導課&gt; ・島根県結核対策推進計画(令和6年6月26日・県庁) ・結核対策は、令和3年3月改定「島根県結核対策推進計画」に基づき早期発見・定期健康診断・予防接種・集団感染対策を重点として推進。 ・結核・呼吸器感染症予防週間(9/24～9/30)にて、各市町での音声放送、ポスター掲示等により住民啓発を実施。 ・大田圏域感染症予防週間(9/24～9/30)で、高齢社施設等における結核対策について講義を行った。(令和7年6月26日) ・結核の新規患者発生時には、本人・家族の気持ちに寄り添いつつ、関係機関と連携を図りながら、迅速に対応している。また、<b>患者管理として、定期健診・DOTSを実施。対応の遅延として、医療機関感染管理認定看護師と連携して</b>コホート検討会を実施している。 ・外国人労働者からの発症も増えてきており、<b>早期発見・早期治療のためにも職域と連携した取組が必要となっっている。</b></p>
<p>③ 今後発生する可能性のある新興感染症等に対する発生・まん延時の医療提供体制の確保については、これまで実際に発生してきた新型コロナウイルス感染症への対応をふまえるとともに、各感染症の特徴に応じて取り組みます。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・高齢者介護福祉施設での集団感染対策は引き続き課題である。 &lt;公立島智病院&gt; ・<b>新病院には感染症患者に対応できる個室を3床設置しました。</b> &lt;加藤病院&gt; ・引き続き発熱外来・患者受入・自宅療養者への対応を行う。 &lt;県立保健衛生指導課&gt; ・<b>第二種指定医療機関である大田市立病院と合同で鳥インフルエンザ疑い患者発生対応訓練を実施。</b> ・介護施設及び事業所の従事者向けに大田圏域感染症対策研修会を大田市立病院と合同開催。当日参加できなかった従事者向けにしまねCOMMONSを活用したオンライン配信を実施(研修後6か月間)。 ・管内介護施設のメールコンタクト化及び希望者への地域の感染症流行状況のメール配信を週1回実施。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・保健所と共催で介護事業所向け研修会を開催。 &lt;公立島智病院&gt; ・新病院には感染症患者に対応できる個室を3床設置しており、感染症患者の受け入れを行っている。 &lt;加藤病院&gt; ・引き続き発熱外来・患者受入・自宅療養者への対応を行う。 ・島根県薬剤師会大田支部(再掲) ・引き続き一定の薬局において年末年始だけでなく臨時応需体制は整えている。 &lt;県立保健衛生指導課&gt; ・昨年度に引き続き、介護施設及び事業所の従事者向けに大田圏域感染症対策研修会を大田市立病院と合同開催。しまねCOMMONSを活用したオンライン配信を実施。 ・管内介護施設等の希望者への地域の感染症流行状況のメール配信を週1回実施。 ・鳥インフルエンザ対応訓練～鳥インフルエンザ発生時の保健班業務～を実施。(令和7年10月22日、11月4日)</p>

## 9. 地域医療【大田圏域】

施策の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 人口減少等に伴う医療需要の変化を見据え、地域の拠点病院を核とした医療提供体制の再構築について、関係者との検討を進めます。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・昨年未、中山間地域で1診療所の閉院があった。地元医師会と大田市立病院と連携を取りながら、現在残された地域住民の健康確保について、今後の支援体制を日後継続検討中である。 ＜大田 邑智 産科医師会＞ ・1.5次医療機関として大田市立病院への口腔外科設置の働きかけを継続的に行っている。 ＜大田市立病院＞ ・令和3年1月から池田診療所へ医師・看護師を派遣し、診療を継続している。 ＜公立 邑智 病院＞ ・郡内各地区の地域医療を確保するため、令和6年10月から邑南町市木地区に附属市木診療所開設しました。(週3日外来診療) また、国保診療所医師が不在の代診医派遣等の支援をしています。 ＜加藤病院＞ 【大田圏域における広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会】 ・圏域の課題について協議を行った。 ・今年度未、大田市立病院の電子処方箋発行予定に伴い、市内薬局において設備を整える為の周知を行った。 ＜大田市医療政策課＞ ・1市2町2病院による広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会を開催し、課題共有や協力連携による取り組みを行った。 ・令和7年度の予定・方針等：継続実施、精神疾患を抱える患者への課題解決の検討の為、石東病院の参加。 ＜川本町＞ ・圏域内の1市2町2病院の実務者間で市町を超えた一次医療の維持、提供のあり方について検討を行っている。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・医療の過疎地における、住民への医療サービスの低下が進まぬように大田市立病院では積極的にオンライン診療を展開しており、一定の成果を出している。 ＜大田 邑智 産科医師会＞ ・1.5次医療機関として大田市立病院への口腔外科設置の働きかけを継続的に行っている。 ＜大田市立病院＞ ・令和3年1月から池田診療所へ医師・看護師を派遣し、診療を継続している。 ＜公立 邑智 病院＞ ・郡内各地区の地域医療を確保するため、令和6年10月から邑南町市木地区に附属市木診療所開設し、診療を継続している。(週3日外来診療) また、国保診療所医師が不在の代診医派遣等の支援をしている。 ＜加藤病院＞ 【大田圏域における広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会】 ・移動困難・人口減少・事業継続性に対する課題解決のため、経済産業省実証事業「地域新mas創出事業」(経産省産産福共創モデル創出事業)について連携をいただいている。 ＜大田市地域医療推進課＞ ・1市2町3病院による広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会を開催し、課題共有や協力連携による取り組みを行った。 ＜川本町＞ ・圏域内の1市2町2病院の実務者間で市町を超えた一次医療の維持、提供のあり方について検討を行っている。</p>
<p>② 特に、在宅医療も含めた一次医療の維持・確保に ついて、住民により身近な市町を主体とした議論を進めていきます。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【地域医療を確保する施策の推進】 ・県指定地域医療拠点病院として、以下①～③の主要3事業のうち2事業を行った。 ※昨年度実績①無医地区及び巡回診療4地区(川本町：芋畑・田窪、大田市：井田・福波)②へき地診療所医師派遣(美郷町君谷診療所)、③診療所代診医等派遣要請10回 ＜大田市医療政策課＞(再掲) ・1市2町2病院による広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会を開催し、課題共有や協力連携による取り組みを行った。 ・令和7年度の予定・方針等：継続実施、精神疾患を抱える患者への課題解決の検討の為、石東病院の参加。 ＜美郷町＞ ・令和7年度、既存の保健医療連絡会において、在宅医療について検討する。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ ・大田市主催の「地域医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会」(第8回：令和6年7月1日、第9回：10月11日、第10回：令和7年3月17日)に参加した。 ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を新たに設置し、限りある医療・介護資源の中で、持続的にサービスを提供できる体制の構築に向けた意見交換を行った(準備会：令和6年8月27日、第1回：令和7年1月24日)。 ・「美郷町内診療所への支援等に係る関係機関会議」を美郷町と連携して開催した(令和6年12月11日)</p>	<p>＜加藤病院＞ ・県指定地域医療拠点病院として、以下①～③の主要3事業のうち2事業を行った。 ※昨年度実績①無医地区及び巡回診療4地区(川本町：芋畑・田窪、大田市：井田・福波)②へき地診療所医師派遣(美郷町君谷診療所)、③診療所代診医等派遣要請10回 ＜大田市地域医療推進課＞(再掲) ・1市2町3病院による広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会を開催し、課題共有や協力連携による取り組みを行った。 ＜美郷町＞ ・大田市主催の「地域医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会」(第1回：令和7年7月12日、第12回：令和7年11月5日)に参加した。 ・雲南保健所、県央保健所、美郷町意見交換会(令和7年8月5日) ・雲南保健所、県央保健所、邑南町立病院、飯南町立飯南病院、美郷町意見交換会(令和7年11月4日) ＜県央保健所地域包括ケア推進スタッフ＞ ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を開催し、在宅における看取り、認知症を含む精神医療について、各医療機関の機能を踏まえた医療提供体制のあり方等について意見交換を行った。(第2回：令和7年7月14日、第3回：令和7年12月16日) ・第1回美郷町×飯南町情報交換会を雲南保健所と連携して開催。互いの町の医療介護資源や提供体制の状況、取り組み等共有→相互理解を深め、圏域を超える連携を強化する目的で実施。(令和6年11月4日)</p>
<p>③ 医師や看護師等の医療従事者の確保については、引き続き必要な取組を実施します。</p>	<p>＜加藤病院＞ ・限られた人材の有効利用のためにタスクシフトとして、経済産業省実証事業「地域新mas創出事業」を受託し、DipwI.thXの実証事業を行う。生がともに考える島根県川本町における地域医療構想プロジェクト)や島根中央高校11学年総合的な探求学習授業」(新聞部)と連携し、まちづくりの観点も含め学びあう機会を作った。 ＜大田市医療政策課＞ ・島根大学医学部の地域枠推薦1名、石見高等看護学院の地域枠推薦3名 ・島根大学医学部地域枠推薦の医学士・看護学生との交流会の開催 ・市内高校生と医療従事者・医学士・看護学生との座談会の開催 ・市長と石見高等看護学院地域推薦学生とのランチミーティング ・市内至小中学校における地域医療教育推進事業の実施補助 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞(再掲) ・「医師確保計画の推進に関する支援事業」について、大田市立病院及び公立邑智病院から提出された事業計画書を第1回地域保健医療対策会議医療・介護連携部会で協議し合意を得た(書面開催：令和6年6月24日～28日)</p>	<p>＜公立 邑智 病院＞ ・小学生の病院見学を受け入れたり、各種学生の実習の受け入れを継続している。(今年度初期臨床研修医等延べ74名受け入れ) ＜加藤病院＞ 【地域医療人育成と確保】 ・限られた人材の有効利用のためにタスクシフトとして、経済産業省実証事業「地域新mas創出事業」を受託し、DipwI.thXの実証事業をおこなった。 ・将来の地域医療人の育成のため、産学連携として、矢上高校さま・島根県建設業協会・邑智郡建設業協会さまと連携し、新病院建設現場にて、まちづくりの観点も含め学びあう機会を作った。 ＜大田市地域医療推進課＞ ・島根大学医学部の地域枠推薦2名、石見高等看護学院の地域枠推薦1名 ・島根大学医学部地域枠推薦の医学士・看護学生との交流会の開催 ・市内高校生と看護学生との座談会の開催 ・市長と石見高等看護学院地域推薦学生とのランチミーティング ・市内至小中学校における地域医療教育推進事業の実施補助 ・「医師確保計画の推進に関する支援事業」について、公立 邑智 病院及び加藤病院から提出された事業計画書を第1回地域保健医療対策会議医療・介護連携部会で協議し合意を得た。(書面開催：令和7年7月9日～16日)</p>

10. 周産期医療【大田圏域】		施策の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
①	引き続き「大田圏域周産期保健医療検討会」を開催し、周産期医療体制の維持・充実を図ることも、大田圏域内外の医療機関及び関係機関との連携強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田市医師会&gt;</li> <li>今年は大田市立病院での産婦人科医の増員確保があり、正常分娩や婦人科救急医療に体制が確保できつつある。</li> <li>公立邑智病院&gt;</li> <li>地域振興における重要施策として、お産ができる環境を維持します。新病院でもLDRを2床設けています。</li> <li>邑南町&gt;</li> <li>2月に周産期連絡会を開催予定。</li> <li>令和7年度の予定・方針等：引き続き実施し、関係機関との連携強化を行う。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>「大田圏域周産期保健医療検討会」を開催し、現状の確認や救急搬送体制の確認等を実施（令和6年11月20日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立邑智病院&gt;</li> <li>地域振興における重要施策として、新病院でもLDRを2床設け、お産ができる環境を維持する。</li> <li>邑南町&gt;</li> <li>2月に周産期連絡会を開催し、公立邑智病院、町内助産院と切れ目ない支援に向けて検討予定。</li> <li>令和8年度の予定・方針等：引き続き実施し、関係機関との連携強化を行う。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>大田圏域周産期保健医療検討会」を開催し、現状の確認や救急搬送体制の確認等を行う予定。（令和8年書面開催）</li> </ul>	
②	助産師が、医師との連携のもと今後も継続して主体的なケアを提供するために、その技術力向上やキャリア形成のための研修の周知、活用支援を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田市子ども家庭支援課&gt;</li> <li>R6.4月、大田市子ども家庭センター「おおたっこ」を開設した。妊産婦、子育て世帯に対して、こどもの相談支援や児童虐待防止対策などの様々な取り組みを行っている。方針等：継続して実施。</li> <li>川本町&gt;</li> <li>令和6年4月より、役場健康福祉課内に「子ども家庭センター」を設置している。妊娠期から切れ目ない支援が提供できるよう取組をすすめている。</li> <li>美郷町&gt;</li> <li>令和7年度の予定・方針等：継続して実施する。</li> <li>美郷町&gt;</li> <li>令和6年4月に健康福祉課内に、子ども家庭センターを設置。統括保健師を統括支援員として保健師、社会福祉士、保育士など6名体制（兼務）。令和7年度の予定・方針等：個別ケースに対するプログラム作成と支援体制育て短期支援事業）の構築を重点として進めたい。</li> <li>邑南町&gt;</li> <li>従来のこともまるごと相談室を子ども家庭センターとして位置づけ、母子保健と児童福祉が一体となって妊娠期から切れ目ない伴走型支援を行い、必要なサービスにつなげている。</li> <li>令和7年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>市町母子保健担当者連絡会を開催し、各市町の取組状況や課題について意見交換（令和6年6月10日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田市子ども家庭支援課&gt;</li> <li>大田市子ども家庭センター「おおたっこ」において、妊娠期からの切れ目ない伴走型支援、虐待防止の対策などに取り組みしている。サポートプログラムは、できる限り、子どもや保護者と一緒に行われ、対象者の思いを大切にしたい支援を実施することができた。大田市立病院とも定期的に連絡会を開催し、常に情報共有しながら適切な支援につなげることができている。</li> <li>川本町&gt;</li> <li>令和6年4月より、役場健康福祉課内に「子ども家庭センター」を設置している。妊娠期から切れ目ない支援が提供できるよう取組をすすめている。</li> <li>美郷町&gt;</li> <li>令和7年度の予定・方針等：継続して実施する。</li> <li>美郷町&gt;</li> <li>令和6年4月より、健康福祉課内に「美郷町子ども家庭センター」を設置し、妊娠期から母子保健と児童福祉が一体となって子育て世帯に対し継続した支援を行っている。</li> <li>令和8年度の予定・方針等：継続して実施する。</li> <li>邑南町&gt;</li> <li>従来のこともまるごと相談室を子ども家庭センターとして位置づけ、母子保健と児童福祉が一体となって妊娠期から切れ目ない伴走型支援を行い、必要なサービスにつなげている。</li> <li>令和8年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>市町母子保健担当者連絡会を開催し、各市町の取組状況や課題について意見交換。（令和7年7月8日）</li> </ul>	

11. 小児医療【大田圏域】		施策の方向	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
①	大田圏域内診療所での小児に対する医療の提供が維持できるように、郡市医師会と連携して研修等の場を確保するとともに、病院と診療所の連携体制の維持・強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田市内医師会&gt;</li> <li>一般内科医向けの小児医療の研修会は定期的に開催して、小児医学の新しい知識の普及に努めていて、それなりの成果を上げている。小児科診療の充実に、日々病診連携に努めている。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>医療的ケアを必要とする子どもに対し、医療機関や市町等と連携した相談・訪問支援を実施。また、関係機関との情報共有のため状況に応じて支援会議を開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田市内医師会&gt;</li> <li>小児科医療についての地元での研修会は多くはないので、日本医師会やその他の保健医療団体からのWEB(zoomなど)による研修会に積極的に参加し最新の医学的知識知識の吸収に努めている。</li> <li>大田市立病院&gt;</li> <li>R7.10より小児科医2名体制となり、診療所との連携が強化された。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>医療的ケアを必要とする子どもに対し、医療機関や市町等と連携した相談・訪問支援を実施。また、関係機関との情報共有のため状況に応じて支援会議を開催。</li> </ul>	
②	小児慢性特定疾病に罹患している児や医療的ケアを必要とする児が安心して生活できるよう、県が実施する研修等も活用しながらサービスを提供する看護師等専門職の人材育成に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立邑智病院&gt;</li> <li>LDRを2床設けています。</li> <li>邑南町&gt;</li> <li>2月に周産期連絡会を開催予定。</li> <li>令和7年度の予定・方針等：引き続き実施し、関係機関との連携強化を行う。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>「大田圏域周産期保健医療検討会」を開催し、現状の確認や救急搬送体制の確認等を実施（令和6年11月20日）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立邑智病院&gt;</li> <li>地域振興における重要施策として、お産ができる環境を維持します。新病院でもLDRを2床設けています。</li> <li>邑南町&gt;</li> <li>2月に周産期連絡会を開催し、公立邑智病院、町内助産院と切れ目ない支援に向けて検討予定。</li> <li>令和8年度の予定・方針等：引き続き実施し、関係機関との連携強化を行う。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>大田圏域周産期保健医療検討会」を開催し、現状の確認や救急搬送体制の確認等を行う予定。（令和8年書面開催）</li> </ul>	
③	医療的ケア必要児を支える関係者との連携を強化し、LDR入院を含む支援体制の整備に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田市内医師会&gt;</li> <li>一般内科医向けの小児医療の研修会は定期的に開催して、小児医学の新しい知識の普及に努めていて、それなりの成果を上げている。小児科診療の充実に、日々病診連携に努めている。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>医療的ケアを必要とする子どもに対し、医療機関や市町等と連携した相談・訪問支援を実施。また、関係機関との情報共有のため状況に応じて支援会議を開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大田市内医師会&gt;</li> <li>小児科医療についての地元での研修会は多くはないので、日本医師会やその他の保健医療団体からのWEB(zoomなど)による研修会に積極的に参加し最新の医学的知識知識の吸収に努めている。</li> <li>大田市立病院&gt;</li> <li>R7.10より小児科医2名体制となり、診療所との連携が強化された。</li> <li>県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>医療的ケアを必要とする子どもに対し、医療機関や市町等と連携した相談・訪問支援を実施。また、関係機関との情報共有のため状況に応じて支援会議を開催。</li> </ul>	



<p>⑤ 元気なうちから、本人家族と終末期について話し合っておくACPについて、医療機関、介護福祉施設、行政等が連携して住民にとって分かりやすい啓発に取り組めます。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【人生の最終段階における医療】における医療提供への意向を確認している。 ・病院入院時に、人生の最終段階における医療提供への意向を確認している。 【住民・職域への啓発活動の推進】 ・自治会単位など、住まうエリアごとでの人生会議開催支援。 ・大田市介護サービス事業者協議会 大田市立病院主催の看取り研修があり、その際、ACPについても考えさせられる研修でした。引き続き施設でも勉強会を実施し利用者様にも啓発していけたらと思う。また、12月に「町の看護師さんJ」の看取りの研修があり参加。 ＜大田市医療政策課・介護保険課＞ ・わたしの町の看護師さん事業による寸劇「あなたならどうする？もしもの時に向けての啓発を行った。」 ・関係機関の代表者の参画による「地域ケア推進会議」において、ACPの普及・啓発のためのプロセスや効果的な手法を検討。周知の一環として啓発ポスターを作成し、市内医療機関やまちづくりセンターに配布した。 ・令和7年度の予定・方針等：関係機関の意見や先進事例を参考に、効果的な啓発方法について検討を継続する。 ＜川本町＞ ・エンディングノートを作成し、人生会議の普及を医療機関、中間支援組織等と連携している。また、随時、介護保険事業所からエンディングノートを配布し、人生会議に取り組んでもらっている。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>＜大田市立病院＞ ・大田市、美郷町の介護施設を対象に、施設における看取り研修を実施。 ・公立星智病院 ・地域の出前講座として、医師がACPについての講演をした。 ＜加藤病院＞ ・自治会単位など、住まうエリアごとでの人生会議開催支援・入院時退院時施設入所時などにおいてACPをおこない早期から人生の最終段階におけるお気持ちを向うようにしている。 ＜大田市介護サービス事業者協議会＞ ・豊根農主権、大田市共催の「高齢者住まい看取り研修会」、厚労省主催の「本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会」について、全会員事業所に案内した。 ＜大田市地域医療推進課＞ ・わたしの町の看護師さん事業による寸劇「あなたならどうする？もしもの時に向けての医療」の公演を天田市社会福祉協議会と共催し連日の場やサロン等でACPについての啓発を行った。 今後は地域包括支援センターとも共催予定。 ＜大田市介護保険課＞ ・地域包括支援センターが、地域サロンや通いの場等地域の集まりに出向き、基本チェックリストを基に現在の自身の振り返りを提示し、今後に考えるきっかけを与えている。その中で、場合に応じ終活の講話も行っている。 ＜川本町＞ ・エンディングノートを作成し、人生会議の普及を医療機関、中間支援組織等と連携している。また、随時、介護保険事業所からエンディングノートを配布し、人生会議に取り組んでもらっている。</p>
<p>＜美郷町＞ ・町内の居宅事業者職員向けに、医師を講師に迎えてACP研修会を開催した。 ・令和7年度の予定・方針等：町民向けのACP研修会の開催と美郷町版エンディングノートの作成をしたい。 ＜邑南町＞ ・11月16日（57人参加）と24日（74人参加）に町内でACP普及講演会を開催し、普及啓発に努めることができた。 ・令和7年度の予定・方針等：引き続きACP講演会の開催と出前講座で町内でさらに普及したい。 ＜豊中央保健所地域包括ケア推進スタッフ＞ ・啓発グッズの作成（「人生会議」ロゴ入り風船）</p>	<p>＜美郷町＞ ・美郷町版のエンディングノートを作成し、地域のサロンや介護予防教室等の場でACPの啓発、エンディングノートの説明・配布を行った。また広報やホームページに掲載したり、関係機関にもノートを配布し周知をした。今後も引き続き住民や関係機関に向けてACPの啓発を徹底していきたい。「住宅の看取り」に関する研修会を実施。研修会の中でエンディングノートについても周知を行った。 ＜邑南町＞ ・多職種連携会議実務者会議においてACPの普及と邑南町版終活支援ノートの活用について、意見交換し理解を深めた。（R7.12月末：7回 264人参加） ＜豊中央保健所地域包括ケア推進スタッフ＞ ・啓発グッズの作成。（「人生会議」ロゴ入り風船）</p>	

第3節 外来医療に係る医療提供体制の確保 【外来医療計画】 【大田圏域】

(1) 全体の方向性

今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 外来医師偏在指懸で多数区域ではなくなりませんが、新規開業者に対して、初期医療・在宅医療等の現状や課題・今後の方向性について情報提供し、理解を促します。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・日本医師会やその他の団体と今後の医療供給体制について検討して医師の偏在に対する良識ある 出来るだけ早い対応を願っている。医師偏在問題は、フランスをはじめ世界的な問題であり、奨学金支給制度、一定期間の収入や、休暇の確保、代診医派遣制度など複合した対策が必要と思われる。大田市医師会としても、可能な範囲内で行政や各関係機関などとの事について包括的に検討、協力する。</p> <p>＜加藤病院＞ 【外来医療に係る医療提供体制】 ・医療リソースの確保と最適化として、救急救命士へのタスクシフトを推進している。連携とネットワークの構築のため、地域医療連携室が地域の医療機関との情報共有を強化し、患者受け入れや紹介体制の円滑化に努めている。 ・タスクシフトシエラを積極的に推進し、医師の負担軽減に努めている。 ・モバイルヘルスケアを推進（訪問診療・巡回診療・オンライン診療TOP・専用Maas車両によるDtopWITX）し、医師業務のタスクシフトシエラを行っている。</p> <p>＜大田市医療政策課＞ ・新規開業者に対し、大田市医師会と連携し情報提供を行った ・令和6年度 1診療所開業 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ＜邑南町＞ ・令和4年4月に「邑南町民間診療所新規開設及び継続支援事業費補助金制度を創設し、毎年募集して町内での開業や事業承継に対する支援を行っている。(R4年度実績1件、以後0件) ・令和7年度の予定・方針等：引き続き募集する。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞ ・新規開業者に初期救急・在宅医療等の現状や課題・今後の方向性について情報提供し、理解を促した。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【外来医療に係る医療提供体制】 ・医療リソースの確保と最適化として、救急救命士へのタスクシフトを推進している。 ・地域連携とネットワークの構築のため、地域医療連携室が地域の医療機関との情報共有を強化し、患者受け入れや紹介体制の円滑化に努めている。 ・タスクシフトシエラを積極的に推進し、医師の負担軽減に努めている。 ・モバイルヘルスケアを推進（訪問診療・巡回診療・オンライン診療TOP・専用Maas車両によるDtopWITX）し、医師業務のタスクシフトシエラを行っている。</p> <p>＜県央保健所医事・難病支援課＞ ・新規開業者に初期救急・在宅医療等の現状や課題・今後の方向性について情報提供し、理解を促した。 ・島根県薬剤師会大田支部 ・外来中心の対応から、外来と在宅を一体的に支える体制への転換を図るとともに、電子処方箋等のICTを活用した情報共有を推進し、地域全体として切れ目のない医療提供体制の構築おこなった。</p>

(2) 初期救急医療の提供体制

今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 現状の初期救急医療の提供体制を維持するため、診療所医師の確保や病院と診療所の連携強化・役割分担の明確化を図ります。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・オンラインクリニック医の日常診療での努力にかかっているので、研修だけでなく2次病院との連携プレーを大切にしている。 ＜加藤病院＞ ・かかりつけ医機能、在宅療養支援病院、そして地域包括ケア病棟の役割としてサファキエータ機能として休日夜間を含む初期救急医療に対応する。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞(再掲) ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を新たに設置し、限りある医療・介護資源の中で、持続的にサービスを提供できる体制の構築に向けた意見交換を行った(準備会：令和6年8月27日、第1回：令和7年1月24日)</p>	<p>＜加藤病院＞ 【(強化型)在宅療養支援病院】 ・かかりつけ医機能、地域包括ケア病棟の役割としてのサファキエータ機能として休日夜間を含む初期救急医療に対応する。 ＜県央保健所地域包括ケア推進スタッフ＞(再掲) ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を開催し、在宅における看取り、認知症を含む精神医療について、各医療機関の機能を踏まえた医療提供体制のあり方等について意見交換を行った。(第2回：令和7年7月14日、第3回：令和7年12月16日)</p>
<p>② 上手な医療のかかり方等について住民への啓発を推進し、特に夜間・休日における医療機関への患者の集中緩和に取り組みます。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【日常療養支援・急変時対応・看取り】 ・医療とのかかわり方として日頃から人生の最終段階における医療ケアについて啓発と、本人とそのご家族への意向を確認しておく。 ＜大田市医療政策課＞ ・広報おわた1月号に、医療機関の適正受診への協力依頼記事を掲載し、啓発を行った。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞(再掲) ・大田市医療政策課、大田市立病院及び保健所による定例意見交換会において、大田市立病院救急外来への受診状況について実態把握を行った</p>	<p>＜加藤病院＞ 【日常療養支援・急変時対応・看取り】 ・訪問診療や外来、入院時に人生の最終段階における医療介護ケアについて啓発と、本人とそのご家族への意向を確認しておく。 ＜大田市地域医療推進課＞ ・広報おわたに、医療機関の適正受診と冬季の医療ひっ迫時の対応への協力依頼記事を県央保健所と連名で掲載し、啓発を行った。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞(再掲) ・救急医療体制確保への協力について、各市町の広報誌にて啓発した。(大田市：12月18日、川本町：12月20日、美郷町：1月、邑南町：1月、それぞれ全戸配布)</p>

(3) 在宅医療の提供体制

今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 診療所医師の高齢化や後継者不在によって、今後の在宅医療の提供が困難になると予測されることから、病院による診療所医師の後方支援体制の整備など病院と診療所の役割分担について検討します。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・在宅医療のみならず、中山間地域では医療が十分受けられる環境にありません。現在、継続的な質と量の医療の実現に向けて検討中です。 ＜大田市邑智歯科医師会＞ ・大田市立病院への口腔外科設置の働きかけを継続的に行っている。 ・公立邑智病院 ・民間診療所の開所に伴い、令和6年10月から附属市木診療所を開設いたしました。今後も国保診療所等の診療所への職員派遣を行っていきたいと考えています。</p> <p>＜加藤病院＞ 【地域医療を確保する施策の推進】 ・県指定地域医療拠点病院として、以下①～③の主要3事業のうち2事業を行なった。 ※昨年度実績①無医地区及び巡回診療4地区(川本町：宇畑・田窪、大田市：井田・福坂) ②へき地診療所医師派遣(美郷町君台診療所)、③診療所代診医等派遣要請10回 ・また、大田市：志学地区への巡回診療についても実施を予定している。</p> <p>＜大田市医療政策課＞ ・1市2町2病院による広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会を開催し、課題共有や協力連携により取り組みを行った。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞(再掲) ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を新たに設置し、限りある医療・介護資源の中で、持続的にサービスを提供できる体制の構築に向けた意見交換を行った(準備会：令和6年8月27日、第1回：令和7年1月24日)</p>	<p>＜大田市邑智歯科医師会＞ ・歯科医師の高齢化による診療所閉鎖や後継者不在によって、今後の在宅医療の提供が困難になると予測される。病院による診療所医師の後方支援体制の整備は検討課題になると考える。 ＜公立邑智病院＞ ・附属市木診療所、国保日貫診療所に職員派遣を行っている。今後も国保診療所等の診療所への職員派遣を行っていきたいと考えている。 ＜加藤病院＞ 【地域医療拠点病院】 ・県指定地域医療拠点病院として、以下①～③の主要3事業のうち2事業を行なった。 ①無医地区及び巡回診療 →6地区(川本町：宇畑・田窪、大田市：井田・福坂・相式・志学) ②へき地診療所医師派遣 →美郷町君台診療所 →0回 ③診療所代診医等派遣要請 →10回 ＜島根県薬剤師会大田支部＞ ・薬局においても在宅医療の需要は年々高まっており、特に大田市は範囲が広いための人的問題などを考慮しつつ各薬局と連携しながら対応を行っている。 ＜大田市地域医療推進課＞(再掲) ・1市2町2病院による広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会を開催し、課題共有や協力連携により取り組みを行った。 ＜県央保健所地域包括ケア推進スタッフ＞(再掲) ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を開催し、在宅における看取り、認知症を含む精神医療について、各医療機関の機能を踏まえた医療提供体制のあり方等について意見交換を行った。(第2回：令和7年7月14日、第3回：令和7年12月16日)</p>
<p>② まめネット等のICTを活用した効率的な医療提供体制の構築を図ります。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【オンライン診療支援システムの整備提案】 ・経済産業省Maas実証事業やまめネット在宅情報共有サービス運用など、ICTを活用し効率化を進めている。 ＜県央保健所医事・難病支援課＞(再掲) ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を新たに設置し、限りある医療・介護資源の中で、持続的にサービスを提供できる体制の構築に向けた意見交換を行った(準備会：令和6年8月27日、第1回：令和7年1月24日)</p>	<p>＜加藤病院＞ 【オンライン診療支援システムの実施と体制提案】 ・経済産業省Maas実証事業やまめネット在宅情報共有サービス運用など、ICTを活用し効率化を進めている。 ＜大田市地域医療推進課＞ ・令和7年6月より国民健康保険池田診療所の診察日4日の内の1日にオンライン診療を導入した。 ・県央保健所地域包括ケア推進スタッフ＞(再掲) ・大田圏域入退院連携検討委員会」でまめネットの活用について検討。</p>

(4) 産業医、学校医、予防接種等の公衆衛生に係る医療提供体制

今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 【産業医】 現状の体制維持を図った上で、必要に応じて病院医師が補充的な役割を担う等、病院と都市医師会との連携による仕組みづくりを検討します。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; 昨今閉院などで医療従事者の不足が続いています。従来の体制維持の為に、大田市医師会でも対応を模索している。 &lt;加藤病院&gt; 【働き盛りの青壮年の健康づくりの推進】 ・産業保健活動として、園域内行政機関3か所、教育機関3か所、企業3か所、社会福祉法人2か所の計11事業所の労働衛生委員会の労働安全衛生計画推進支援を行った。 &lt;川本町&gt; ・市内の医療機関の協力を得て体制は確保できている。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・各都市医師会と情報共有しつつ、現状の体制維持が困難な場合には必要な取組を検討する。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【働き盛りの青壮年の健康づくりの推進】 ・産業保健活動として、園域内行政機関3か所、教育機関3か所、企業3か所、社会福祉法人2か所の計13事業所の労働衛生委員会の労働安全衛生計画推進支援を行った。 &lt;川本町&gt; ・市内の医療機関の協力を得て体制は確保できている。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・各都市医師会と情報共有しつつ、現状の体制維持が困難な場合には必要な取組を検討する。</p>
<p>② 【学校医】 確保が困難な診療科については、必要に応じて大田園域外の医師にも協力を求めることにより、必要な体制の確保に努めます。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; (再掲) ・大田市園域では、昨今閉院などで医療従事者の不足が続いています。従来の体制維持の為に、大田市医師会でも対応を模索している。 &lt;公立邑智病院&gt; ・学校園科医の活動が継続的に行えるよう、会員がそれぞれ分担して必要な体制の確保に努めている (大田邑智園科医師会) ・今年度も邑南町内の小学校学校医を小児科医師・歯科医師が担当いたしました。 &lt;加藤病院&gt; 【学校保健医として川本町内の保育園、小学校、中学校、県立高校の園児・児童・生徒の健康管理を行った。 &lt;川本町&gt; ・市内の医療機関の協力を得て体制は確保できている。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・各都市医師会と情報共有しつつ、現状の体制維持が困難な場合には必要な取組を検討する。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・学校保健の問題は身体面の視点ではなく、精神面での課題(不登校、いじめ)が大きくなっている。今後、学校と学校医は問題点を出来るだけ共有して、これらの問題点の解決に向けて対応に尽力する計画である。 &lt;大田邑智園科医師会&gt; ・学校園科医の活動が継続的に行えるよう、会員がそれぞれ分担して必要な体制の確保に努めている。 &lt;公立邑智病院&gt; ・今年度も邑南町内の小学校学校医を小児科医師・歯科医師が担当した。 &lt;加藤病院&gt; 【学校保健医として川本町内の保育園、小学校、中学校、県立高校の園児・児童・生徒の健康管理を行った。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・出生届出時に、予防接種の必要性を再認識するきっかけとなり、引き続き接種率は高管理し、予防接種の必要性を再認識するきっかけとなり、引き続き接種率は高い水準を保っている。 &lt;川本町&gt; ・市内の医療機関の協力を得て体制は確保できている。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; (再掲) &lt;各都市医師会と情報共有しつつ、現状の体制維持が困難な場合には必要な取組を検討する。</p>
<p>③ 【予防接種等】 現状の体制維持を図ります。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; (再掲) ・大田市園域では、昨今閉院などで医療従事者の不足が続いています。従来の体制維持の為に、大田市医師会でも対応を模索している。 &lt;公立邑智病院&gt; ・予防接種予約時間を夕方にも開設し、多くの児童も受診しやすいようにしています。また、邑智部内3町の乳幼児健診に「小児科医師が出席しています」 &lt;加藤病院&gt; 【院内外で接種機会の選択肢拡大】 ・院内での接種とあわせ、近隣町の介護施設群のワグチン接種（感染対策指導から検査体制の構築）や、職域接種等地域に出向き行った。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・出生届出時に、予防接種の必要性を再認識するきっかけとなり、引き続き接種率は高管理し、予防接種の必要性を再認識するきっかけとなり、引き続き接種率は高い水準を保っている。 ・風しんに関する追加的対策では、12月に受診勧奨を行ったことにより、検査の必要を認識され、事業最終年でもあることからその後実施者数を増やすことができています。 ・子宮頸がん予防ワクチンは、キヤッチアップ接種対象者のうち未完了者へ予防接種券及びリーフレットを一緒に送付し、接種者が増加している。 ・引き続き接種勧奨及び接種に関する情報提供を実施し、感染症の発生、蔓延予防を図る。 &lt;川本町&gt; ・町内医療機関、近隣の医療機関の協力を得て予防接種体制維持を図っている。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; (再掲) ・各都市医師会と情報共有しつつ、現状の体制維持が困難な場合には必要な取組を検討する。</p>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・予防接種予約時間を夕方にも開設し、多くの児童も受診しやすいようにしている。また、邑智部内3町の乳幼児健診に「小児科医師が出席している」 &lt;加藤病院&gt; 【院内外で接種機会の選択肢拡大】 ・院内での接種とあわせ、近隣町の介護施設群のワグチン接種（感染対策指導から検査体制の構築）や、職域接種等地域に出向き行った。 &lt;川本町&gt; ・町内医療機関、近隣の医療機関の協力を得て予防接種体制維持を図っている。 &lt;美郷町&gt; ・乳児訪問時に1歳までに接種する定期予防接種の予防券を渡している。他はその都度個別通知を行う受診勧奨を行っている。 &lt;邑南町&gt; ・町内近隣の医療機関の協力を得て、予防接種を受けやすい実施体制を維持している。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; (再掲) ・各都市医師会と情報共有しつつ、現状の体制維持が困難な場合には必要な取組を検討する。</p>

## 第4節 その他の医療提供体制の整備充実

### 1. 緩和ケア及び人生の最終段階における医療【全県共通】

#### (1) 緩和ケア

令和6年度の取組・成果

<大田市医師会>  
<終末期ケアの満足度を高める為の活動を医師会としても、引き続き行う。今年度も鳥取県より、徳永進先生を講師に招き、住民医療従事者への啓蒙活動を行い多数の参加者があり緩和ケアにおける理解を深めました。>  
<公立邑智病院>  
<常動麻酔科医を中心としたチーム医療で緩和ケアを推進しています。>  
<加藤病院>  
【人生の最終段階における医療】  
<人生の最終段階における医療提供への意向を確認している。>  
<病院入院時に「人生の最終段階における医療提供への意向を確認している。」「住民・職域への啓蒙活動の推進」>  
<自治会単位など、住まうエリアごとでの人生会議開催支援。>  
<大田市介護サービスマニフェストの策定を機に、住まうエリアごとでの人生会議開催支援。>  
<施設ではACP看取りについてカンファレンスを開催し家族の意向を取り入れながらその人らしい最期が送れるよう支援しています。施設入所の方にACPなどを確認するが、本人の意思などを聞いているご家族はほとんどおられない現状は変わらない。自分の意思決定ができる状態でACPの介入ができるよう引き続き課題として続けていきたい。>  
<大田市介護保険課>  
<関係機関の代表者の参画による「地域ケア推進会議」において、ACPの普及・啓蒙のためのプロセスや効果的な手法を検討。周知の一環として啓蒙ポスターを作成し、市内医療機関やまちづくりセンターに配布した。>  
<令和7年度の予定・方針等：関係機関の意見や先進事例を参考に、効果的な啓蒙方法について検討を継続する。>  
<川本町>  
<エンディングノートを作成し、人生会議の普及を医療機関、中間支援組織等と連携し行っている。また、随時、介護保険事業所からエンディングノートを配布し、人生会議に取り組んでもらっている。>  
<令和7年度の予定・方針等：継続して実施。>  
<県央保健所医事・難病支援課>  
<緩和ケアネットワーク大田主催で緩和ケア研修会を開催し、一般市民に対して緩和ケアについての啓蒙を実施。231人の参加があった。>  
<圏域内のがん情報提供促進病院（3病院）と島根県薬剤師会大田支部を対象に緩和ケアにかかわるヒアリングを実施し、苦痛のスクリーニング、PCAボンプの利用状況等の現状及び課題を把握した。>  
<令和7年度の予定・方針等：課題に対する取り組みを検討する。>

令和7年度の取組・成果

<大田市医師会>（再掲）  
<緩和ケアについては、ACPの考えも大切だが、病名の告知と同時に病気が進行する前に、エンディングシートをしっかりと行い、終末期ケアについて主治医、家族、本人の間で、本人の自己決定権を尊重しながら決めるという作業を大切にする必要がある。>  
<公立邑智病院>  
<常動麻酔科医を中心としたチーム医療で緩和ケアを推進している。緩和ケア委員会を立ち上げ、院内で活動している。>  
<加藤病院>  
【住民・職域への啓蒙活動の推進】  
<診療や実証事業の機会を活用し、住まうエリアごとでの人生会議に関する情報提供をおこなった。>  
<島根県訪問看護ステーション協会大田支部>  
<エンディングノートの説明.ACPについての家族の意向を確認している。>  
<大田市介護サービスマニフェストの策定を機に、住まうエリアごとでの人生会議開催支援。>  
<施設ではACP看取りについてカンファレンスを開催し家族の意向を取り入れながらその人らしい最期が送れるよう支援している。施設入所の方にACPなどを確認するが、本人の意思などを聞いているご家族はほとんどおられない現状は変わらない。自分の意思決定ができる状態でACPの介入ができるよう引き続き課題として続けていきたい。>  
<大田市介護保険課>  
<地域包括支援センターが実施する介護予防教室でACP（終活）の普及・大田市後見支援センターにてあんしんノート（エンディングノート）を作成し、地域住民を対象に、ACPの啓発とノートへの記入についての啓蒙活動を行っている。>  
<邑南町>  
<邑南町版生活支援ノート（あんしんノート）を医療機関等に配架、また出前講座を通じて関係団体、町民に普及。（R7.12月末 411冊配付）>

### 2. 医薬品等の安全確保対策【全県共通】

#### (1) 医薬品の適正使用

#### (2) 医薬品等の安全性の確保

#### (3) 薬物乱用防止

#### (4) 血液事業の推進

令和6年度の取組・成果

<大田市医師会>  
<昨今は大田市立病院の薬剤師を講師に招き、薬の適正使用に関する研修会を医師会主催で開催して、多くの参加があった。薬物乱用については、学校保健の場での啓蒙活動も視野に入れて計画。>  
<公立邑智病院>  
<抗腫瘍薬の適正な使用に向けて、J-SIPHE（感染対策連携共通プラットフォーム）に参加して抗腫瘍薬A/D値/DOT値の標準化に努めています。毒薬の適正な管理状況を検証するため、薬剤師が定期的に設置部署をラウンドしています。>  
<加藤病院>  
【医薬品の適正使用と安全性確保】  
<法令順守している。>  
<医薬品安全管理責任者を設置し、法令順守している。>  
<PMDA（医薬品医療機器総合機構）など第三者機関からの情報を法人内で共有した。>  
<島根県薬剤師会大田支部>  
<タム、セツタイ。普及運動計画に基づく街頭キャンペーンへの参加。薬剤師会大田支部会員、他薬剤師含む参加者名。>  
<大田市健康増進課>  
<薬物乱用防止のため啓蒙実施。>  
<血液事業について、市内で年9回献血実施し、献血活動の周知を行った。>  
<令和7年度の予定・方針等：継続して実施。>  
<県央保健所衛生指導課>  
<（1）（2）医薬品等一斉監視等の監視立入の機会を活用し医薬品の適正使用及び安全性確保に関する普及啓蒙を行った。（薬局14件、医薬品販売業者3件）>  
<（3）6.26ヤング街頭キャンペーンに併せてケーブルテレビや市町の広報媒体を活用し啓蒙。学校からの依頼により薬物乱用防止教室の講師を派遣し啓蒙、薬物乱用防止指導員及び学校薬剤師と合同で若年層への普及啓蒙を行った。（高校1件、小学校6件（実施予定含む。））>  
<（4）島根県献血推進協議会感謝状受賞者への伝達を行った。（1件）>  
<令和7年度の予定・方針等：継続して実施。>

令和7年度の取組・成果

<大田市医師会>  
<薬剤耐性菌の増加対策や高齢者のポリファーマシーが臨床現場では問題となつてきている。引き続き問題意識を持って取り組むよう、研修会や定期的な会議を開催している。>  
<加藤病院>  
<医薬品安全管理責任者を設置し、法令順守している。>  
<PMDA（医薬品医療機器総合機構）など第三者機関からの情報を法人内で共有した。>  
<島根県薬剤師会大田支部>  
<タム、セツタイ。普及運動計画に基づく街頭キャンペーンの継続参加。>  
<昨今の医薬品供給不安定に対して、大田圏域の薬局間で連携しなから対応。>  
<大田市地域医療推進課>  
<血液事業について、市内で年9回献血実施し、献血活動の周知を行った。>  
<令和8年度の予定・方針等：継続して実施。>  
<県央保健所衛生指導課>  
<（1）（2）医薬品等一斉監視等の監視立入の機会を活用し医薬品の適正使用及び安全性確保に関する普及啓蒙を行った。（薬局8件、医薬品販売業者1件※R7.12時点）>  
<（3）6.26ヤング街頭キャンペーンに併せてケーブルテレビや市町の広報媒体を活用し啓蒙。学校からの依頼により薬物乱用防止教室の講師を派遣し啓蒙及び学校薬剤師と合同で若年層への普及啓蒙を行った。（中学校3件、小学校6件（実施予定含む。））>  
<（4）島根県献血推進協議会感謝状受賞者への伝達を行った。（2件）>

### 3. 臓器等移植【全県共通】

令和6年度の取組・成果

<県央保健所医事・難病支援課>  
<普及啓蒙として、大田市、美郷町、邑南町に普及啓蒙グッズ（臓器提供意思表示カード付リーフレットなど）を配布した。>

令和7年度の取組・成果

<県央保健所医事・難病支援課>  
<普及啓蒙として、大田市、美郷町、邑南町に普及啓蒙グッズ（臓器提供意思表示カード付リーフレットなど）を配布した。>  
<移植医療に関する保健所職員との理解を深めることを目的として、しまねまごころバンク 島根県臓器移植コーディネーターを迎え、所内研修会を開催した。（令和7年11月26日）>

#### 4. 難病等保健・医療・福祉対策【全県共通】

- (1) 難病対策の推進
- (2) 原爆被爆者対策
- (3) アレルギー疾患対策

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田市医師会&gt; 疾患の患者増加に伴い、医師会としても研修会をさまざまな形で開催している。</p> <p>&lt;近年アレルギー本部&gt;</p> <p>&lt;大田市消防本部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に関係者から承諾を得た難病患者の情報（病態把握と急変時の対応）を、県央保健所（医事・難病支援課）職員を中心に情報共有を図り、災害時等の対応を図った。事前に難病患者情報を把握していた為、救急要請時に迅速に対応することができた。</li> <li>&lt;県央保健所医事・難病支援課&gt;</li> <li>・難病診療支援者研修会(12/10) 難病対策地域協議会(2/26) 神経難病患者個別支援会議等を開催し、多機関・多職種関係者と顔の見える関係づくりを推進した。特定医療費の更新に合わせ、新規の神経難病患者には担当保健師が面接及び家庭訪問を実施し在宅療養を支援した。特定医療費受給者証の新規申請は56件、更新申請は501件（内11件不承認）、医療費の償還払い43件（令和7年1月末現在）であった。</li> <li>更新申請の出張受付は2カ所で行った（7/5（金） 邑南町健康センター元気館 11名、7/11（木） 矢上公民館 16名）</li> <li>・原爆被爆者対策について、定期健康診断及びがん健診等希望による健康診断を実施した。（前期：25件、後期：11件、がん：2件）</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：難病対策の推進について、令和7年4月1日からの制度改正による主な変更点としては、特定疾病について7疾病追加（341→348）、また、2疾病名称変更予定。引き続き、適切に特定医療費が受給されるよう、人員体制を確保して精度の高い事務処理を行う。加えて、必要時、保健師による在宅療養支援体制の構築を行う。</li> <li>・原爆被爆者対策については、継続して、後期定期健康診断、がん健診希望による健康診断、被爆者各種手当等の手続き、被爆者二世健康診断を実施する。</li> </ul>	<p>&lt;大田市消防本部&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に関係者から承諾を得た難病患者の情報（病態把握と急変時の対応）を、県央保健所（医事・難病支援課）職員を中心に情報共有を図る体制としていくことで、災害時等への対応の円滑化が図られていると考える。今後も事前に難病患者情報を消防本部にて把握しておくことで救急要請時の迅速な対応に繋ぎたい。</li> <li>&lt;県央保健所医事・難病支援課&gt;</li> <li>・特定医療費受給者証の新規申請は52件、更新申請は482件（内9件不承認）、医療費の償還払いは42件（令和7年12月2日現在）であった。更新申請の出張受付は2カ所で行った。（7/1（火） 邑南町健康センター元気館 11名、7/8（火） 矢上公民館 15名）</li> <li>・<b>難病診療支援者研修会(10/23)</b> 難病対策地域協議会(2/6予定) 神経難病患者個別支援会議等を開催し、<b>多機関・多職種関係者と顔の見える関係づくりを推進。新規の神経難病患者には担当保健師が面接及び家庭訪問を実施した。</b></li> <li>・人工呼吸器装着の在宅重症難病患者に災害時難病患者個別支援計画を作成、特定医療費支給認定申請書、災害時支援対策に向けたアンケートをもとに保健所で保管している要保護者台帳を更新し、市町との共有の場を設置。</li> </ul>

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田市医師会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度も医師会主催の定期的な医療安全啓蒙の為の研修会が企画されており医師会員や看護師は積極的に参加し、入院、外来での必要な対応について新しい知識の吸収と患者対応をしている。</li> <li>&lt;大田邑智眼科医師会&gt;</li> <li>・各所で継続的に研修を行い、医療安全の推進に努めた。</li> <li>&lt;公立邑智病院&gt;</li> <li>・医療安全は島根大学医学部の教授と連携して質の向上に努めています。また、定期的に研修会を邑智郡地域連携推進協議会の参加施設へ案内し、ライブ配信も行っています。</li> <li>&lt;加藤病院&gt;</li> <li>【医療機関における安全対策の強化】</li> <li>・法人基幹研修やメデイカルスタッフセンターによる研修（医療安全系シミュレーション）を行った。</li> <li>・全職員に貸与している携帯情報端末内やメデイカルTeacherBizを使って学習支援を行った。</li> <li>・専従ではなく、専任または人員不足により配置に苦慮する場合もある。そこで、安全管理業務をタスクシフトし、医療安全管理責任者の育成に努めている。</li> <li>&lt;県央保健所医事・難病支援課&gt;</li> <li>・<b>医療法に基づき、医療機関に対する立入検査等を実施し、安全管理体制を確認、必要時指導した。</b>（立入検査：4病院、9診療所）</li> <li>・医療法に基づき、医療安全支援センターを保健所に設置しており、患者等からの医療に関する相談や苦情などの医療安全相談に対応した。（相談件数：8件 ※1月末現在）</li> </ul>	<p>&lt;大田市医師会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回医療安全をテーマに大田市医師会館で研修会を開催し、医師のみならず従業員（看護師、事務員）もできるかぎり参加して医療事故が起これることがないよう日々対応している。各職場場では細かなミスもその都度チャリハット報告書を出してもらい、定期的な問題の共有化と改善策の検討を行なっている。</li> <li>&lt;大田邑智眼科医師会&gt;</li> <li>・個々で継続的に研修を行い、医療安全の推進に努めた。</li> <li>&lt;公立邑智病院&gt;</li> <li>・医療安全は島根大学医学部の教授と連携して質の向上に努めている。</li> <li>&lt;加藤病院&gt;</li> <li>【医療機関における安全対策の強化】</li> <li>・法人基幹研修やメデイカルスタッフセンターによる研修（医療安全系シミュレーション）を行った。</li> <li>・全職員に貸与しているiPhoneに「メデイカルTeacherBiz」により「いつでもどこでも、だれでも」マニュアルを閲覧できる体制を整えている。</li> <li>&lt;島根県薬剤師会大田支部&gt;</li> <li>・各薬局で医療安全の研修を行うようにしている。</li> <li>&lt;県央保健所医事・難病支援課&gt;</li> <li>・医療法に基づき、医療機関に対する立入検査等を実施し、安全管理体制を確認、必要時指導した。（立入検査：4病院、11診療所）</li> <li>・医療法に基づき、医療安全支援センターを保健所に設置しており、患者等からの医療に関する相談や苦情などの医療安全相談に対応した。（相談件数：5件 ※1月末現在）</li> </ul>

#### 第5節 医療安全の推進【全県共通】

第6章 健康なまちづくりの推進

第1節 健康長寿しまねの推進 【健康長寿しまね推進計画】 【大田圏域】

(推進の柱1) 住民主体の地区ごとの健康づくり活動促進

今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 「大田圏域健康長寿しまね推進会議」において、関係機関・団体や市町の連携をさらに強化し、主体的な健康づくり活動を推進します。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・今年度も大田市で健康なまちづくり協議会があり、医師会の代表はこれに議長として参加し、以下の事項に1)～4)について適切に意見を述べ、高齢者の健康づくりについて適切なアドバイスをした。健康づくりは個人の健康維持の基の連携づけが最も大切であることも話し、日常診療の場でも時間をかけてこの事の理解を深めている。1) 地域住民主体の健康づくり 2) 生涯を通じてた健康づくり 3) 疾病の早期発見、合併症重症化予防 4) 効果的な運動の促進と仲間づくり ＜公立邑智病院＞ ・邑南町出前講座に参画し地域住民へ医療の講話を行っています。 ＜大田商工会議所＞ ・大田商工会議所の会員に対し、毎月発行する会報に年6回程度健康づくりに関する記事を掲載するとともに、議員総会等の際に関連するチラシを配布し情報提供を行っている また、所内の階段利用を促し、運動不足解消による健康づくりを推進している。 ＜大田市まちづくりセンター長幹事会＞ ・大田市の2,2地区まちづくりセンターを拠点にした高齢者の「通いの場」を地域の運営協議体が週1度実施し、約30名が利用しフレイル予防に成果をあげている。 ＜大田市健康増進課＞ ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」にて関係機関と連携し、啓発活動を行った。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>＜大田市医師会＞ ・年1回生涯現役、いぶし銀の会が開催され、毎回座長として出席している。参加者の皆様は、各自各々の持ち場で頑張っておられるが、残念ながら県央地区は高齢化率が高いので、高齢者が高齢者を支える構図となっている。 ＜公立邑智病院＞ ・邑南町出前講座に参画し地域住民へ医療の講話を行っている。 ・大田商工会議所 ・大田商工会議所の会員に対し、毎月発行する会報に年6回程度健康づくりに関する記事を掲載するとともに、議員総会等の際に関連するチラシを配布し情報提供を行っている また、所内の階段利用を促し、運動不足解消による健康づくりを推進している。 ・大田市まちづくりセンターを拠点にした高齢者の「通いの場」を地域の運営協議体が週1度実施し、フレイル予防に成果を上げている。 ＜大田市健康増進課＞ ・「大田圏域健康長寿しまね推進会議」にて関係機関と連携し、啓発活動を行った。 ＜川本町＞ ・関係機関と連携を図り、町内5カ所で住民主体の介護予防、健康づくりのサロンが取り組まれている。 ＜美郷町＞ ・住民主体のサロンが町内に16カ所あり、地域の集会所等を活用して、体操や健康教室、趣味活動、茶話会、交流等を行っている。R7年度は新規で2カ所サロンが立ち上がった。今後も引き続きサロンの継続や立ち上げの支援を行っているといく。</p>
<p>② 健康づくり活動や介護予防に貢献しているグループの表彰事業を通して、より幅広く好事例の発掘と情報発信を行い、地域における生涯を通じた健康づくり活動を推進します。</p>	<p>＜大田市健康増進課＞ ・健康づくり活動表彰事業の情報発信を実施。 ・令和7年度の予定・方針等：健康づくりや介護予防の活動を行う団体の支援を継続する。 ＜川本町＞ ・健康づくり活動や介護予防に貢献しているグループの表彰事業を通して、より幅広く好事例の発掘と情報発信を行い、地域における生涯を通じた健康づくり活動を推進している。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ＜県央保健所健康増進課＞ ・県表彰2団体の活動見学に併せ、フレイル予防と栄養、運動などに関する講座を実施（参加者数210名） ・「働く人の健康づくり講座」において、受賞団体の事例発表を実施（令和6年11月28日） ・活動の様子やエッセンスを情報誌やホームページにて情報発信。</p>	<p>＜大田市健康増進課＞ ・健康づくり活動表彰事業の情報発信を実施した。 ＜川本町＞ ・健康づくり活動や介護予防に貢献しているグループの表彰事業を通して、より幅広く好事例の発掘と情報発信を行い、地域における生涯を通じた健康づくり活動を推進している。 ＜県央保健所健康増進課＞ ・県表彰14団体が受賞。 ・自主グループの活動見学に併せ、フレイル予防等の啓発を実施（参加者数230名） ・「働く人の健康づくり講座」において、受賞団体の事例発表を実施。（令和7年11月13日） ・活動の様子やホームページにて情報発信。また、情報誌による情報発信を予定（3月発行予定）。</p>
<p>③ まちづくりをはじめ、地域のさまざまな取組と健康づくり活動の連携を図り、高齢化の中でも「人や地域とのつながり」を広げるため、働き盛りをはじめとした幅広い住民の参加を促す「ゆるく楽しい」取組を推進します。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【まちづくりへの参加】 ・川本町…移転前、築蓮教室、健康教室（町内放送含む）、自治会連合会、教育委員会、高校などと連携し、まちづくりへの提案を行っている。 ・邑智郡…各行政が主催する企画に、医療介護関連専門職の派遣を行っている。 ・大田市…通いの場、通いの場で関係性をもった地域の住民団体と連携し、まちづくりの提案を行っている。 ＜大田市健康増進課＞ ・大田市の全27のまちづくりセンターがその地域に合った健康づくり事業を年間を通し開催しフレイル予防の成果をあげている。 （大田市まちづくりセンター長幹事会） ・しまね健康寿命延伸プロジェクトにて、対象地区に介入し、健康づくりについて啓発、事業を展開した。 ・令和7年度の予定・方針等：しまね健康寿命プロジェクトで青年期を対象とし、大田市青年協議会と連携を図り、健康づくりの取り組みを実施する。 ＜県央保健所健康増進課＞ ・しまね健康寿命延伸プロジェクトの重点取組の一つである野菜摂取や減塩、運動をテーマにした「+1」活動を各種イベントに合わせて啓発。 ・小学校や地域の地区の子供向けイベントなどで食に関するクイズを交えたミニ講座を実施。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【まちづくりへの参加】 ・川本町…経済産業省実証事業2事業、移転前、築蓮教室、健康教室（町内放送含む）、自治会連合会、教育委員会、高校などと連携し、まちづくりへの提案を行っている。 ・邑智郡…各行政が主催する企画に、医療介護関連専門職の派遣を行っている。 ・大田市…通いの場、通いの場で関係性をもった地域の住民団体と連携し、まちづくりの提案を行っている。 ＜大田市まちづくりセンター長幹事会＞ ・大田市内の各まちづくりセンターがその地域に合った健康づくり事業を年間を通して開催している。 ＜大田市健康増進課＞ ・県央保健所と連携し、大田市青年協議会に介入し、健康づくりの取り組みを実施した。 ＜邑南町＞ ・地域づくり・福祉・保健担当課や関係団体と連携し、地域色編に併せて保健福祉の視点を踏まえた地域づくりを推進するための政策会議を毎月開催。主要地区を選定し、課題の整理やチラシなどを実施している。 ＜県央保健所健康増進課＞ ・しまね健康寿命延伸プロジェクトの重点取組の一つである野菜摂取や減塩、運動をテーマにした「+1」活動を各種イベントに合わせて啓発。 ・大田市青年協議会や大田市と連携し、おたたこともまち等地域のイベントにおいてベジチップを用いた野菜摂取の体験型啓発を実施。</p>

<p>④ さまざまな団体の活動に健康づくりをプラスする「+1（プラスワン）活動」を推進します。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【健康づくりの場で医療介護の専門的な情報提供】 ・川本町…乗運教室、健康教室（町内放送含む）、自治会、教育委員会、高校などと連携し、医療や介護についての情報提供を行っている。 ・邑智郡…各行政が主催する企画に、医療介護関連専門職の派遣を行っている。 ・大田市…通いの場、通いの場で関係性をもった地域の住民団体と連携し、医療や介護についての情報提供を行っている。 &lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・会員に向けて大田圏域＜人の情報局からの情報を周知した。&gt; &lt;大田市まちづくりセンター長幹事会&gt; ・「まちづくりセンター」や「町文化祭」「イベント事業」等に健康測定等のブースを設けたり、食品内糖分量の展示・チラシ配布など地域住民に健康予防の啓発に努めている。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・広報等において、プラスワン活動の周知啓発を行った。 &lt;川本町&gt; ・1日の身体活動量が今より10分増やすことを心がけて生活していたために、町内の各種運動教室等を掲載したリーフレットを全戸配布し、啓発している。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議にて各団体、関係機関と連携し、野菜摂取・減塩、運動、トイレ予防等の啓発に取り組んだ。 &lt;泉央保健所健康増進課&gt; ・各啓発週間に合わせ、チラシやグッズの配布、啓発依頼を実施。 ・会議の構成団体での活動に取り入れてもらえるよう、会議にて「+1」活動を体験。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; ・乗運教室、健康教室（町内放送含む）の開催。 &lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・会員に向けて大田圏域＜人の情報局からの情報を周知した。&gt; &lt;大田市まちづくりセンター長幹事会&gt; ・「まちづくりセンター」では町内の文化祭やイベント事業等に健康測定等のブースを設けたり、食品内糖分量の展示・チラシ配布など地域住民に健康予防の啓発に努めている。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・広報等において、プラスワン活動の周知啓発を行った。 &lt;川本町&gt; ・1日の身体活動量が今より10分増やすことを心がけて生活していたために、町内の各種運動教室等を掲載したリーフレットを全戸配布し、啓発している。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議にて各団体、関係機関と連携し、野菜摂取・減塩、運動、トイレ予防等の啓発に取り組んだ。 &lt;泉央保健所健康増進課&gt; ・各啓発週間に合わせ、チラシやグッズの配布、啓発依頼を実施。 ・会議の構成団体での活動に取り入れてもらえるよう、会議にて「+1」活動を体験。</p>
<p>⑤ モデル地区における取組を、他地区、他市町、新たな関係機関・団体等へと広げ、大田圏域全体での住民主体の健康づくり活動を推進していきます。</p>	<p>&lt;大田市健康増進課&gt;（再掲） ・しまね健康寿命延伸プロジェクトで青壮年期を対象とし、大田市青年協議会と連携を図り、健康づくりの取り組みに向けての準備を実施した。令和7年度の予定・方針等；しまね健康長寿プロジェクトで青壮年期を対象とし、大田市青年協議会と連携を図り、健康づくりの取り組みを実施する。 &lt;泉央保健所健康増進課&gt; ・情報誌や大田圏域健康長寿しまね推進会議にてモデル地区の活動報告を実施。</p>	<p>&lt;大田市健康増進課&gt; ・大田市青年協議会に介入し、健康づくりの取り組みを実施した。 &lt;泉央保健所健康増進課&gt; ・情報誌や大田圏域健康長寿しまね推進会議にてモデル地区の活動報告を実施。</p>

【推進の柱2】生涯を通じた健康づくりの推進	今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 「大田圏域健康長寿しまね推進会議」の各関係機関を中心に、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた健康づくりの取組や健康づくりにつながる環境整備を推進していきます。</p>	<p>&lt;大田邑智歯科医師会&gt; &lt;子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりとして、歯科医療を通じて全世代において継続的に関われるよう取り組んでいく。&gt; &lt;加藤病院&gt; 【高齢者の疾病予防・介護予防対策】 在宅療養支援病院として、健康診断と早期発見、生活習慣病予防・介護予防プログラム（スモールプログラム）推進や運動教室の開催）を提供している。 &lt;川本町食生活改善推進協議会&gt; ・会員及び地域住民の健康継続教室への参加・協力。 ・小中学校食育教室への参加・協力。 ・高校卒業生に自立支援の「二人暮らしの食生活ガイド」贈呈。 ・「一人でもできるもん！子ども体操」 ・「働き世代！「シニアカフェ」のキヌストにより講演啓発」 &lt;大田市健康増進課&gt; &lt;生涯を通じた健康づくりの推進のため、第2期おおた健やかプログラムの周知、推進を行う。&gt; &lt;大田邑智歯科医師会&gt; &lt;子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりにつながる環境整備について、協議・検討を行った。&gt; &lt;令和7年度の予定・方針等：第2期おおた健やかプログラムの周知、推進を行う。&gt; &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議の3つの部会（子ども部会、働き盛り部会、高齢者部会）を中心に、7つの柱でライフステージに応じた取り組みを実施した。 ・令和7年度の予定・方針等：引き続き、各所属での主体的な取組みとなるよう連携を図る。 &lt;県央保健所健康増進課&gt; ・各啓発週間に合わせ、チラシやグッズの配布、啓発依頼を実施 ・健康づくり機器の貸出媒体や啓発媒体（チラシ、階段を利用した運動啓発）をホームページから活用できるよう整理した。</p>	<p>&lt;大田邑智歯科医師会&gt; &lt;子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを、全世代において歯科医療を通じて継続的に関われるよう取り組んでいく。&gt; &lt;加藤病院&gt; 【高齢者の疾病予防・介護予防対策】 在宅療養支援病院として、健康診断と早期発見、生活習慣病予防・介護予防プログラム（スモールプログラム）推進や運動教室の開催）を提供している。 ・大田邑智歯科医師会さまはじめ圏域事業所さまと連携した「邑智員口腔ケアサポート一研修」を開催した。 &lt;川本町食生活改善推進協議会&gt; ・会員及び地域住民の健康継続教室への参加・協力。 ・保育所・中学校・高校の食育教室への参加・協力。 ・高校の卒業生に冊子と歯みがきセット等贈呈。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・生涯を通じた健康づくりの推進のため、健康増進・食育推進専門部会を開催し、関係機関との連携を深めることができた。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議の3つの部会（子ども部会、働き盛り部会、高齢者部会）を中心にライフステージに応じた取り組みを実施した。 ・県央保健所健康増進課 ・各啓発週間に合わせ、チラシやグッズの配布、啓発依頼を実施。 ・健康づくり機器の貸出媒体や啓発媒体（チラシ、階段を利用した運動啓発）の活用促進のための環境整備（ホームページへの掲載等）。</p>	
<p>② 生活習慣病の発症予防・重症化予防に向けて、特に働き盛り世代に対する取組を「大田圏域地域圏域連携推進協議会」と連携して推進します。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【住民への健康講座】 ・川本町での住民向け講演会で、医師・薬剤師等を派遣し、発症・重症化予防の啓発を行っている。 &lt;大田地区歯科衛生士会&gt;（再掲） ・会員に向けて大田圏域圏&lt;人の情報局からの情報を周知した。&gt; &lt;大田市健康増進課&gt; ・「大田圏域糖尿病対策検討会」において、圏域における糖尿病に関する課題等について共有することができた。また、保健所と連携し、市内事業所における壮年期の健康課題に関する情報収集と情報共有を行った。 &lt;邑南町&gt; ・運動実践を目的に、働き盛り部会と協力して町内の事業所職員を対象とした運動講座を開催した。Webでも参加できるようにしたが、参加者は少なかった。 ・令和7年度の予定・方針等：実施方法の見直しをする。 ・県央保健所健康増進課 ・月1回スモールプログラム「働く人の情報局」にて、各啓発週間に合わせた健康づくり情報発信 ・しまね☆健康づくりチャレンジ月間による取組促進（令和6年9月）</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【住民への健康講座】 ・川本町まけなつなど、住民向け健康番組に、医師・薬剤師等が出演し、発症/重症化予防の啓発を行っている。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・「大田圏域糖尿病対策検討会」において、圏域における糖尿病に関する課題等について共有することができた。また、市内事業所と連携して、体組成測定や健康相談を実施し、健康づくりの意識啓発を行った。 ・美郷町の町内事業所に対し、出前講座や健康に関する貸出グッズ等の紹介をしている。事業所にある自販機の飲み物に含まれる砂糖の量を表示したものを事業所内に展示してもらった。 &lt;邑南町&gt; ・健康長寿おおなん推進会議働き盛り部会と連携し、所属事業所で出前講座を活用した運動の啓発やハジエツクによる啓発プログラム1の推進を行った。 ・事業所健診で適正体重・血圧測定の普及啓発を行った。 ・県央保健所健康増進課 ・月1回スモールプログラム「働く人の情報局」にて、各啓発週間に合わせた健康づくり情報発信。 ・しまね☆健康づくりチャレンジ月間による取組促進。（令和7年9月）</p>	
<p>③ 事業所に対して「しまね☆まめなカンパニー」への登録を促進し、圏域での健診（検診）受診や保健指導の取組、栄養対策、運動や減塩の取組など好事例の収集や健康づくり活動の支援を行います。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【しまね☆まめなカンパニー登録】 ・登録している。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・事業所健診での健康づくりの情報提供等、働き盛り世代への啓発を行った。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;川本町&gt; ・島根県健康長寿しまね推進会議会長賞を受賞した事業所があり、取り組み内容を広報で周知した。 ・令和7年度の予定・方針等：町内事業所の好事例の取り組みを他の事業所にも普及していきけるよう取り組みをすすめていく。 ・県央保健所健康増進課 ・事業所にてたばこの害についての出前講座の実施 ・健康づくりり活動表彰事業を通じて、好事例の収集や継続的な受賞への支援を実施 ・事業所訪問を通じて、しまね☆まめなカンパニーへの登録支援や健康づくりに関する情報提供を実施 ・事業所での運動促進のため出前講座の「オアシスでエクスサイズ」を実施</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【しまね☆まめなカンパニー登録】 ・登録している。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・島根県健康長寿しまね推進会議健康づくり事業所表彰を受けた市内事業所の取り組み内容を、広報やホームページで周知した。また、市の健康教育等を実施している事業所へまめなカンパニーへの登録を促した。 &lt;川本町&gt; ・島根県健康長寿しまね推進会議会長賞を受賞した事業所に、商工会女性部の研修会で講演会を実施。 &lt;美郷町&gt; ・事業所訪問をし、負担感を軽減し「しまね☆まめなカンパニー」や「ヘルスコンシステム」認定事業所を増やしていくために支援している。 ・県央保健所健康増進課 ・事業所にてたばこの害についての出前講座の実施 ・健康づくりり活動表彰事業を通じて、好事例の収集や継続的な受賞への支援を実施 ・事業所訪問を通じて、しまね☆まめなカンパニーへの登録支援や健康づくりに関する情報提供を実施</p>	
<p>④ 歯周病は、歯の喪失の主要な原因であり、全身疾患との関連性が指摘されているため、その予防のための歯科検診受診や歯の健康を保つ取組を推進します。</p>	<p>&lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・対象者への歯周疾患検診の実施をとおして、現在歯の本数の維持に努める。あらゆる機会をとらえて、定期的な歯科受診で歯と口の健康維持に努めるよう啓発する。 &lt;加藤病院&gt; 【邑智郡総合事務組合との連携】 ・大田邑智歯科医師会と連携し、邑智郡口腔ケアサポーター養成研修の運営支援を行っている。 【お介介護保険事業計画と運動した、口腔ケアに関する企画を保険者である邑智郡総務課と連携して行う。】 &lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt; ・地域包括口腔ケア会議に協議会として参加させていただき、地域の現状の把握をすることができた。日頃介護サービスを利用しておられる方々に歯科受診の必要性をもっと積極的に啓発していきたい。 &lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・令和6年度大田圏域「働く人の健康づくり講座」や「家の光大会」において口腔の健康についての講話をし、壮年期へ口腔と全身の健康の関係を知ってもらう歯科定期受診を促した。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・歯周疾患検診の実施、検診対象者への受診勧奨実施。 ・令和7年度の予定・方針等：むし歯や歯周疾患、オーラルケア予防のため取り組んでいく。 &lt;川本町&gt; ・<b>歯周疾患検診の対象を20～70歳までの5歳刻みに対象を拡大し実施している。</b> ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【邑智郡総合事務組合との連携】 ・お介介護保険事業計画と運動した、保険者である邑智郡総合事務組合主催の「口腔ケアに関する介護入門研修」に歯科医師派遣した。 &lt;大田邑智歯科医師会社邑智郡食生活支援協議会、加藤病院&gt; &lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt; ・大田邑智歯科医師会の開かれた地域包括口腔ケア会議にて、要介護者の歯科受診率の低下について伺い、令和8年度に周知活動が実施できるよう予算提案準備中。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・<b>令和7年度より歯周疾患検診の対象者に20歳、30歳を追加し、実施、20歳にについては検診期間を拡大し実施。</b> &lt;川本町&gt; ・歯周疾患検診を20～70歳までの5歳刻みで実施。 &lt;美郷町&gt; ・事業所健診では希望者に歯科衛生士による「お口の健康チェック」を実施し、チラシやポスター指導や必要時に「歯科受診おすめカード」を渡して受診勧奨している。（美郷町） ・R1年度から20～70歳の10歳刻み年齢に対し、歯周疾患検診の無料クーポンを配布したが、受診率は低い状況である。 &lt;邑南町&gt; ・特定健診に合わせた唾液潜血反応検査や咀嚼機能検査を実施し、歯周病予防の啓発を行った。</p>	

	<p>&lt;美郷町&gt;  ・令和7年度、歯の喪失予防、生活習慣病予防、認知症・要介護予防の一助のため、歯周疾患検診の無料クーポン配布を新設  &lt;邑南町&gt;  ・特定健診に合わせて唾液潜血反応検査や咀嚼機能検査を実施し、歯周病予防の啓発を行った。近年は検査を希望しない方が増えてきている。  ・令和7年度の予定・方針等：歯周病が全身疾患に及ぼす影響について広く啓発を行う。  &lt;県央保健所健康増進課&gt;  ・歯と口腔ケアに関する出前講座「お口の健康！歯ッッピー講座」の周知。  ・「働く人の健康づくり講座」において、口腔ケアをテーマに研修を実施（令和6年11月28日）</p>	<p>&lt;県央保健所健康増進課&gt;  ・歯と口腔ケアに関する出前講座「お口の健康！歯ッッピー講座」の周知。</p>
--	--	---

（推進の柱3）疾病の早期発見、合併症予防・重症化予防

今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 「大田圏域健康長寿しまね推進会議」や「大田圏域地域・職域連携推進協議会」の構成団体と連携し、健診（検診）受診率や保健指導の実施率向上に向けて取組の推進や、適切な受診や治療中断の防止に向けた啓発の強化など、特に働き盛り世代に対し、関係機関の連携による効果的な取組の推進を図ります。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【働き盛りの青壮年の健康づくりの推進】 ・産業保健活動として、圏域内行政機関3か所、教育機関3か所、企業3か所、社会福祉法人2か所の計11事業所の労働衛生委員会の労働安全衛生計画推進支援を行った。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・特定健診受診率向上に向けての取組や、健診事後指導訪問や糖尿病性腎症重症化予防事業等を通じて、早期発見、合併症予防・重症化予防に取り組んだ。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 <b>&lt;美郷町&gt;</b> ・集落保健衛生委員会を実施し、特定健診の申込書の配布と身近な立場からの受診勧奨の依頼を行うことで、受診率向上を図った。 <b>令和7年度、子宮頸がん検診の県外医療機関においての受診を補助対象とする制度拡充を予定。また、すい臓がん早期発見・糖尿病重症化予防のために集団検診メニューに腹部エコー検査を新たに追加。</b> &lt;邑南町&gt;（再掲） ・県央保健所健康増進課 ・医療機関訪問時に医師による受診勧奨の依頼を行い、受診への意識づけの強化を図った。 ・健康（検診）受診や保健指導実施率の高い事業所の事例を情報誌やホームページ、研修などで情報発信 ・大田圏域地域・職域連携推進協議会を開催し、働き盛り世代の健康課題解決に向けて検討（令和7年2月25日）</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・働き盛りの方が、まだまだ、かんで命を落とされるのを目のあたりする機会があること、若い方の生活全般に亘る環境整備(住みやすい環境、働きやすい環境、子育て環境、精神的ゆとりなど)が必要かと感じる。 &lt;加藤病院&gt; 【働き盛りの青壮年の健康づくりの推進】 ・産業保健活動として、圏域内行政機関3か所、教育機関3か所、企業3か所、社会福祉法人2か所の計13事業所の労働衛生委員会の労働安全衛生計画推進支援を行った。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・R3年度より胃内視鏡検診を実施し、壮年期の受診者数が増加し、がんの早期発見に効果があった。 ・電子申請を活用することで、休日や夜間の予約も可能になったため、壮年期の受診率向上につながっている。 <b>&lt;大田市地域医療推進課&gt;</b> ・特定健診受診率向上に向けての取組や、健診事後指導訪問や糖尿病性腎症重症化予防事業等を通じて、<b>早期発見、合併症予防・重症化予防に取り組んだ。</b> <b>令和8年度の予定・方針等：継続して実施。</b> <b>&lt;美郷町&gt;</b> ・働き盛り世代が自分の健康に関心をもち、魅力ある健診にしていくために町内医療機関と連携したインセンティブ事業について検討した。 &lt;邑南町&gt; ・医療機関訪問時に医師による受診勧奨の依頼を行い、受診への意識づけの強化を図った。 ・県央保健所健康増進課 ・健康（検診）受診や保健指導実施率の高い事業所の事例をホームページ、研修などで情報発信。情報誌での情報発信も予定。（令和8年3月） ・大田圏域地域・職域連携推進協議会を開催し、働き盛り世代の健康課題解決に向けて検討予定。（令和8年1月下旬又は2月に予定）</p>
<p>② 脳血管疾患、虚血性心疾患などの重症化を防ぐため、より早い段階で適切な治療につなげるため、初期症状の周知など早期発見、治療のための啓発を行います。</p>	<p>&lt;大田邑智圏域医師会&gt; ・歯周疾患と全身疾患との関連において、（全身疾患の）重症化を防ぐため、初期症状の周知など歯周病の早期治療のための啓発を行う。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・地区健康教室にて脳血管疾患、虚血性心疾患について初期症状や対応について情報発信。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;邑南町&gt; ・第2節 2・3と同様。 ・県央保健所健康増進課 ・大田市中央図書館での啓発展示を実施し、基礎疾患の予防や正しい知識を発信（令和6年5～6月、9月、令和7年2月）</p>	<p>&lt;大田邑智圏域医師会&gt; ・歯周疾患と全身疾患との関連において、（全身疾患の）重症化を防ぐため、歯周病の早期治療を行う。 <b>&lt;大田市健康増進課&gt;</b> <b>・事業所健康教室や文化祭で脳血管疾患予防の啓発パネルの展示、早期に適切な治療につなげるための周知チラシの配布を行った。</b> ・県央保健所健康増進課 ・大田市中央図書館やかわも図書館での啓発展示を実施し、基礎疾患の予防や正しい知識を発信。（令和7年5～6月、8～9月、10月）</p>
<p>③ 糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病に対する適切な医療の継続や保健指導の実施を図るため、市町による病診連携や医科、歯科、薬科、眼科等の連携による取組を推進します。</p>	<p>&lt;大田邑智圏域医師会&gt; ・糖尿病手帳など利用した医科歯科連携に継続的に取り組んでいる。 &lt;加藤病院&gt; 【住民への健康講座】 ・川本市町の住民向け講演会で、医師・薬剤師等を派遣し、発症/重症化予防の啓発を行った。 ・大田市介護サニーピス事業者協議会 ・地域包括口腔ケア会議に協議会として参加させていただき、地域の現状の把握をすることができた。日頃介護サニーピスを利用しておられる方々に歯科受診の必要性をもっと積極的に啓発していきたい。 &lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・令和6年度大田圏域「働く人の健康づくり講座」やIA「家の光大会」において口腔の健康について講話をし、壮年期人口腔と全身の健康の関係を知らせてもらい歯科定期受診を促した。 &lt;大田市健康増進課&gt; ・特定健診事後指導訪問や 糖尿病性腎症重症化予防事業において、必要に応じて医科、眼科、歯科への受診勧奨を行った。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;川本市町&gt; ・保健医療連携会議等を通じて医科、歯科等の連携による取組を推進している。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; ・糖尿病教室などで疾患の早期発見、重症化予防、日常生活の注意点など啓発を行った。日々の外来診療の中で生活習慣病について啓発を続けている。 &lt;大田市介護サニーピス事業者協議会&gt;（再掲） ・大田地区歯科医師会の開かれた地域包括口腔ケア会議にて、要介護者の歯科受診率の低さについて伺い、令和8年度に周知活動が実施できるよう予算提案準備中。 ・大田地区歯科衛生士会 ・「大田圏域健康長寿しまね」の「お口の健口！歯ッピエ講座」において、歯周病と糖尿病等全身疾患の関連を踏まえ、歯科の定期受診を含めた予防啓発を実施した。 &lt;川本市町&gt; ・保健医療連携会議等を通じて医科、歯科等の連携による取組を推進している。 &lt;邑南町&gt; ・糖尿病の重症化予防のため、邑南町版糖尿病連携手帳を活用してかかりつけ医から歯科・眼科への受診勧奨を依頼した。調剤薬局を含め啓発ポスター掲示を依頼した。 ・医療機関訪問を実施し、保健事業への協力依頼を行った。年度末に生活習慣病対策検討会を開催し、町の現状・取り組み、次年度の方向性について報告し意見をいただいた&lt;予定。&gt;</p> <p>&lt;県央保健所健康増進課&gt;（再掲） ・大田市中央図書館やかわも図書館での啓発展示を実施し、基礎疾患の予防や正しい知識を発信。（令和7年5～6月、8～9月、10月）</p>

(推進の柱4) 多様な実施主体による連携の取れた効果的な運動の促進

今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① すべての世代が生涯を通じて健康な生活を送ることを目指し、幅広い関係団体と情報共有を行い、連携したイベントの開催やマスコミ等との協働など効果的で効率的な啓発活動を検討します。</p> <p>② 「大田圏域健康長寿しまね推進会議」の3つの部会を中心に、それぞれの構成団体の強みを生かし、子どもから高齢者までライフステージに応じた取組を推進します。</p>	<p>＜加藤病院＞ ・楽進教室、健康教室を開催した。</p> <p>＜大田市健康増進課＞ ・保健所と連携して、青壮年期を対象に、コンビニ二商品を活用した減塩、野菜摂取の啓発を行った。マスコミ取材により、県内にも周知を図ることができた。</p> <p>・令和7年度の予定・方針等：青壮年期を対象とした啓発を継続する。</p> <p>・県央保健所健康増進課＜br/&gt;・第一回部会にて、具体的な活動について検討（令和6年6月13日） 大田圏域の重点取組を「運動」とし、健康課題の解決のために構成団体が一体となって取り組むことができた。 ・「今週の+11」を所内で掲示し、実践しやすい「+11」活動の提案を実施。 ・コンビニでの食の展示のマスコミ取材（新聞、テレビ）を通じて、活動の協力者や広がりが見られた。</p>	<p>＜加藤病院＞ 【移動困難支援】 経済産業省実証事業「産福共創モデル推進事業」を活用し、川本町社会福祉協議会主催の「体がつくり教室」へ参加される住民の共同送迎を、川本町・川本町社会福祉協議会・仁寿会でおこない、運動機会への参加推進を支援し、移動困難・事業継続可能性的課題解決にチャレンジした。</p> <p>・大田市健康増進課＜br/&gt;・民間企業と連携協定を締結した。 ・連携協定を締結している企業と共同で、文化祭の来場者を対象とした健康づくりコーナーを運営した。</p> <p>＜県央保健所健康増進課＞ ・第一回部会にて、具体的な活動について検討（令和7年6月12日） ・引き続き、大田圏域の重点取組を「運動」とし、健康課題の解決のために構成団体が一体となって取り組むことができた。 ・「今週の+11」を所内で掲示し、実践し、事業所従業員向け健康イベントに参加。 ・管内大規模事業所及び大田市と連携し、事業所従業員向け健康イベントに参加。ハジチエツクを用いた野菜摂取啓発を計161名に実施。</p>
	<p>＜大田市健康増進課＞ ・部会で作成されたポスターや啓発媒体等を活用し、市民に周知した。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p> <p>＜川本町＞ ・健康推進ローキング、食育推進ローキングを中心に構成団体の強みを生かし、子どもから高齢者までライフステージに応じた取組を推進している。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p> <p>＜県央保健所健康増進課＞ ・健康長寿おおなん推進会議の3つの部会（子ども部会、働き盛り部会、高齢者部会）を中心に、7つの柱でライフステージに応じた取組を実施した。令和7年度の予定・方針等：引き続き、各所属での主体的な取組みとなるよう連携を図る。</p> <p>＜県央保健所健康増進課＞ ・心ゆたかにチャレンジ部会では、バウハラ防止ポスターを活用し、メンタルヘルス対策や相談窓口の周知を実施。 ・体かるやかパワータツク部会では、キャラクターを用いた運動習慣を促すチラシを作成。 ・食べる幸せ歯ッピー部会では、食生活改善のため図書館やまちづくりセンター、スーパー等でのチラシ・レシートの配布。 ・「お口の健康！歯ッピー講座」の周知。</p>	<p>＜大田市健康増進課＞ ・部会で作成されたポスターや啓発媒体等を活用し啓発を行った。</p> <p>＜川本町＞ ・健康推進ローキング、食育推進ローキングを中心に構成団体の強みを生かし、子どもから高齢者までライフステージに応じた取組を推進している。 ・県南町＞ ・健康長寿おおなん推進会議の3つの部会（子ども部会、働き盛り部会、高齢者部会）を中心にライフステージに応じた取組を実施した。</p> <p>＜県央保健所健康増進課＞ ・心ゆたかにチャレンジ部会では、バウハラ防止ポスターを活用し、メンタルヘルス対策や相談窓口の周知を実施。 ・令和6年度に作成したキャラクターを用いた運動習慣を促すチラシを活用した啓発を実施。 ・食べる幸せ歯ッピー部会では、食生活改善のため図書館やまちづくりセンター、スーパー等でのチラシ・レシートの配布。 ・「お口の健康！歯ッピー講座」の周知。</p>

第2節 健やか親子しまねの推進【健やか親子しまね計画】【全県共通】

1. 基盤課題A「妊娠前から乳幼児期における切れ目のない保健対策」

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田市医師会&gt; ・大田市健康福祉社連合会 ・大田地区歯科衛生士会 ・大田県域内の乳幼児健診・3歳児健診での歯科検診をとおして歯・口腔の健康の維持や成長についての指導・助言を行う。</p> <p>&lt;公立星智病院&gt; ・産婦人科・小児科をともに有しており、妊婦健診から出産後の健診・予防接種等切れ目のない医療を提供しています。</p> <p>&lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・大田圏域内の乳幼児健診や離乳食教室での歯科保健指導への協力。</p> <p>&lt;大田市保育研究会&gt; ・保育施設では現在妊娠前からの関わりはできていない、妊娠前から保育施設へ通っていたとき、子どもの成長とは何か、基本的な生活習慣の重要性や食育・愛着形成について丁寧に伝え関わっていくようにしたいと考えている。これから親となる方への、精神的な支えとなることで、育児不安や産後鬱にならないように関わっていく。</p> <p>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt; ◇妊娠前 ・高校の文化祭で、赤ちゃん形の抱っこやオムツ交換等の育児体験を実施。また、クイズを通して、「望む妊娠」について啓発実施 ・文化祭の事前学習で高校生向け育児教室の実施、性教育座談会での啓発 ◇妊娠中 ・妊娠届出時に、保健師・助産師・看護師がすべての妊婦（家族）に対して個別面接を実施、アンケートを行い、セルフプログラムおよび支援プログラムを作成し、妊娠前から早期支援を実施。出産・子育て応援事業を実施し、妊娠8か月アンケートにて継続的な支援を行った。 ・父親の育児シニアの促進および産後の母親への理解を深めるため、出生届出時に、父親に対してパンフレットを用いて啓発を実施 ・母子保健推進員と連携した支援の実施</p> <p>◇乳幼児期 ・乳幼児訪問にて、「あかちゃんのことばの発達」リーフレットを用いて、乳幼児期の親子の関わりや愛着形成について啓発 ・母子保健推進員のこんこには赤ちゃん訪問にて、「ふれあい遊び」パンフレットを用いた親子のふれあい遊びの促進 ・乳幼児相談および乳幼児健診の場を活用した啓発及び個別支援</p> <p>・地域の育児相談、育児教室等を活用した啓発（育児サークル等との連携） ・公式youtubeを活用した、愛着形成および親子の触れ合い遊びの啓発 ・保護者の字ひの場を提供（育児教室：妊娠期・子育て期の実施） ・令和7年度の予定・方針等：5歳児健診の実施の在り方について検討する</p> <p>&lt;川本町&gt; ・妊娠届出時にアンケートと面談を実施し、家庭の状況を把握している。妊娠前から子育て期まで身近で相談でき、必要なサービスにつながる＜伴走型の相談支援に取り組んでいる。妊娠期は医療機関と連携しハイリスク妊婦のフォロー、乳児期は子育てサポートの協力も得て見守り支援、幼児期は保育所と連携し子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>&lt;泉央保健所健康増進課&gt; ・大田圏域母子保健推進協議会」を開催、圏域の課題や健やか親子しまね計画の共通強化取組、大田圏域妊産婦等保健指導連絡事業等について意見交換（令和6年11月20日） ・市町母子保健担当者連絡会を開催し、圏域の現状や共通強化取組、市町の取組等について意見交換（令和6年6月10日）</p>	<p>&lt;大田県医師会&gt; ・妊婦産科検診や1歳6か月児健診・3歳児健診での歯科健診をとおして歯・口腔の健康の維持や成長についての指導・助言を行う。</p> <p>&lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・大田圏域内の乳幼児健診や離乳食教室での歯科保健指導への協力。</p> <p>&lt;公立星智病院&gt; ・産婦人科・小児科をともに有しており、妊婦健診から出産後の健診・予防接種等切れ目のない医療を提供している。</p> <p>&lt;大田市保育研究会&gt; ・保育施設では現在妊娠前からの関わりはできていない、妊娠前から保育施設へ通っていたとき、子どもの成長とは何か、基本的な生活習慣の重要性や食育・愛着形成について丁寧に伝え関わっていくようにしたいと考えている。これから親となる方への、精神的な支えとなることで、育児不安や産後鬱にならないように関わっていく。</p> <p>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt; ◇妊娠前 ・高校の文化祭で、学校保健委員との共同ブースをもち、赤ちゃん形の抱っこ等の育児体験を実施。また「望む妊娠」について啓発実施。 ・文化祭の事前学習等で高校生向け育児教室の実施。 ・市内の高校1校にて、昼休み座談会を定期的に実施し、顔の見える関係づくりとセルフプログラムでの啓発実施。</p> <p>◇妊娠中 ・妊娠届出時に、すべての妊婦（家族）に対して個別面接を実施、アンケートを行い、セルフプログラムおよび支援プログラムを作成し、妊娠前から早期支援を実施。出産・子育て応援事業を実施し、妊娠8か月アンケートにて継続的な支援を行った。 ・父親の育児シニアの促進および産後の母親への理解を深めるため、出生届出時に、父親に対してパンフレットを用いて啓発を実施 ・母子保健推進員と連携した支援の実施</p> <p>◇乳幼児期 ・乳幼児訪問にて、「あかちゃんのことばの発達」リーフレットを用いて、乳幼児期の親子の関わりや愛着形成について啓発 ・乳幼児相談および乳幼児健診の場を活用した啓発及び個別支援 ・地域の育児教室等を活用した啓発（育児サークル等との連携） ・公式youtubeを活用し、愛着形成および親子の触れ合い遊びの啓発 ・保護者の字ひの場を提供（育児教室：妊娠期・子育て期の実施）</p> <p>&lt;全体を通して&gt; ・妊娠届出時の機会をとらえ、タイムリーに必要な情報を提供することで、信頼関係を築き、切れ目のない支援につなげることができた。学校、医療機関、母子保健推進員等関係機関・団体と顔の見える関係を築き、連携した支援を実施することができている。</p> <p>&lt;川本町&gt; ・妊娠届出時にアンケートと面談を実施し、家庭の状況を把握している。妊娠前から子育て期まで身近で相談でき、必要なサービスにつながる＜伴走型の相談支援に取り組んでいる。妊娠期は医療機関と連携しハイリスク妊婦のフォロー、乳児期は子育てサポートの協力も得て見守り支援、幼児期は保育所と連携し子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>&lt;美郷町&gt; ・乳幼児期には、妊娠届出時や妊娠9カ月時、赤ちゃん訪問時に保健師による面談を行い、必要に応じて適切な支援へつなげている。 ・幼児期には、保育園と連携し、巡回相談や食育・歯科教室等を等して子育て支援を実施している。 ・令和8年度の予定・方針等：継続して実施する。</p>
<p>&lt;邑南町&gt; ・従来のごとく相談室をこども家庭センターとして位置づけ、母子保健と児童福祉が一体となり妊娠前から切れ目のない伴走型支援に取り組んでいる。妊娠期は医療機関と連携しハイリスク妊婦のフォロー、乳児期は子育てサポートの協力も得て見守り支援、幼児期は保育所と連携し子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>&lt;泉央保健所健康増進課&gt; ・大田圏域母子保健推進協議会」を開催、圏域の課題や健やか親子しまね計画の共通強化取組、大田圏域妊産婦等保健指導連絡事業等について意見交換（令和6年11月20日） ・市町母子保健担当者連絡会を開催し、圏域の現状や共通強化取組、市町の取組等について意見交換（令和7年7月8日）</p>	<p>&lt;邑南町&gt; ・子どもを産み育てたいと願っている夫婦に対して、不妊症・不育症医療費・交通費助成と、相談支援を行っている。 ・妊娠期から公式ラインを活用した相談支援や情報提供、初妊婦や支援が必要な妊婦へ出産・育児の風通しを立てるための訪問、医療機関と連携したハイリスク妊産婦のフォローを行っている。 ・乳児期は子育てサポートの協力も得て、ベビーサポート（おむつ定期便）事業を実施し、毎月対面で見守り支援、早期相談対応、切れ目のない伴走型支援を行っている。 ・乳幼児期は保育所と連携して、基本的な生活習慣の確立、愛着形成に向けた取り組みを行っている。年度末には関係者会議として母子保健検討会を開催予定。 ・令和8年度の予定・方針等：引き続き実施する。</p> <p>&lt;泉央保健所健康増進課&gt; ・「大田圏域母子保健推進協議会」を開催、圏域の課題や健やか親子しまね計画の共通強化取組、大田圏域妊産婦等保健指導連絡事業等について意見交換を予定。（令和8年2月又は3月に予定） ・市町母子保健担当者連絡会を開催し、圏域の現状や共通強化取組、市町の取組等について意見交換。（令和7年7月8日）</p>

## 2. 基盤課題B「学童期・思春期から成人期に向けた保健対策」

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田市医師会&gt; (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田市健康福祉課とも連携を取り、計画の策定と推進に向け、大田市医師会も協力している。</li> <li>&lt;大田 邑留 歯科医師会&gt;</li> <li>・学校歯科医の活動を通して歯・口腔の健康の保健指導を行う。</li> <li>&lt;公立 邑留 病院&gt;</li> <li>・小児科をはじめ、10診療科を有しそれぞれの分野の専門医が連携して保健対策を講じています。</li> <li>&lt;加藤病院&gt;</li> <li>・学校保健医を通じて、疾病予防・メンタルヘルズ支援・生活習慣病予防などの支援や啓発を行った。</li> <li>【“わかもの”との連携推進】</li> <li>&lt;大田地区歯科衛生士会&gt;</li> <li>・大田地域の保健所、学校、事業所健診での歯科保健指導への協力。</li> <li>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt;</li> <li>・保健師養護教諭連絡会で、学校における現状や課題を情報共有し、取り組みの共有および連携を図る。「望む妊娠」について啓発実施。</li> <li>・高校の文化祭で、赤ちゃん人形の抱っこやオムツ交換等の育児体験を実施。また、クイズを通して、「望む妊娠」について啓発実施。</li> <li>・文化祭の事前学習で高校生向け育児教室の実施、性教育座談会でプレコンセプションケアについての啓発。</li> <li>・思春期・赤ちゃん交流学習事業は、小学校2校、中学校4校で実施。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</li> <li>&lt;川本町&gt;</li> <li>・学校保健と連携を図り、小・中学校で、生活習慣病予防講座を行い運動や食育、防煙の取り組みを推進している。令和6年度は小・中学校で睡眠をテーマに講演会等を実施され、子どもや保護者に対し望ましい生活習慣の確立に向けた啓発に取り組みられた。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</li> <li>&lt;美郷町&gt;</li> <li>・町内の小中学校職員を対象とした、自死対策研修会を開催。</li> <li>&lt;邑南町&gt;</li> <li>・食や生活習慣の確立、思春期の性に関する教育等、心やからだの健康づくりを学校関係者と連携を図り取り組んでいる。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> </ul>	<p>&lt;大田 邑留 歯科医師会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校歯科医の活動を通して歯・口腔の健康の保健指導を行う。</li> <li>&lt;公立 邑留 病院&gt;</li> <li>・小児科をはじめ、10診療科を有しそれぞれの分野の専門医が連携して保健対策を講じている。</li> <li>&lt;加藤病院&gt;</li> <li>・学校保健医を通じて、疾病予防・メンタルヘルズ支援・生活習慣病予防などの支援や啓発を行った。</li> <li>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt;</li> <li>・保健師養護教諭連絡会で、市や学校における現状や課題を情報共有し、取り組みの共有および連携を図った。</li> <li>・高校の文化祭で、赤ちゃん人形の抱っこ等の育児体験を実施。また、クイズを通して、「望む妊娠」について啓発実施。</li> <li>・文化祭の事前学習等で高校生向け育児教室の実施</li> <li>・市内の高校校にて、<u>身体み座談会を定期的に実施し、顔の見える関係づくりとプレコンセプションケアの啓発実施。</u></li> <li>・思春期・赤ちゃん交流学習事業は、小学校2校、中学校3校で実施。</li> <li>&lt;川本町&gt;</li> <li>・学校保健と連携を図り、小学校で歯予防、防煙対策、中学校で、生活習慣病予防講座を行い運動や食育の取り組みを推進している。令和7年度は小・中学校で睡眠をテーマに講演会等を実施され、子どもや保護者に対し望ましい生活習慣の確立に向けた啓発に取り組みられた。</li> <li>&lt;美郷町&gt;</li> <li>・町内の小中学校と連携し、各小中学校にて産婦人科医や助産師による命や性についての講演会を実施。</li> <li>・令和8年度の予定・方針等：継続して実施。</li> </ul>
<p>&lt;県央保健所健康増進課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期こころの健康相談の実施 (年6回)</li> <li>・「大田圏域子ども心の診療ネットワーク会議」を開催、圏域の課題を共有、各機関の取組について不登校への対応を中心に意見交換。また合わせて関係者の支援技術の向上を目的に「子ども心に関する関係者研修会」を開催 (令和7年1月14日)</li> <li>・「思春期保健事例検討会」を開催。(令和7年2月14日)</li> <li>・子ども心に関する相談機関をまとめた「思春期こころの情報ネットワーク」を刷新し関係機関に配布</li> <li>・管内の高校で、プレコンセプションケアに関する健康教育や文化祭での啓発等を実施</li> </ul>	<p>&lt;邑南町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健と連携し、生活習慣の確立に向けて食や歯科、運動に関する健康教室を行い、各学校で取り組みを推進している。</li> <li>・思春期の性に関する教育として、中学生を対象に性・命・人権教育講演会を開催した。</li> <li>・年度末には関係者会議として母子保健検討会を開催予定。</li> <li>・令和8年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> <li>&lt;県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>・思春期こころの健康相談の実施 (年6回)。</li> <li>・「大田圏域子ども心の診療ネットワーク会議」を開催、圏域の課題を共有、各機関の取組について不登校への対応を中心に意見交換。また合わせて関係者の支援技術の向上を目的に「子ども心に関する関係者研修会」を開催。(令和8年1月27日)</li> <li>・「思春期保健事例検討会」を開催。(令和7年10月17日)</li> <li>・管内の高校で、プレコンセプションケアに関する健康教育や文化祭での啓発等を実施。</li> </ul>

## 3. 基盤課題C「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田市医師会&gt; (再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田市健康福祉課とも連携を取り、計画の策定と推進に向け、大田市医師会も協力している。</li> <li>&lt;公立 邑留 病院&gt;</li> <li>・産婦人科医師・小児科医師が常勤で勤務していることで地域づくりに貢献しています。</li> <li>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt;</li> <li>・妊娠・出産・子育てに関する情報提供および子育てに関する理解が深まるような普及啓発の実施</li> <li>・母子保健に関する関係機関及び団体等と現状や課題を共有し、取り組みの連携を図る (母子保健専門部会、母子保健検討会等)</li> <li>・小地域における子育て支援ネットワークづくりの推進：思春期・赤ちゃん交流学習事業や母子保健推進員や主任児童委員による地区活動等と連携した取り組み</li> <li>・<u>ことも計画策定にあたり、ことも向けアンケートを実施した。アンケート結果をもとに、こどもの「相談先」「居場所」についてヒアリングやグループワークを行い、こどもの意見聴取を行った。</u></li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</li> <li>&lt;川本町&gt;</li> <li>・地域の住民団体が実施主体となり、地域食堂や子ども体験活動を実施され、年間利用者数も増加してきている。子育てや子どもの育ちを支援する地域づくりの取組を推進している。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：子育て支援サービスの拡充を予定している。</li> <li>&lt;邑南町&gt;</li> <li>・子育て支援に関わる人材を育成し、必要な家庭への支援につなげている。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> <li>&lt;県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>・大田圏域健康長寿しまね推進会議を開催し、大田圏域の健康課題の共有、具体的な取組について検討 (令和6年6月3日)</li> </ul>	<p>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保健専門部会や母子保健推進員研修会にて、母子保健に関わる関係機関及び団体等と現状や課題を共有し、連携した取り組みを実施している。</li> <li>・思春期・赤ちゃん交流学習事業、子育てサークル等の事業を地域の母子保健推進員や主任児童委員と連携で行い、地域における子育て支援のネットワークづくりを行っている。</li> <li>&lt;川本町&gt;</li> <li>・地域の住民団体が実施主体となり、地域食堂や子ども体験活動を実施され、年間利用者数も増加してきている。子育てや子ども育ちを支援する地域づくりの取組を推進している。</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業を中間支援組織に委託して8月より実施し実施もある。</li> <li>&lt;県央保健所健康増進課&gt; (再掲)</li> <li>・大田圏域健康長寿しまね推進会議を開催し、大田圏域の健康課題の共有、具体的な取組について検討。(令和7年6月12日)</li> </ul>

#### 4. 重点課題① 「専門的医療・支援等を必要とする子どもとその家族に対する支援」

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田市医師会&gt;(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田市健康福祉課とも連携を取り、計画の策定と推進に向け、大田市医師会も協力している。</li> </ul> <p>&lt;公立呂留病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科外来において、2か月に1回内分沁代謝(小児科) 専門医が来院し、診療を行っています。</li> </ul> <p>&lt;加藤病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関との”つながり”を強化し”シェア”できる体制</li> <li>・自院で対応できない場合など、専門医療機関への紹介やオンライン診療支援システムを活用し対応している。</li> </ul> <p>&lt;大田市保育研究会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田市保育研究会での活動はないが、各施設では保育組織での研修を行っており、子どもと家族支援へ繋げる。</li> </ul> <p>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と連携した支援の実施(個別支援、定例会の開催等)</li> <li>・母子保健推進員と連携した支援の実施</li> <li>・母子保健に関わる関係機関及び団体等と現状や課題を共有し、取り組みの連携を図る(母子保健専門部会、発達クリニック検診会、養護教師・保健師連絡会等)</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</li> </ul> <p>&lt;川本町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回発達クリニックを行い、子どもの発達に関する相談事業を実施している。小さな町の強みを生かし、関係機関と連携した切れ目のない支援ができるよう体制づくりに取り組んでいる。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</li> </ul> <p>&lt;邑南町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児に対して、医療機関や県央保健所、訪問看護ステーション等と連携し、在宅支援を行っている。</li> <li>・特別支援体制推進事業と連携し、出生から就労まで関係機関と相談支援を行っている。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> <li>・県央保健所健康増進課&gt;</li> <li>・医療的ケアを必要とする子どもに対し、医療機関や市町等と連携した相談、訪問支援を実施。また、関係機関との情報共有のため状況に応じて支援会議を開催。</li> </ul>	<p>&lt;公立呂留病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児科外来において、1か月に1回内分沁代謝(小児科) 専門医が来院し、診療を行っている。</li> </ul> <p>&lt;加藤病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門機関との”つながり”を強化し”シェア”できる体制</li> <li>・自院で対応できない場合など、専門医療機関への紹介やオンライン診療支援システムを活用し対応できる体制を整えている。</li> </ul> <p>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関と連携した支援の実施(個別支援、定例会の開催等)</li> <li>・母子保健推進員と連携した支援の実施</li> <li>・母子保健に関わる関係機関及び団体等と現状や課題を共有し、取り組みの連携を図っている(母子保健専門部会、発達クリニック検診会、養護教師・保健師連絡会等)</li> <li>・大田市保育研究会&gt;</li> <li>・大田市保育研究会での活動はないが、各施設では保育組織での研修を行っており、子どもと家族支援へ繋げる。</li> </ul> <p>&lt;川本町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回発達クリニックを行い、子どもの発達に関する相談事業を実施している。小さな町の強みを生かし、関係機関と連携した切れ目のない支援ができるよう体制づくりに取り組んでいる。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施する。</li> </ul> <p>&lt;美郷町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達クリニックや保育園巡回相談等を実施し、医師や関係機関と連携して子どもの発達に関する相談支援を実施している。</li> <li>・特別支援推進協議会実務者会を開催し、関係機関と定期的な情報共有を行いながら連携した支援の実施に努めている。</li> <li>・令和8年度の予定・方針：継続して実施する。</li> </ul>
<h4>5. 重点課題② 「子育てに不安のある家族への早期支援による児童虐待予防」</h4> <p>令和6年度の取組・成果</p> <p>&lt;大田市医師会&gt;(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田市健康福祉課とも連携を取り、計画の策定と推進に向け、大田市医師会も協力している。</li> </ul> <p>&lt;加藤病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【教育機関との連携強化】</li> <li>・学校保健医活動や行政からの相談を受ける体制を整えている。</li> <li>・児童虐待の予防・対応について研修会を行い学ぶ。また、不適切保育という言葉ができたので、家庭だけでなく保育施設全体でも虐待について意識を高めている。</li> </ul> <p>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦届出時に、保健師・助産師・看護師がすべての妊婦(家族)に対して個別面接を実施。アンケートを行い、セルフアンケートおよび支援プランを作成し、妊婦期から早期支援を実施。アンケートを行い、セルフアンケートを作成し、妊婦期から早期支援を実施。アンケートを行い、セルフアンケートを作成し、妊婦期から早期支援を実施。</li> <li>・市内全小中学校、保育園、学童クラブへ「児童虐待等の支援に関する説明会」を実施し、虐待の早期発見・介入、ヤングケアラーに関する情報提供を行った。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</li> </ul> <p>&lt;川本町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉と母子保健合同の情報共有の場を設け、サポートプランの作成やケース協議を行いながら、ケースへの支援を行っている。妊婦届出時から家庭の状況把握し、顔の見える関係性を構築しながら、家族に寄り添った支援に取り組んでいる。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</li> </ul> <p>&lt;邑南町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦期から医療機関や関係機関と連携し、妊娠・出産・子育てに関して相談しやすい体制を充実し、乳幼児健康診査、乳児家庭全戸訪問事業、ハピート事業(おむつ定期便)等により支援が必要な家庭の早期発見に努め、早期支援につなげるよう取り組んでいる。また、関係機関や地域での見守り体制の充実を図っている。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> </ul> <p>&lt;県央保健所健康増進課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県央保健所健康増進課において、子育てのほり事例検討会」で虐待予防に向けた支援や連携について検討(令和7年2月12日)</li> <li>・市町母子保健担当者連絡会を開催し、圏域の現状や共通強化取組、市町の取組等について意見交換(令和6年6月10日)</li> </ul>	<p>令和7年度の取組・成果</p> <p>&lt;大田市医師会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月に高根県医師会主催のオンラインセッションの研修会に医師会員と看護師は参加し、妊婦期からの良い子育て環境の重要性を再確認した。参加者は各自の立場で、今後健全な子育ての為何をすれば良いのか良く理解した。</li> </ul> <p>&lt;加藤病院&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【教育機関との連携強化】</li> <li>・学校保健医活動や行政からの相談を受ける体制を整えている。</li> <li>・児童虐待の予防・対応について研修会を行い学ぶ。また、不適切保育という言葉ができたので、家庭だけでなく保育施設全体でも虐待について意識を高めている。</li> </ul> <p>&lt;大田市子ども家庭支援課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦届出時に、すべての妊婦(家族)に対して個別面接を実施。アンケートを行い、セルフアンケートを作成し、妊婦期から早期支援を実施。必要なお方にはサポートプランを作成し、妊婦期から早期支援を実施。必要なお方にはサポートプランを作成し、妊婦期から早期支援を実施。</li> <li>・保護者の学びの場を提供(育児教室：妊婦期・子育て期の実施)</li> <li>・市内全小中学校、保育園、学童クラブへ「児童虐待等の支援に関する説明会」を実施し、虐待の早期発見・介入、ヤングケアラーに関する情報提供を行い、早期発見や関係機関と連携した支援につなげる。ことかできている。</li> <li>・川本町&gt;</li> <li>・児童福祉と母子保健合同の情報共有の場を設け、サポートプランの作成やケース協議を行いながら、ケースへの支援を行っている。妊婦届出時から家庭の状況把握し、顔の見える関係性を構築しながら、家族に寄り添った支援に取り組んでいる。</li> </ul>
<p>&lt;美郷町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦期から保健師が面談を実施し、関係機関と情報共有しながら、支援が必要な家庭の早期発見・早期支援に努めている。また、子ども家庭センターの合同ケース会議を定期的に実施し、ケース検討を行いながら必要に応じて継続支援を実施している。</li> <li>・令和8年度の予定・方針等：継続して実施する。</li> </ul> <p>&lt;邑南町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉と母子保健で定期的にカンファレンスを行い、妊婦から高校生の要支援者の情報共有や支援方針の検討を行い支援している。子育てに関して相談しやすい体制を充実し、乳幼児健康診査、乳児家庭全戸訪問事業、ハピート事業(おむつ定期便)等により支援が必要な家庭の早期発見に努め、早期支援につなげるよう取り組んでいる。また、関係機関や地域での見守り体制の充実を図っている。</li> <li>・令和8年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> </ul> <p>&lt;県央保健所健康増進課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町母子保健担当者連絡会を開催し、圏域の現状や共通強化取組、市町の取組等について意見交換。(令和7年7月8日)</li> </ul>	<p>&lt;美郷町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦期から保健師が面談を実施し、関係機関と情報共有しながら、支援が必要な家庭の早期発見・早期支援に努めている。また、子ども家庭センターの合同ケース会議を定期的に実施し、ケース検討を行いながら必要に応じて継続支援を実施している。</li> <li>・令和8年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> </ul> <p>&lt;邑南町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童福祉と母子保健で定期的なカンファレンスを行い、妊婦から高校生の要支援者の情報共有や支援方針の検討を行い支援している。子育てに関して相談しやすい体制を充実し、乳幼児健康診査、乳児家庭全戸訪問事業、ハピート事業(おむつ定期便)等により支援が必要な家庭の早期発見に努め、早期支援につなげるよう取り組んでいる。また、関係機関や地域での見守り体制の充実を図っている。</li> <li>・令和8年度の予定・方針等：引き続き実施する。</li> </ul> <p>&lt;県央保健所健康増進課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町母子保健担当者連絡会を開催し、圏域の現状や共通強化取組、市町の取組等について意見交換。(令和7年7月8日)</li> </ul>

第3節 高齢者の疾病予防・介護予防対策【全県共通】

(1) 高齢者の疾病予防

(2) 介護予防対策

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田邑留歯科医師会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・76歳から85歳までの対象者に後期高齢者歯科口腔健診を受診していただくことよって、その結果から適切な歯科治療の必要性や低栄養予防への指導を行った。(パランスのとれた食事を摂取することにより、栄養がしっかりと得られる。そのことは即ち疾病予防や介護予防対策へとつながる)</li> <li>&lt;加藤病院&gt;</li> <li>【高齢者の疾病予防・介護予防対策】</li> <li>・在宅看護支援病院として、健康診断と早期発見、生活習慣病予防・介護予防プログラム(スポーツインテグ推進や運動教室の開催)を提供している。</li> <li>&lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt;</li> <li>・介護サービスを利用しておられる利用者様について、状態の変化が早られた際、早期受診の促しを行っている。</li> <li>・認知症の予防や、ADLの低下、維持ができるよう脳トレやリハビリなど意欲的に取り組んでいたできるようサービス提供を行っている。</li> <li>&lt;大田地区歯科衛生士会&gt;</li> <li>・大田圏域内の通いの場やサロン等においてフレイル・オーラルフレイル予防についての講話をし、オーラルフレイル予防に定期的な歯科受診が重要であることを知ってもらえた。</li> <li>&lt;美郷町社会福祉協議会&gt;</li> <li>・各社会福祉法人より、<b>地域内でのサロンや集いの場、老人クラブの活動へ専門職を派遣し、健康増進を図る。併せて、日々の困りごとなど相談を受ける。24回(体操・脳トレ・レク)</b></li> <li>・福祉教育推進プログラムを作成し、自治会等地域に周知。(eスポーツ体験)</li> <li>・本会の運営する通所介護事業所へ地元の薬剤師やリハビリの専門職を招き啓発している。(薬剤師による薬の知識・作業療法士による健康体操)</li> <li>&lt;大田市介護保険課&gt;</li> <li>・身近な地域での介護予防活動と地域の支え合い体制づくりを推進するため、「地域介護予防活動支援事業」や「地域リハビリテーション活動支援事業」、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的推進事業」を実施。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：現在の事業を継続実施するとともに、「<b>高齢者通いの場づくり事業</b>」未実施地区でのフレイル予防の取組を行う。</li> <li>&lt;川本町&gt;</li> <li>・社会福祉協議会に委託して実施している介護予防事業と各地区の特徴を活かした住民主体のサロン活動の両輪で介護予防事業を推進している。交流の場から困った時に支え合える仲間づくり、地域づくりをめざして活動している。</li> <li>・保健事業と介護予防の一体的実施事業として、低栄養予防、フレイル予防を目的とした保健事業を実施する。</li> </ul>	<p>&lt;大田市医師会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年も地域包括ケアの研修会の一つとして、口腔フレイル予防講習会を実施し、参加者への介護予防的施策の意識づけを行なった。医師からは今後、高齢者の誤飲性肺炎への予防的視点での積極的な取り組みを期待する意見があった。地域包括ケアは多職種によるチーム医療の視点が一つの特徴であるが、今回、訪問看護ステーションのメンバーが呼ばれていないのが、残念であった。今回は会の開催時にその会の開催の目的と、現在の課題、会議による目標の到達点を明確にする必要性を感じた。</li> <li>&lt;大田邑留歯科医師会&gt;</li> <li>・76歳から85歳までの対象者に後期高齢者歯科口腔健診を受診していただくことよって、その結果から適切な歯科治療の必要性やオーラルフレイルやフレイル予防への指導を行う。</li> <li>&lt;加藤病院&gt;</li> <li>【高齢者の疾病予防・介護予防対策】</li> <li>・在宅看護支援病院として、健康診断と早期発見、生活習慣病予防・介護予防プログラム(スポーツインテグ推進や運動教室の開催)を提供している。</li> <li>&lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt;</li> <li>・介護サービスを利用しておられる利用者様に対して、状態の変化が見られた際、早期受診の促しを行っている。認知症の予防や、ADLの低下、維持ができるよう脳トレやリハビリなど意欲的に取り組んでいたできるようサービス提供を行っている。</li> <li>&lt;大田地区歯科衛生士会&gt;</li> <li>・大田圏域内の通いの場やサロン等において、フレイル・オーラルフレイル予防に関する講話を実施し、定期的な歯科受診の重要性について啓発を行った。</li> </ul>
<p>&lt;美郷町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の介護・認知症予防と多様な方(障がい者、引きこもり)の「つどいの場」(月1回、場所：地域活動支援センター)として令和5年度からスタートした「<b>おひさまカフェ</b>」について、<b>町内7カ所の集会所へ出向いて開催</b>。新たな参加が多くあり、新規につながり作りを行うことができた。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：<b>令和7年度から定期接種化される带状疱疹ワクチン接種に対して、経済的な負担軽減を図るため、費用の一部を助成する予定</b>。また、おひさまカフェについては引き続き町内集会所に出向いて開催の予定。</li> <li>&lt;邑南町&gt;</li> <li>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を実施。</li> <li>・一般介護予防事業として、通いの場等を展開し、医療専門職と連携し運動、栄養・口腔の普及啓発に取り組んだ。またボランティア参加者にはポイントを付与し、生きがい、社会参加への一助となっている。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：引き続き実施するとともに、町内にある通いの場の対象者、目的を見直し、対象者にあった通いの場を提案できるように整理をしていく。</li> <li>&lt;県央保健所地域包括ケア推進スタッフ&gt;</li> <li>・産業医科大学の松田教授による「<b>島根県内19市町村単位での人口推計、医療介護需要の推計作業及び分析作業</b>」報告書に市町別図表を添付して<b>圏域内全ての医療機関(56箇所)</b>に配付し情報提供。</li> </ul>	<p>&lt;美郷町社会福祉協議会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社会福祉法人より、<b>地域内でのサロンや集いの場、老人クラブの活動へ専門職を派遣し、健康増進を図る。併せて、日々の困りごとなど相談を受ける。(体操・脳トレ・レク)</b></li> <li>・福祉教育推進プログラムを作成し、自治会等地域に周知。(eスポーツ体験)</li> <li>・本会の運営する通所介護事業所へ地元の薬剤師やリハビリの専門職を招き啓発している。(薬剤師による薬の知識・作業療法士による健康体操)</li> <li>・年6回発行する社協広報誌の裏面に脳トレと becoming a 高齢者</li> <li>&lt;大田市地域医療連携推進課&gt;</li> <li>・身近な地域での介護予防活動と地域の支え合い体制づくりを推進するため、「<b>地域介護予防活動支援事業1</b>」や「<b>地域リハビリテーション活動支援事業1</b>」を実施。</li> <li>・令和8年度の予定・方針等：現在の事業を継続実施するとともに、「<b>高齢者通いの場づくり事業</b>」未実施地区でのフレイル予防の取組を行う。サロン活動</li> <li>&lt;大田市介護保険課&gt;(再掲)</li> <li>・地域包括支援センターが、地域サロンや通いの場等地域の集まりに出向き、基本チェックリストを基に現在の自身の振り返りを行ってもらい、今後の生活(介護予防)について考えを与えている。その中で、場合に応じ終活の講話も行っている。</li> <li>&lt;川本町&gt;</li> <li>・令和7年度より保健事業と介護予防の一体的実施事業として、低栄養予防、フレイル予防を目的とした保健事業を実施している。</li> </ul>
<p>&lt;美郷町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場や介護予防教室等で、フレイルや低栄養予防、生活習慣病予防等について講話を行った。</li> <li>・後期高齢者健診や後期高齢者歯科口腔健診の結果で低栄養に該当した方に保健師が訪問し、保健指導を実施。</li> <li>・認知症の方だけでなく、誰でも気軽に集うことができる場として、地域活動支援センターあおぞらで「おひさまカフェ(月1回)」、ティサービスセンターやすらぎの里別府で「やすらぎカフェ(月2回)」を実施。「おひさまカフェ」は主会場の地域活動支援センターあおぞらだけでなく、各地域(R7年度は9カ所)にも出向いて実施した。認知症や閉じこもり傾向など参加してほしい方に個別に声かけをしていくか、なかなか参加してもらえない。来年度も継続するが、当事者にも参加してもらえよう内容等について検討が必要である。</li> <li>・令和7年度よりeスポーツ体験を各地域や介護予防教室等で実施。参加者からは大変好評で、毎月継続して実施しているサロンもある。今後も継続実施。</li> <li>&lt;邑南町&gt;</li> <li>・一般介護予防事業で展開している通いの場(寄り合い処)、介護予防教室(楽々教室)にリハビリ職等の医療専門職による、身体フレイル、オーラルフレイル予防等についてミニ講座の実施。また、通いの場のレストラン(地域住民)には、転倒予防とオーラルフレイル予防について研修会を開催。</li> <li>&lt;県央保健所健康増進課・地域包括ケア推進スタッフ&gt;</li> <li>・しまねリハビリテーションネットワークと連携した、介護予防に関する講座の開催。令和7年10月29日(活動推進交流会)。</li> <li>&lt;県央保健所地域包括ケア推進スタッフ&gt;</li> <li>・しまねリハビリテーションネットワークへの県委託事業における、地域ケア会議point集作成果の協力(4市町が作成)</li> <li>・しまねリハビリテーションネットワーク県央ブロック研修会において、圏域の状況と保健所の取り組みについて情報提供を実施。令和7年10月4日</li> </ul>	<p>&lt;美郷町&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場や介護予防教室等で、フレイルや低栄養予防、生活習慣病予防等について講話を行った。</li> <li>・後期高齢者健診や後期高齢者歯科口腔健診の結果で低栄養に該当した方に保健師が訪問し、保健指導を実施。</li> <li>・認知症の方だけでなく、誰でも気軽に集うことができる場として、地域活動支援センターあおぞらで「おひさまカフェ(月1回)」、ティサービスセンターやすらぎの里別府で「やすらぎカフェ(月2回)」を実施。「おひさまカフェ」は主会場の地域活動支援センターあおぞらだけでなく、各地域(R7年度は9カ所)にも出向いて実施した。認知症や閉じこもり傾向など参加してほしい方に個別に声かけをしていくか、なかなか参加してもらえない。来年度も継続するが、当事者にも参加してもらえよう内容等について検討が必要である。</li> <li>・令和7年度よりeスポーツ体験を各地域や介護予防教室等で実施。参加者からは大変好評で、毎月継続して実施しているサロンもある。今後も継続実施。</li> <li>&lt;邑南町&gt;</li> <li>・一般介護予防事業で展開している通いの場(寄り合い処)、介護予防教室(楽々教室)にリハビリ職等の医療専門職による、身体フレイル、オーラルフレイル予防等についてミニ講座の実施。また、通いの場のレストラン(地域住民)には、転倒予防とオーラルフレイル予防について研修会を開催。</li> <li>&lt;県央保健所健康増進課・地域包括ケア推進スタッフ&gt;</li> <li>・しまねリハビリテーションネットワークと連携した、介護予防に関する講座の開催。令和7年10月29日(活動推進交流会)。</li> <li>&lt;県央保健所地域包括ケア推進スタッフ&gt;</li> <li>・しまねリハビリテーションネットワークへの県委託事業における、地域ケア会議point集作成果の協力(4市町が作成)</li> <li>・しまねリハビリテーションネットワーク県央ブロック研修会において、圏域の状況と保健所の取り組みについて情報提供を実施。令和7年10月4日</li> </ul>

第4節 食品の安全確保対策【全県共通】

- (1) 食品営業施設の監視・指導
- (2) 食品に関する啓発・情報発信
- (3) 食品表示の適正化
- (4) 食品等の検査
- (5) 食品に関する苦情・相談等

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;加藤病院&gt; 【食品の安全確保対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生管理の徹底（HACCP危害分析重要管理点導入など）</li> <li>・スタッフの教育と訓練</li> <li>・給食の安全管理</li> <li>・感染症予防対策</li> <li>・アレルギー対策</li> <li>・患者への啓発</li> <li>・定期的な監査と改善</li> </ul> <p>&lt;島根県食品衛生協会大田支所&gt; ・食品衛生の研修・推進、施設巡回訪問指導、手洗い指導等。食中毒予防パンフレット（うちわ）等の配布。</p> <p>&lt;県民保健所衛生指導課&gt; ・(1)(3)(5)食品営業許可の新規・更新、食品に関する苦情・相談、食品衛生強化月間の初日行動等において食品営業施設の監視・指導を実施。</p> <p>&lt;(2)食品衛生協会等の関係機関と連携し、食品衛生月間事業や講習会等により、食品事業者及び消費者への啓発を実施。&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(4)令和6年度島根県食品衛生監視指導計画に基づき、食品等の収去検査を実施。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</li> </ul>	<p>&lt;島根県食品衛生協会大田支所&gt; ・食品衛生の研修・推進、施設巡回訪問指導等。食中毒予防パンフレット（うちわ）等の配布。</p> <p>&lt;県民保健所衛生指導課&gt; ・食品営業許可の新規・更新、食品に関する苦情・相談、食品衛生強化月間の初日行動等において食品営業施設の監視・指導を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生協会等の関係機関と連携し、食品衛生月間事業や講習会等により、食品事業者及び消費者への啓発を実施。</li> <li>・令和7年度全国高等学校総合体育大会が美郷町で開催され、食品を提供する営業者に対して、計画的に監視指導を実施。</li> <li>・令和7年度島根県食品衛生監視指導計画に基づき、食品等の収去検査を実施。</li> </ul>

第5節 健康危機管理体制の構築【全県共通】

- (1) 新型インフルエンザ等対策
- (2) 大規模災害対策

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;加藤病院&gt; 【事業継続計画の見直しと訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応計画として、新興感染症や自然災害などへのリスクに対する初動対応や復旧目標、各対応マニュアルを策定している。</li> <li>・シミュレーションと訓練を定期的におこなっている。新型コロナウイルス対応では、ゾーニング設定や院内感染対策部会と役割を明確化し、対応を行うことかできた。</li> <li>・感染症対策の強化として、ゾーニングやPPE装備内容など、定期的に見直しをおこない、クラスター防止に努めた。</li> <li>・リスクコミュニケーションの強化として、仁寿会iPhoneやオンライン（仁寿会Zoomrooms、グループウェア）による共有と、対面での共有を使い分け、リスクコミュニケーションの防止に努めた。</li> </ul> <p>&lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt; ・新型インフルエンザ等対策について 傘下の健康保険組合において、①インフルエンザの予防接種の実施希望者全員に対し一部助成を実施。②インフルエンザを含む感染症対策として全ての適用事業所に対し、ハンドソープを配付。</p> <p>&lt;健康保険組合連合会島根連合会&gt; ・介護施設・事業所では感染症、自然災害BCPの策定が義務化されており策定を行っている。定期的に研修や訓練を行い、定期的な見直しを実施。</p> <p>&lt;県民保健所衛生指導課&gt; ・(1)令和6年10月に管内複数現場で発生した鳥インフルエンザを踏まえ、第2種指定医療機関である大田市立病院と合同で鳥インフルエンザに強い患者発生対応訓練を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年3月29日策定の県民保健所健康危機対応計画(感染症編)を改定(令和6年12月27日改定)。</li> <li>・令和7年度の予定・方針等：(1)訓練等取組継続、島根県新型インフルエンザ等対策行動計画改定予定(R7.5頃)</li> </ul> <p>&lt;県民保健所医事・難病支援課&gt; ・令和6年度大田地域災害保健医療福祉対策会議を開催し、以下の内容について協議した(令和6年7月4日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>－大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制について</li> <li>－令和6年能登半島地震における各支援チームの活動報告</li> <li>－大田圏域における難病患者等の個別支援(避難)計画の作成状況について</li> <li>－新たな島根県保健医療計画を踏まえた今後の取組について</li> </ul>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・新病院での災害対策のため、本部立ち上げ訓練を実施予定としている。</p> <p>&lt;加藤病院&gt; ・事業継続計画の見直しと訓練】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急対応計画として、新興感染症や自然災害などへのリスクに対する初動対応や復旧目標、各対応マニュアルを策定している。</li> <li>・シミュレーションと訓練を定期的におこなっている。新型コロナウイルス対応では、ゾーニング設定や院内感染対策部会と役割を明確化し、対応を行うことかできた。</li> <li>・感染症対策の強化として、ゾーニングやPPE装備内容など、定期的に見直しをおこない、クラスター防止に努めた。</li> <li>・リスクコミュニケーションの強化として、仁寿会iPhoneやオンライン（仁寿会Zoomrooms、グループウェア）による共有と、対面での共有を使い分け、リスクコミュニケーションの防止に努めた。</li> <li>・災害レジリエンス強化として、新病院では「電気・空調・生活用水」に関する対応は、発災後72時間まで自立できるように体制を整えている(島根県補助事業による支援)。食事・飲料水については、引き継ぎ川本町を連携し共同で備蓄できる体制づくりを協議している。</li> </ul> <p>&lt;大田市介護サービス事業者協議会&gt; ・介護施設・事業所では感染症、自然災害BCPの策定が義務化されており策定を行っている。定期的に研修や訓練を行い、定期的な見直しを実施。</p> <p>&lt;県民保健所衛生指導課&gt; ・島根県新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂(令和7年6月26日・県庁)</p> <p>&lt;県民保健所医事・難病支援課&gt;(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度大田地域災害保健医療福祉対策会議を開催し、以下の内容について協議した。(令和7年7月3日)</li> <li>－大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制について</li> <li>－医療機関における事業継続計画(BCP)の作成状況に関するアンケート調査結果報告</li> <li>－大田圏域における難病患者等の個別支援(避難)計画の作成状況について</li> <li>－透析施設における災害対策について(島根県臨床工学技士会 県央地区災害時情報コーディネーター 坂本純平氏より)</li> </ul>

第7章 保健医療従事者の確保・育成  
第1節 医師の確保・育成 [医師確保計画]

【大田圏域】

(1) 医師全体

	今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>① 島根大学や大田総合医教育センター等と連携し、引き継ぎ、地域で求められる総合診療医等の医師の養成・確保を図ります。</p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・引き継ぎ医師確保に努めている。 &lt;加藤病院&gt; 【広域的な地域医療支援体制の構築】 ・初期医師臨床研修地域医療推進プロジェクト、医療介護関連専門職学生の臨床実習（看護・セラピストほか）を適用し、多職種で連携し学べる環境を構築した。 &lt;大田市医療政策課&gt; ・島根大学への寄附により総合診療医の育成を図った。令和6年度専攻医3名 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>&lt;大田市医師会&gt; ・大田市立病院主催の研究会などには積極的に参加し、若手医師の育成と定着に向けて出来るだけ協力、支援を惜しまないスタンスを取っている。今後、15年後の大田市の開業医医師数は、減少はあっても増加は期待できないと目視されている。大田市立病院勤務の若手研修医師の地元への留付定着を最大限の目標としている。医師確保に向けて、現役全ての医師は日頃から「一杯」賞の高い医療の提供を志している。 &lt;加藤病院&gt; 【広域的な地域医療支援体制の構築】 ・初期研修医の地域実習、医学部学生地域医療臨床実習ほか、医療介護関連専門職学生の臨床実習（看護・セラピストほか）場所として広く人材を受け入れている。多職種で連携し学べる環境を構築した。 &lt;大田市地域医療推進課&gt; ・島根大学への寄附により総合診療医の育成を図った。令和7年度専攻医2名</p>	
<p>② しまね地域医療支援センター等と連携し、医師の組合せ、研修体制の充実支援等に取り組めます。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【職員成長支援】 ・仁春会メンバーカルスタツクスキャリアアップセンターによる職員成長支援として、勤務しながら（田舎にいなから）専門的な研修が受けられる体制を法人内外に向け構築した。法人内・大田市内・邑智部内介護事業所への出前研修やオンラインハイブリッド研修、また島根大学医学部クリニックカルスタツクスセンターと連携し、法人内外の医療介護関連専門職が都会地へ出張することなく、勤務する地域（田舎にいなから）で勤務しながら研修できる環境を構築した。（医療勤務環境改善） ・医療介護関連専門職働き方改革、DX推進として全職員への情報端末貸与による全体朝礼他各種会議のZoom開催を定着化させた。 ・リモートワーク体制の整備推進として、法人内医療介護総合カルテシステム・グループウェア・ファイル共有等のクラウドサービスを活用した。 &lt;大田市医療政策課&gt; ・しまね地域医療支援センターが実施する、地域枠推薦の医師への個別面談に同席し、地域の情報等の提供を行っている。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 ・県央保健所医事・難病支援課 ・保健所医師がしまね地域医療支援センター専任医師に就任し、同センターの各種取組について協力・支援等を行っている。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【職員成長支援】 ・仁春会メンバーカルスタツクスキャリアアップセンターによる職員成長支援として、勤務しながら（田舎にいなから）専門的な研修が受けられる体制を法人内外に向け構築した。法人内・大田市内・邑智部内介護事業所への出前研修やオンラインハイブリッド研修、また島根大学医学部クリニックカルスタツクスセンターと連携し、法人内外の医療介護関連専門職が都会地へ出張することなく、勤務する地域（田舎にいなから）で勤務しながら研修できる環境を構築している。 ・医療介護関連専門職働き方改革、DX推進として全職員への情報端末貸与による全体朝礼他各種会議のハイブリッド開催（対面・非対面Web）を定着化させた。 ・リモートワーク体制の整備推進として、法人内医療介護総合カルテシステム・グループウェア・ファイル共有等のクラウドサービスを活用した。 ・経済産業省実証事業「地域新Maas創出事業」はじめとする、オンライン診療によるモバイルヘルスケア（訪問診療・巡回診療・オンライン診療のtop・専用Maas車両によるDrivePrinth）を推進することで、タスクシフトウェアを積極的に推進し、医師の負担軽減に努めている。 &lt;大田市地域医療推進課&gt; ・しまね地域医療支援センターが実施する、地域枠推薦の医師への個別面談に同席し、地域の情報等の提供を行っている。 ・県央保健所医事・難病支援課 ・保健所医師がしまね地域医療支援センター専任医師に就任し、同センターの各種取組について協力・支援等を行っている。</p>	
<p>③ 地元中高生を対象とする医療セミナーを開催し、島根大学医学部地域枠推薦入試等への受験者の確保を図ります。</p>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・中高生の地域医療実習(医師・看護師)を積極的に受け入れていきます。 &lt;加藤病院&gt; 【体験学習機会の提供】 ・市内の学校(小～高校)など、実習や職業体験、また島根中央高とは、部活動・新開所や総合的な探究学習授業を通じて、医療介護関連専門職の仕事を知ってもらい、体験する機会を設定した。 ・島根県立大学「高校生と大学生がともに考える島根県川本町における地域医療構想プロジェクト」を通じ、地域枠推薦入試等への受験者の確保を図った。</p>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・中高生の地域医療実習(医師・看護師)を積極的に受け入れている。 &lt;加藤病院&gt; 【体験学習機会の提供】 協会の地域医療者の育成のため、産学連携として、矢上高校さま、島根県建設協会の地域医療推進協議会さまと連携し、新病院建設現場にて、まちづくりの観点も含め学びあう機会を作った。</p>	
<p>④ 全国の医学生を対象に、地域医療を支える中核病院等の特徴を学びながら、当直体験、診療所実習、義肢委員製作見学等を行うことができ、地域医療実習の受け入れを行います。</p>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・春季・夏季において受け入れを行っています。それぞれ2名受け入れ、救急当直実習も行っていきます。 &lt;加藤病院&gt; ・島根大学をはじめ広く他大学から学生実習を引き受けている 訪問診療、診療所・巡回診療実習、学校医・産業医活動など地域医療を支える当院の特徴を学んでいただいている。 &lt;大田市消防本部&gt; ・大田市立病院と連携を図り地域医療実習生(医学生)を消防本部で受け入れ、消防本部の業務説明、通信指令課での119入電の説明、実際に救急現場へ同乗実習を行い救急業務の理解を深めてもらった。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・令和6年度夏季地域医療実習(8月) 参加学生：島根大学医学部4名 実習施設：大田市立病院、医療法人社団悠伸会うめがえ内科クリニック、公立邑智病院、加藤病院、中村フレイズ株式会社 参加学生：募集2名 令和6年度春季地域医療実習(3月予定) 実習期間：令和7年3月4日～6日 実習施設：公立邑智病院、公立邑智病院附属市木診療所、加藤病院、中村フレイズ株式会社</p>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・春季・夏季において受け入れを行っている。 &lt;加藤病院&gt; 【フュールド学習体制】 島根大学をはじめ広く他大学から学生実習を引き受けている 訪問診療、診療所・巡回診療実習、学校医・産業医活動など地域医療を支える当院の特徴を学んでいただいている。 &lt;大田市消防本部&gt; ・今年度においても、大田市立病院と連携を図り地域医療実習生(医学生)を9番入電の説明、実際に救急現場への同乗実習、救急訓練を行うことで救急業務の理解を深めてもらった。 &lt;県央保健所医事・難病支援課&gt; ・令和7年度夏季地域医療実習(8月) 参加学生：島根大学2名、自治医科大学1名、横浜国立大学1名 実習施設：令和7年8月19日～21日 実習期間：令和7年8月19日～21日 参加学生：募集2名 令和7年度春季地域医療実習(3月実施予定) 実習期間：令和7年3月3日～5日 実習施設：公立邑智病院、加藤病院、中村フレイズ株式会社</p>	
<p>⑤ 地域枠の医学生・医師と市町担当者との関係づくりを目的とした意見交換会を継続して開催します。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【行政との連携強化】 ・川本町やしまね地域医療支援センターと連携し、学生との近況報告会への参加や、川本町の地域枠医師や当センター事業についての意見交換などを行った。 &lt;大田市医療政策課&gt; ・地域枠の医学生・医師・島根大学医師・市立病院医師・市長・市及び市立病院職員が参加し、関係作りを目的とした交流会を開催した。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>&lt;加藤病院&gt; 【行政との連携強化】 ・川本町やしまね地域医療支援センターと連携し、学生との近況報告会への参加や、川本町の地域枠医師や当センター事業についての意見交換などを行った。 &lt;大田市地域医療推進課&gt; ・地域枠の医学生・医師・島根大学医師・市立病院医師・市長・市及び市立病院職員が参加し、関係作りを目的とした交流会を開催した。</p>	
<p>⑥ 在宅医療を含む一次医療の確保に向けて、病院と診療所の連携強化や役割分担の明確化を図る等、具体的な取組について関係者間で議論を進めます。</p>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・地域連携室を中心に連携強化を行っています。 &lt;加藤病院&gt; 【大田圏域における広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会】 ・圏域の課題について協議を行った。 ・県央保健所医事・難病支援課 ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を新たに設置し、限りある医療・介護資源の中で、持続的にサービスを提供できる体制の構築に向けた意見交換を行った(準備会：令和6年8月27日、第1回：令和7年1月24日)</p>	<p>&lt;公立邑智病院&gt; ・地域連携室を中心に連携強化を行っている。 &lt;加藤病院&gt; 【大田圏域における広域的な医療提供体制の構築・連携に向けた意見交換会】 ・移動困難や事業継続可能性の課題解決提案として、経済産業省実証事業を活用した連携をおこなっている。 &lt;県央保健所地域包括ケア推進スタッフ&gt;(再掲) ・開業医を中心とした「在宅医療等に関する懇話会」を開催し、在宅における看取り、認知症を含む精神医療について、各医療機関の機能を踏まえた医療提供体制のあり方等について意見交換を行った。(第2回：令和7年7月4日、第3回：令和7年12月16日)</p>	

(2) 産科	今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
①	大田圏域でも少子化により分娩件数は減少していますが、大田市、邑智郡にそれぞれ1か所ずつ分娩取扱医療機関を維持することを目指します。		
②	産婦人科医師と助産師との協働、役割分担により、分娩取扱医師の負担軽減についても検討していきます。		

(3) 小児科	今後の方向性	令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
①	大田圏域（大田市・邑智郡）でも小児人口は減少していますが、子育て支援のためにも、大田市、邑智郡にそれぞれ1か所ずつ小児科のある病院を維持することを目指します。		<p>&lt;大田市地域医療推進課&gt; ・国民健康保険仁摩診療所所長に、小児外科・小児科専門医が着任した。</p>
②	小児科を標榜していない診療所でも必要な小児医療が提供できるように、都市医師会と連携して研修等の場を確保するとともに、病院と診療所の連携体制の維持・強化を図ります。		<p>&lt;大田市医師会&gt; ・大田市医師会での研修会が開催できない時は日本医師会主催のインターネットを利用した小児医療についての研修会に積極的に参加するよう全大田市医師会員に働きかける。</p>
③	子どもの病気等の電話相談窓口について住民への周知を継続し、保護者等の不安軽減を図るとともに、医療機関への患者の集中緩和に取り組みます。	<p>&lt;大田市医療政策課&gt; ・広報おおた、大田市ホームページに電話相談窓口の情報を掲載し周知を図った。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;川本町&gt; ・子どもの病気等の電話相談窓口について住民への周知を継続し、保護者等の不安軽減を図るとともに、医療機関への患者の集中緩和に取り組んでいる。 ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>&lt;大田市地域医療推進課&gt; ・広報おおた、大田市ホームページに電話相談窓口の情報を掲載し周知を図った。 ・川本町&gt; ・子どもの病気等の電話相談窓口について住民への周知を継続し、保護者等の不安軽減を図るとともに、医療機関への患者の集中緩和に取り組んでいる。 ・美郷町&gt; ・小児科・産婦人科オンライン相談窓口について、妊娠届出時や乳幼児訪問・相談時、就学時健診時等に保護者へ周知を行っている。利用者のリピーター率は7割強である。 ・豊央保健所医事・難病支援課&gt; ・救急医療体制確保への協力について、子ども医療電話相談#8000含め各市町の広報誌にて啓発した。（大田市：12月18日、川本町：12月20日、美郷町：1月、邑南町：1月、それぞれ全戸配布）</p>

第2節 薬剤師の確保・育成【薬剤師確保計画】【全県共通】

- (1) これまでの取組の継続  
(2) 新たな取組の検討

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田市立病院&gt; ・奨学金等を活用し、薬剤師の確保に取り組んでいる。 &lt;公立邑智病院&gt; ・今年度薬剤師が3名入職しました。薬剤師の職場としての魅力づくりに努めております。 &lt;加藤病院&gt; 【薬剤師の業務負担軽減】 ・監査や分包装務の負担を軽減 【大学薬学部へのリクルート】 ・広島国際大学薬学部への訪問をおこない、リクルート活動をおこなっている</p> <p>&lt;島根県薬剤師会大田支部&gt; ・薬学実習生受け入れ薬局による実務実習の実施。島根県薬剤師会主催による高校生セミナーへの薬剤師会大田支部役員への参加。今年度も島根県内の高校生や保護者などを対象とした高校生セミナーを開催いたしました。ここ数年はコロナの影響でオンラインでの開催でしたが、今年度は1月19日に、&lt;にびきマッセ&gt;で対面を実施しました。病院薬剤師や薬局薬剤師、卸や行政など現在活躍している薬剤師が各仕事内容などを説明し、質疑応答、個別にイースカレッジを行いました。また中国、四国を中心に各大学から参加していただき個別相談をしました。</p> <p>&lt;県立保健所衛生指導課&gt; ・(1) 薬剤師奨学金返還助成制度に未参加の医療機関1件及び薬局7件あて制度周知し参加を促したところ、医療機関1件の参加があった。 ・(2) 新たに薬剤師派遣事業が創設された(県庁) ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。</p>	<p>&lt;大田市立病院&gt; ・新たに創設された県の薬剤師派遣事業により1名を受入。 &lt;公立邑智病院&gt; ・薬剤師名体制で、病棟活動を充実させている。薬剤師の職場としての魅力づくりに努めている。 ・認定実務実習指導薬剤師の認定を取得し、19年度から薬学部学生の実習受け入れができるよう進めています。 &lt;加藤病院&gt; 【大学薬学部へのリクルート】 ・広島国際大学薬学部への訪問をおこない、リクルート活動をおこなっている。 【事業の活用協議】 ・島根県病院薬剤師派遣事業の活用を協議している。(令和8年度以降の派遣について島根県中央病院さまと協議継続)</p> <p>&lt;島根県薬剤師会大田支部&gt; ・前年度と同内容を実施。 ・今年度は初めて大田で薬剤師体験やことも薬剤師を準施。 ・島根県入就職希望の大学生の庄舖見学を実施。実際に動いている薬剤師と話の場を設け、島根県大田市で働くイースカレッジがしやすいようにした。 &lt;県立保健所衛生指導課&gt; ・(1) (2) 県庁にて取り組みを継続中。各取り組みに関する情報を所内掲示等により来客者へ周知。</p>

第3節 その他の保健医療従事者の確保・育成【全県共通】

- (1) 看護職員  
(2) 歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士  
(3) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士  
(4) 管理栄養士・栄養士  
(5) 診療放射線技師、臨床検査技師、視能訓練士、臨床工学技士、義肢装具士等  
(6) 医療従事者の勤務環境改善

令和6年度の取組・成果	令和7年度の取組・成果
<p>&lt;大田市医師会&gt; ・看護師の確保は自治体の責務であり、医師会からの地元自治体への働きかけを続ける。潜在看護師の掘り起こしと、ハローワークの活性化を求めていく。 &lt;大田市医師会&gt;(再掲) ・日本医師会やその他の団体と今後の医療供給体制について検討して医師の偏在に対する良識ある、出来るだけ早い対応を願っている。医師偏在問題は、フランスをはじめ世界的な問題であり、奨学金支給制度、一定期間の収入や、休暇の確保、代診医派遣制度など複合した対策が必要と思われる。大田市医師会としても、可能な範囲内で行政や各関係機関などこの事について包括的に検討、協力する。 &lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・(2) 歯科診療所の後継者不足は課題ですが、個人や歯科医師会のみでの活動には限界があります。また歯科衛生士・歯科技工士についても若い人が特に不足傾向です。(少なくとも)歯科技術専門学校への進学を働きかける機会が増えること。また現在歯科医療従事者として就労していない人の情報を得られる仕組みづくりが必要かと思えます。 &lt;大田市立病院&gt; ・修学資金貸与制度等を活用し、看護師の確保に取り組んでいる。 &lt;公立邑智病院&gt; ・(5) 臨床検査技師の確保に注力しています。 ・(6) 臨床検査技師の確保が集えるラウンジを設置し、昼食時ににぎわっています。また医療DXを進め医療従事者負担軽減につながっています。 &lt;加藤病院&gt; 【専用求人サイトの活用】 ・従来の専門学部等へのリクルート訪問に加え、専用求人サイトへの登録をおこない確保に努めた。 【SNSの活用】 ・法人公式インスタグラムを開設した。日常の職場の雰囲気やスピード感のある情報発信をおこない、仁寿会を知っていたく機会を拡大させた。 &lt;島根県看護協会大田支部&gt; ・島根県看護協会ナースセンターと協賛し、進学ガイダンスに参加した。仁寿高校、島根中央高校において看護のシフトや看護の魅力、やりがいについてPRした。大田高校文化祭に参加し、看護職のPR活動を行った。新人看護師の実践の様子などのポスターを掲示し、学生、教員、保護者の皆さんにも看護の仕事を啓発した。</p> <p>&lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・大田圏域歯科保健等従事者交流会への協力。 &lt;大田市医療政策課&gt; ・石見高等看護学院の地域枠推薦3名(合格) ・令和7年度の予定・方針等：継続して実施。 &lt;美郷町&gt; ・町定住ポイント制度に有資格者ポイントを設け、不足する看護師が関係機関に就職された場合ポイントを付与する。(町内機関1,00万ポイント、町外機関30万ポイント) ・令和7年度の予定・方針等：左記事業について継続・一部拡充の予定。 &lt;邑南町&gt; ・町内医療福祉事業所での通年でのインターンシップ事業(19回の申込) ・県立天上高校に対するアプローチ ・町内で勤務する医療福祉従事者の職の魅力伝える「医療福祉交流会」を開催(3月4日開催予定) ・医療福祉系の進学・就職者に対する卒業式前の激励会開催(2月28日開催予定) ・医療福祉人材確保コーナー(現在51名登録) ・医療福祉従事者人材確保バンク(現在61名登録) ・令和7年度の予定・方針等：引き続き実施予定。</p>	<p>&lt;大田邑智歯科医師会&gt; ・歯科診療所の後継者不足は課題だが、個人や歯科医師会のみでの活動には限界がある。また歯科衛生士・歯科技工士についても若い人が特に不足傾向。歯科技術専門学校等への進学を働きかける機会が増えることや現在歯科医療従事者として就労していない人が復職できる仕組みづくりが必要。 &lt;大田市立病院&gt; ・修学資金貸与制度の活用や県内の養成校への訪問活動など、看護師確保に取り組んでいる。 &lt;公立邑智病院&gt; ・臨床検査技師の確保に注力し、新たに2名が着任。1名が来年度採用できる見込み。確保専任職員を中心に、不足している職種確保に今後取り組む。 &lt;加藤病院&gt; 【SNSの活用】 ・法人公式インスタグラムを開設した。日常の職場の雰囲気やスピード感のある情報発信をおこない、仁寿会を知っていたく機会を拡大させた。 ・島根県訪問看護ナースセンターが協賛し、進学ガイダンスに参加した。仁寿高校、島根中央高校において看護のシフトや看護の魅力、やりがいについてPRした。大田高校文化祭に参加し、看護のPRを行った。 ・県立看護専門学校にPRを行う活動を開始した。PRを強化していきたい。 &lt;大田地区歯科衛生士会&gt; ・歯科衛生士の確保・育成に特化した取組は行っていないが、地域活動や研修情報の共有を通じ、歯科衛生士の質向上と継続的な活動支援を図っている。</p> <p>&lt;大田市地域医療推進課&gt; ・石見高等看護学院の地域枠推薦1名(合格) &lt;美郷町&gt; ・有資格者ポイント(町内機関看護師3名) &lt;邑南町&gt; ・町内医療福祉事業所での通年でのインターンシップ事業(9名の申込) ・県立天上高校に対するアプローチ ・町内で勤務する医療福祉従事者の職の魅力伝える「医療福祉交流会」を開催(3月開催予定) ・医療福祉系の進学・就職者に対する卒業式前の激励会開催(2月27日開催予定) ・医療福祉人材確保コーナー(7:6名が町内就職) ・医療福祉従事者人材確保バンク(現在66名登録)</p>

## 紹介受診重点医療機関について

### 紹介受診重点医療機関の概要



# 令和7年度外来機能報告（暫定版）

（注）暫定版のため今後修正される可能性があります

- 大田市立病院は、令和6年度報告においても紹介受診重点外来の患者割合の基準を満たしていたが、患者負担の増加等を考慮し、紹介受診重点医療機関となる意向は示されなかった  
⇒ 今回も引き続き、意向なし

医療機関施設名	医療機関種別	紹介受診重点医療機関となる意向の有無	紹介率 (%)	逆紹介率 (%)	初診の外来の患者延べ数 1年間	うち、初診の紹介受診重点外来の患者延べ数	初診の紹介受診重点外来の患者割合	再診の外来の患者延べ数	うち、再診の紹介受診重点外来の患者延べ数	再診の紹介受診重点外来の患者割合
大田市立病院	病院	0	17.8	61.7	8227	4026	48.9	58263	16791	28.8
加藤病院	病院	0	3.2	0.2	1032	110	10.7	14381	1052	7.3
公立邑智病院	病院	0	39.6	54.2	6194	1048	16.9	29816	5991	20.1
大田呼吸循環クリニック	有床診療所	0	0	0	1218	34	2.8	12221	295	2.4
福田医院	有床診療所	0	0	0	1210	42	3.5	20845	893	4.3
医療法人社団 賢宏会 上垣医院	有床診療所	0	17.3	0	1880	162	8.6	33137	498	1.5
ふじわら眼科クリニック	有床診療所	0	0	0	2251	238	10.6	26485	1223	4.6

## 紹介受診重点医療機関に関する協議

- 紹介受診重点医療機関となる意向を有する医療機関がないため、大田圏域において紹介受診重点医療機関を担う医療機関はなしとしてよいか。

※参考（県医療政策課HP）  
島根県内の紹介受診重点医療機関

令和7年4月1日

都道府県番号	都道府県名	医療機関名称	医療機関住所	電話番号	公表日	廃止日	保険医療機関コード	一般病床数 200床以上*	備考
32	島根県	松江赤十字病院	島根県松江市母吉町200	0852-24-2111	令和5年8月1日		3210110049	○	
32	島根県	松江市立病院	島根県松江市乃白町32-1	0852-60-8000	令和5年8月1日		3210113738	○	
32	島根県	総合病院松江生協病院	島根県松江市西津田0-8-8	0852-23-1111	令和5年8月1日		3210111773	○	
32	島根県	独立行政法人国立病院機構 松江医療センター	島根県松江市上乃木5-8-31	0852-21-6131	令和5年8月1日		3215010012	○	
32	島根県	独立行政法人地域医療機能推進機構玉造病院	島根県松江市玉造町1-2	0852-62-1560	令和6年4月1日		3211110030	○	
32	島根県	島根大学医学部附属病院	島根県出雲市塩治町09-1	0853-23-2111	令和5年8月1日		3215010046	○	
32	島根県	島根県立中央病院	島根県出雲市坂原4丁目1-1	0853-22-5111	令和5年8月1日		3210412015	○	
32	島根県	独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター	島根県浜田市浅井町777-12	0855-25-0505	令和5年8月1日		3215010053	○	
32	島根県	益田市立病院	島根県益田市乙吉町103番地1	0856-22-1480	令和5年8月1日		3210810036	○	
32	島根県	公益社団法人 益田市医師会立 益田地域医療センター-医師会病院	島根県益田市通田町1917番地2	0856-22-3611	令和5年8月1日		3210810754		

## 医療機器の共同利用計画について

---

### 1. 概要

- 医療機器の効率的な活用を図るため、[医療機関が新規に医療機器を購入する場合は、共同利用計画書の提出を求め、協議の場において確認を行う](#)
- また、共同利用を行わない場合については、共同利用を行わない理由について協議の場で確認する
- 対象とする医療機器は、CT・MRI・PET（PET-CT含む）・マンモグラフィー・放射線治療装置（リニアック・ガンマナイフ等）  
(島根県保健医療計画 第5章 第3節 外来医療に係る医療提供体制の確保〔外来医療計画〕)

### 2. 今年度の提出状況

- 令和7年度においては、現時点では、医療機関から共同利用計画書の提出はなし。  
今後購入予定の医療機関があるため、[次年度確認予定](#)

## 大田圏域地域保健医療対策会議 医療・介護連携部会運営要領 (案)

## (目的)

第1条 「医療介護総合確保推進法」の成立により、病院、有床診療所における病床機能報告制度、県による地域医療構想の策定が制度化され、地域包括ケアシステムの構築を見据えて、医療と介護の一層の連携が求められている。

併せて、消費税増収分を財源として、医療・介護サービスの提供体制改革を推進するための新たな財政支援制度が創設されたところである。

このため、大田圏域の医療・介護サービスの提供体制に関する情報共有・意見交換の場として、「大田圏域地域保健医療対策会議」に「医療・介護連携部会」（以下「部会」という。）を設置する。

## (所掌事務)

第2条 部会は、次に掲げる事項について情報共有、意見交換等を行う。

- (1) 大田圏域の医療・介護サービスの提供体制に関すること。
- (2) 新たな財政支援制度に対する圏域内の要望事項に関すること。
- (3) その他、圏域内の医療と介護の連携に関すること。

## (組織)

第3条 部会の委員は、地域の病院、市郡医師会、市町、介護サービス事業者の代表者等及び保健所長をもって構成することとし、別表のとおりとする。

2 必要に応じ、その他の関係者を参加させることができる。

## (運営)

第4条 部会は、必要に応じ、県央保健所長が招集し開催する。

## 附則

この要領は、平成26年9月2日から施行する。

この要領は、令和1年11月28日から施行する。

この要領は、令和5年3月1日から施行する。

この要領は、令和6年6月25日から施行する。

この要領は、令和8年 月 日から施行する。

別表

大田市医師会
邑智郡医師会
大田邑智歯科医師会
島根県薬剤師会大田支部
大田市立病院
公立邑智病院
加藤病院
石東病院
島根県訪問看護ステーション協会大田支部
大田地域介護支援専門員協会
邑智郡老人福祉施設協議会
大田市介護サービス事業者協議会
健康保険組合連合会島根連合会
大田市 地域医療推進課
大田市 介護保険課
川本町 健康福祉課
美郷町 健康福祉課
邑南町 医療福祉政策課
邑南町 保健課
<b>邑智郡総合事務組合 介護保険課</b>

## へき地医療重点支援地区の指定について

## 1 へき地医療重点支援地区の概要

- ・ 中山間地域・離島では、診療医師の高齢化による診療所の閉院に加え、住民の高齢化や公共交通機関の減便等により医療機関へのアクセスが困難になるなど、医療体制の維持が課題となっている
- ・ このような地域では、地域医療拠点病院が診療所への代診医の派遣や無医地区への巡回診療等を行っており、重要な役割を担っている現状がある
- ・ 県は、特に医療サービスが不足しているエリアをへき地医療重点支援地区に指定し、当該地区で活動する地域医療拠点病院を支援することで、地域の医療提供体制を確保する

## 2 地域医療拠点病院への支援内容

- ・ ハード支援（令和6年度～）  
中山間地域（重点支援地区）の医療を支える地域医療拠点病院の設備整備を国の医療施設等設備整備費補助金を活用して支援

○対象者	重点支援地区において無医地区等を支援する 150 床未満の地域医療拠点病院
○対象経費	地域医療拠点病院として必要な医療機器購入経費
○補助率	国 1/2 県 1/2
○基準額	55,000千円/か所

- ・ ソフト支援（令和5年度～）  
中山間地域（重点支援地区）において、地域医療拠点病院が新たに実施する以下の取組について、国の医療施設運営費等補助金を活用して支援

○対象者	重点支援地区において新たな取組を実施する地域医療拠点病院
○対象経費	無医地区等への巡回診療、へき地診療所等へ医師派遣等の診療に必要な経費
○補助率	国 1/2 県 1/2
○基準額	活動内容ごとに基準額あり、赤字部分（不採算）が支援対象

## 3 令和7年度におけるへき地医療重点支援地区の指定

川本町、美郷町（社会医療法人仁寿会 加藤病院を支援）

## (1) 県指定日

令和7年10月15日

## (2) 指定理由及び支援理由

- ・ 医療機関が限られ医療サービスが不足しており、地域外の医療機関から遠距離
- ・ 加藤病院は、当該地域において、へき地診療所への医師等の派遣に加え、医療用 MaaS 車両を用いた遠隔診療に取り組む等、地域医療の確保に注力している

※令和7年7月9日から16日まで書面により開催した第1回大田圏域地域保健医療対策会議  
医療・介護連携部会におい合意済み

## 新たな地域医療構想について

### 新たな地域医療構想に関するとりまとめの概要

令和 6 年 12 月 18 日 第 114 回 社会 保 障 審 議 会 医 療 部 会 資 料 1	
<b>新たな地域医療構想に関するとりまとめの概要</b>	
<b>資料 3</b>	
※令和 6 年 12 月 18 日 新 た な 地 域 医 療 構 想 等 に 関 す る 検 討 会 報 告 書 より 作 成	
<b>医療提供体制の現状と目指すべき方向性</b>	
<p>85歳以上の増加や人口減少がさらに進む2040年とその先を見据え、全ての地域・世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院し、日常生活に戻ることができ、同時に、医療従事者も持続可能な働き方を確保できる医療提供体制を構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「治す医療」と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護提供体制を構築</li> <li>・外来・在宅、介護連携等も新たな地域医療構想の対象とする</li> </ul>	
<b>新たな地域医療構想</b>	
<p>① <b>(1) 基本的な考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2040年に向け、外来・在宅、介護との連携、人材確保等も含めたあるべき医療提供体制の実現に資するよう策定・推進 (将来のビジョン等、病床だけでなく医療機関機能に着目した機能分化・連携等)</li> <li>・新たな構想は27年度から順次開始 (25年度に国でガイドライン作成、26年度に都道府県で体制全体の方向性や必要病床数の推計等、28年度までに医療機関機能に着目した協議等)</li> <li>・新たな構想を医療計画の上位概念に位置付け、医療計画は新たな構想に即して具体的な取組を進める</li> </ul> <p>② <b>(2) 病床機能・医療機関機能</b></p> <p>① 病床機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの「回復期機能」について、その内容に「高齢者等の急性期患者への医療提供機能」を追加し、「包括期機能」として位置づけ</li> </ul> <p>③ ② 医療機関機能報告 (医療機関から都道府県への報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構想区域ごと(高齢者救急・地域急性期機能、在宅医療等連携機能、急性期拠点機能、専門等機能)、広域な観点(医療及び広域診療機能)で確保すべき機能や今後の方向性等を報告</li> </ul> <p>④ ③ 構想区域・協議の場 ⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて広域な観点での区域や在宅医療等のより狭い区域で協議 (議題に応じ関係者が参画し効率的・実効的に協議)</li> </ul>	<p><b>(3) 地域医療介護総合確保基金</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関機能に着目した取組の支援を追加</li> </ul> <p><b>(4) 都道府県知事の権限</b></p> <p>① 医療機関機能の確保 (実態に合わない報告見直しの求め)</p> <p>② 基準病床数と必要病床数の整合性の確保等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要病床数を超えた増床等の場合は調整会議で認められた場合に許可</li> <li>・既存病床数が基準病床数を上回る場合等には、地域の实情に応じて、必要な医療機関に調整会議の出席を求める</li> </ul> <p><b>(5) 国・都道府県・市町村の役割</b></p> <p>① 国(厚労大臣)の責務・支援を明確化 (目指す方向性・データ等提供)</p> <p>② 都道府県の取組の見える化、調整会議で調った事項の実施に努める</p> <p>③ 市町村の調整会議への参画、地域医療介護総合確保基金の活用</p> <p><b>(6) 新たな地域医療構想における精神医療の位置付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神医療を新たな地域医療構想に位置付けることとする</li> </ul>

## 新たな地域医療構想

### ①基本的な考え方

- 2040年に向けて、病床の機能分化・連携だけでなく、外来医療・在宅医療、介護との連携、人材確保等も含めたあるべき医療提供体制の実現に資するよう、新たな地域医療構想を策定・推進
- 2025（令和7）年度に国で新たな地域医療構想の策定・推進にかかるガイドラインを検討・作成し、都道府県において、医療機関からの報告データ等を踏まえながら、2026（令和8）年度に地域の医療提供体制全体の方向性、必要病床数の推計当を検討・策定
- 新たな地域医療構想については、医療計画の上位概念として位置付け、医療計画については、その実行計画（6年間、一部3年間）として、新たな地域医療構想に即して、5疾病・6事業、在宅医療、外来医療、医師確保、医師以外の医療従事者確保等の具体的な取組を定める  
その際、これまでと同様、介護保険事業支援計画等の各種計画との整合性を図ることが適当

令和7年8月27日 鳥根の地域包括ケアセミナー2025鳥根県医療政策課資料を一部改変

## 新たな地域医療構想

### ②病床機能

- 病床機能区分のうち、これまでの「回復期機能」について、2040年に向けて増加する高齢者救急等の受け皿として急性期と回復期の機能をあわせもつことが重要となること等を踏まえ、「包括期機能」として位置づけ

### ③医療機関機能報告

- 新たに、医療機関（病床機能報告の対象となる医療機関）から都道府県に対して医療機関機能を報告する仕組みを創設

二次医療圏当を基礎とした構想区域ごとに確保すべき医療機関機能

- ・ 高齢者救急・地域急性期機能
- ・ 在宅医療等連携機能
- ・ 急性期拠点機能
- ・ 専門等機能

広域な観点で確保すべき医療機関機能

- ・ 医育及び広域診療機能

医療機関がこれらの医療機関機能を確保していること、今後の方向性等について報告する

令和7年8月27日 鳥根の地域包括ケアセミナー2025鳥根県医療政策課資料を一部改変

## 新たな地域医療構想

### ④構想区域

- 引き続き二次医療圏を基本としつつ、必要に応じて構想区域を見直すことが適当
- また、広域的な観点での区域については、都道府県単位（必要に応じて三次医療圏）で、在宅医療等については必要に応じて二次医療圏より狭い区域での議論が必要であり、地域の医療及び介護資源等の実情に応じて、市町村単位や保健所圏域等、在宅医療等に関する、より狭い区域を設定することが適当

### ⑤調整会議

- 地域医療構想調整会議には、議題に応じて、医療関係者、介護関係者、保険者、都道府県、市町村等の必要な関係者参画して、医療機関の経営状況等の地域の実情も踏まえながら、実効性のある協議を実施することが重要
- 一方、地域においては、調整会議を含む多くの会議が開催されていることを踏まえ、既存の会議の活用や合同で開催するなど、都道府県や参加者に過重な負担が生じないよう効率的に開催することが適当

令和7年8月27日 鳥根の地域包括ケアセミナー2025鳥根県医療政策課資料を一部改変

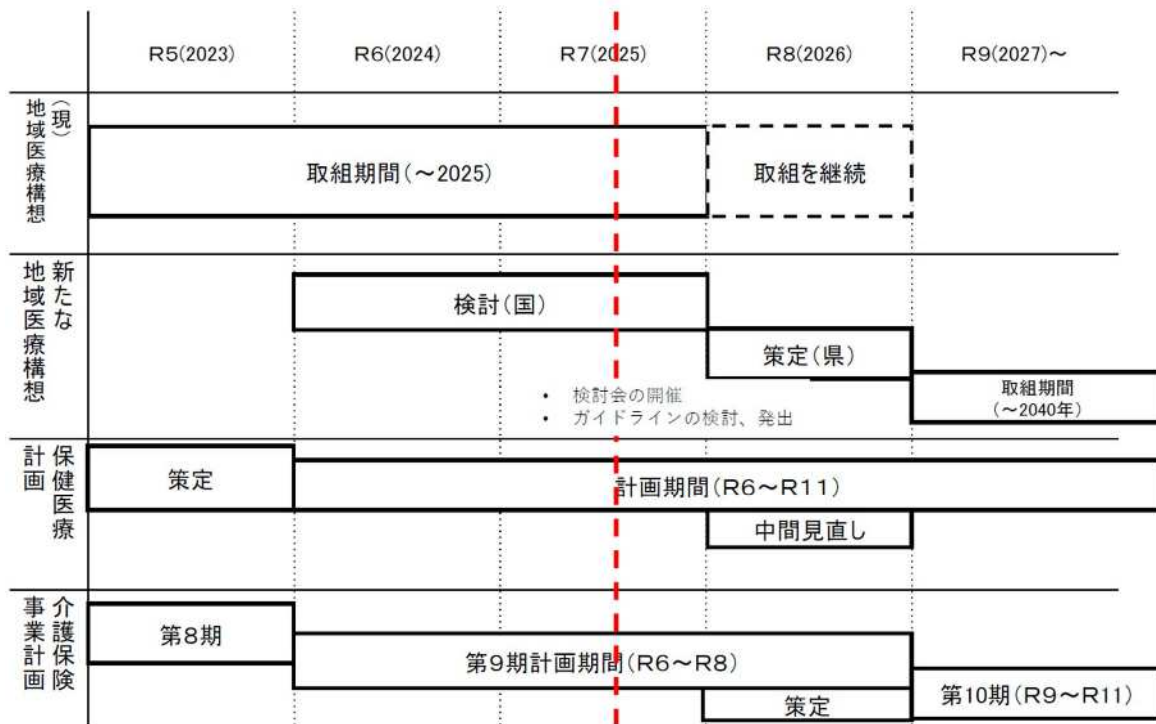
## 新たな地域医療構想

### ⑥新たな地域医療構想における精神医療の位置づけ

- 現行の地域医療構想では精神病床は必要病床数の推計や病床機能報告の対象となっていないが、「新たな地域医療構想において精神医療を位置付ける場合の課題等に関する検討プロジェクトチーム」において、これまでの精神医療に関する施策等を踏まえ、新たな地域医療構想において精神医療を位置付ける場合の課題等について検討が行われ、報告書が取りまとめられた
- 新たな地域医療構想においては、2040年頃を見据え、入院医療だけでなく、外来・在宅医療、介護・障害福祉との連携等を含む、医療提供体制全体の地域医療構想とする方向で検討を進めており、地域の医療提供体制全体の中には、精神医療も含めて考えることが適当

令和7年8月27日 鳥根の地域包括ケアセミナー2025鳥根県医療政策課資料を一部改変

## 新たな地域医療構想のスケジュール



令和7年8月27日 島根の地域包括ケアセミナー2025島根県医療政策課資料を一部改変

## かかりつけ医機能報告について

# かかりりつけ医機能が発揮される制度の目的・枠組み

令和5年9月29日 第102回社会保障審議会医療部会 資料1

## かかりつけ医機能が発揮される制度整備

### 趣旨

- かかりつけ医機能については、これまで医療機能情報提供制度における国民・患者への情報提供や診療報酬における評価を中心に取られてきた。一方で、医療計画等の医療提供体制に関する取組はこれまで行われていない。
- 今後、複数の慢性疾患や医療と介護の複合ニーズを有することが多い高齢者の更なる増加と生産年齢人口の急減が見込まれる中、地域によって大きく異なる人口構造の変化に対応して、「治す医療」から「治し、支える医療」を実現していくためには、これまでの地域医療構想や地域包括ケアの取組に加え、かかりつけ医機能が発揮される制度整備を進める必要がある。
- その際には、国民・患者から見て、一人ひとりが受ける医療サービスの質の向上につながるものとする必要があることから、
  - ・ 国民・患者が、そのニーズに応じてかかりつけ医機能を有する医療機関を適切に選択できるための情報提供を強化し、
  - ・ 地域の実情に応じて、各医療機関が機能や専門性に応じて連携しつつ、自らが担うかかりつけ医機能の内容を強化することで、地域において必要なかかりつけ医機能を確保するための制度整備を行う。

### 概要

**(1) 医療機能情報提供制度の刷新（令和6年4月施行）**

- ・ かかりつけ医機能（「身近な地域における日常的な診療、疾病の予防のための措置その他の医療の提供を行う機能」と定義）を十分に理解した上で、自ら適切に医療機関を選択できるように、医療機能情報提供制度による国民・患者への情報提供の充実・強化を図る。

**(2) かかりつけ医機能報告の創設（令和7年4月施行）**

- ・ 慢性疾患を有する高齢者その他の継続的に医療を必要とする者を地域で支えるために必要なかかりつけ医機能（①日常的な診療の総合的・継続的の実施、②在宅医療の提供、③介護サービス等との連携など）について、各医療機関から都道府県知事に報告を求めるとする。
- ・ 都道府県知事は、報告をした医療機関が、かかりつけ医機能の確保に係る体制を有することを確認し、外来医療に関する地域の関係者との協議の場に報告するとともに、公表する。
- ・ 都道府県知事は、外来医療に関する地域の関係者との協議の場で、必要な機能を確保する具体的方策を検討・公表する。

**(3) 患者に対する説明（令和7年4月施行）**

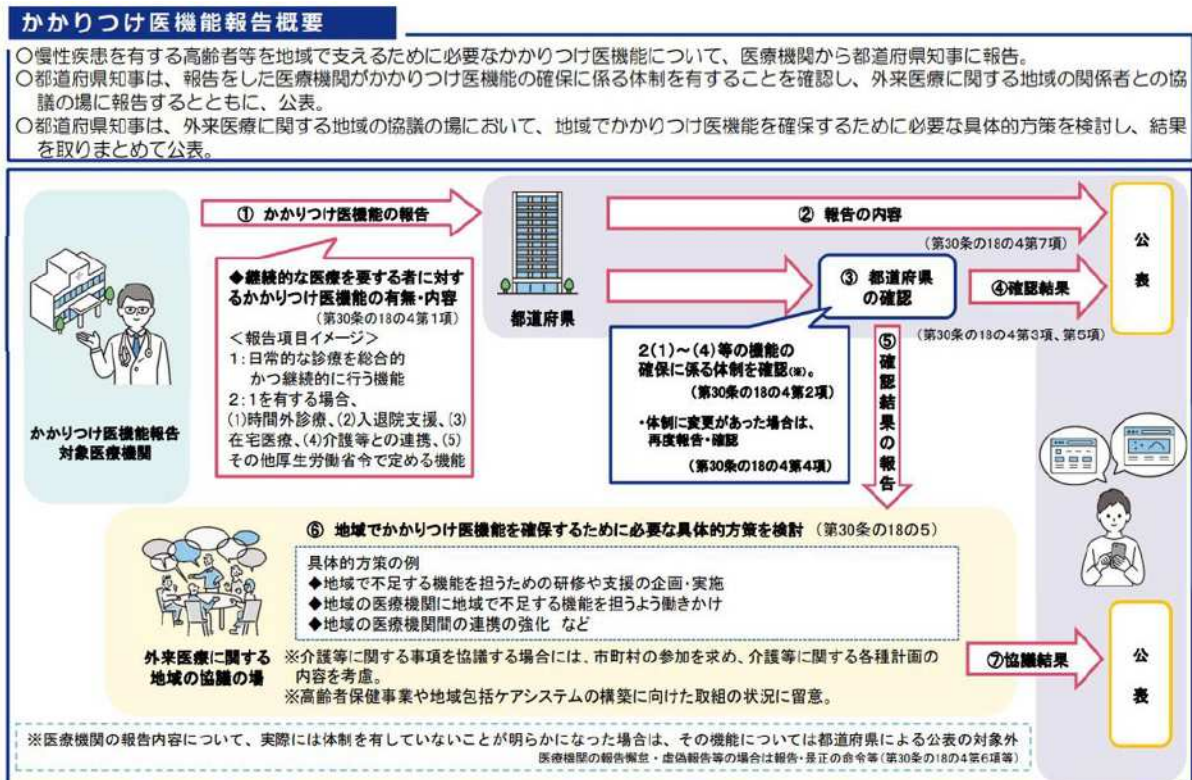
- ・ 都道府県知事による（2）の確認を受けた医療機関は、慢性疾患を有する高齢者に在宅医療を提供する場合など外来医療で説明が特に必要な場合であって、患者が希望する場合に、かかりつけ医機能として提供する医療の内容について電磁的方法又は書面交付により説明するよう努める。

今回の法改正による制度整備の目的

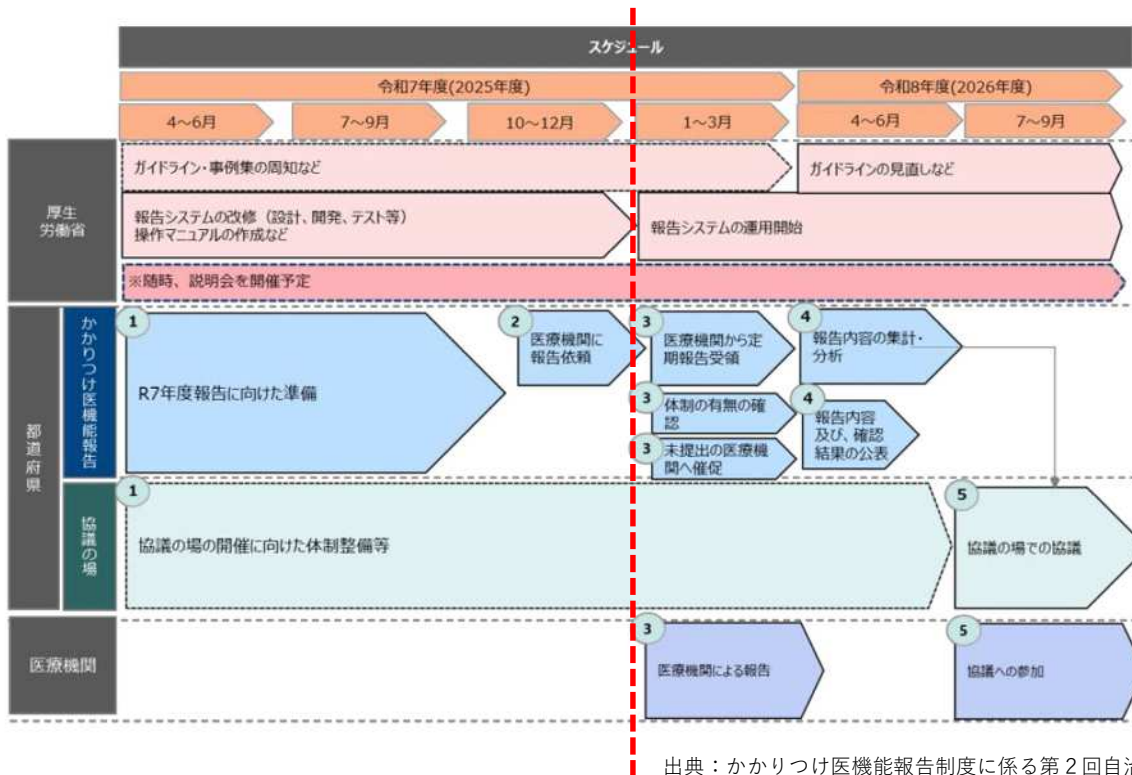
今回の法改正による制度整備の枠組み

「かかりつけ医機能が発揮される制度の施行に向けた議論の整理」より抜粋

## かかりりつけ医機能報告の概要



## かかりりつけ医機能報告制度施行後のスケジュール



出典：かかりつけ医機能報告制度に係る第2回自治体向け説明会  
令和7年1月31日資料

「かかりつけ医機能の確保に関するガイドライン」より抜粋

## かかりりつけ医機能の協議について

### 協議の目的

- かかりつけ医機能報告により収集したデータ等によって明らかとなった医療・介護資源の実情や地域で不足するかかりつけ医機能に係る課題について、地域における医療関係者や市町村等とも認識を共有しながら、地域で不足するかかりつけ医機能を確保するための具体的方策について検討を行う

### ※地域医療構想調整会議との関係について

- 対象区域が一致する場合には、当該構想区域等における協議の場を活用することができる
- 新たな地域医療構想においては、2040年を見据え、外来・在宅医療、介護との連携等を含む地域における将来の医療提供体制全体の課題解決をするものとしている  
外来医療・在宅医療については、かかりつけ医機能報告や外来機能報告等のデータを基に、地域の外来・在宅・介護連携などに関する状況や将来の見込みを整理して課題を共有し、地域において必要なかかりつけ医機能の確保・強化等、必要な外来医療・在宅医療の提供のための取組を行うこととしている

「かかりつけ医機能の確保に関するガイドライン」より抜粋

## 在宅医療等に関する懇話会 開催要綱

## 1. 目的

- 平成 28 年に策定した「島根県地域医療構想」に基づき、病床機能の分化・連携及び在宅医療の推進に向けて取組を進めているところである。
- 大田圏域では、2025 年の必要病床数と比較して慢性期病床が不足していることや、在宅医療を主に担う診療所が減少していること等を踏まえ、長期療養を必要とする高齢患者への医療提供体制の在り方について具体的な検討を行う必要がある。
- そこで、在宅医療を実施している医師等による懇話会を開催し、限りある医療・介護資源の中で、持続的にサービスを提供できる体制の構築に向けた意見交換を行う。

## 2. 検討事項

- (1) 医療機関間や介護サービス事業所との情報連携について
- (2) 急変時対応及び看取りに関する体制の整備について
- (3) 病院と診療所との役割分担について
- (4) その他、在宅医療等の提供体制の構築に必要な事項について

## 3. 構成

- (1) 構成員は次のとおりとする。(五十音順)
  - 梅枝 伸行 (医療法人社団悠伸会 うめがえ内科クリニック)
  - 川上 興一 (医療法人社団橘林堂 川上医院)
  - 木島 庸貴 (木島医院)
  - 河野 圭一 (河野医院)
  - 合原 儀行 (医療法人社団 合原医院)
  - 福田 直樹 (医療法人社団 福田医院)
  - 三上 博信 (医療法人徳祐会 三上医院)
- (2) 大田市立病院、公立邑智病院、社会医療法人仁寿会 加藤病院及び特定医療法人 恵和会 石東病院の地域連携部門、並びに各市町医療担当課にオブザーバーとして出席を求める。
- (3) 必要に応じて、上記のほか関係者の出席を求める。

## 4. 運営

- (1) 懇話会の進行は、構成員が持ち回りで担当する。
- (2) 庶務は、県央保健所において処理する。

## 5. その他

- (1) 期間は令和 6 年度から令和 8 年度までの 3 年間とし、年 2 回程度開催する。
- (2) 必要に応じて、検討状況等を各郡市医師会等に報告する。

## 在宅医療・介護連携に係る取組（在宅医療等に関する懇話会）について

### （検討内容）

#### ○令和6年8月27日(火) 在宅医療等に関する懇話会 準備会

- (1) 医療機関間や介護サービス事業所との情報連携
- (2) 急変時対応及び看取りに関する体制整備
- (3) 病院と診療所との役割分担

#### ○令和7年1月24日(金) 第1回在宅医療等に関する懇話会

- (1) 多職種連携の取組  
－みかめの輪プロジェクトについて
- (2) まめネットを活用した情報連携事例
- (3) 高齢者施設における看取り
- (4) 各市町及び保健所での在宅医療等に関する取組状況

#### ○令和7年7月14日(月) 第2回在宅医療等に関する懇話会

- (1) 在宅における看取り  
－本人の意向確認の実際と本来のあり方  
－市町のツールの活用やACPの普及
- (2) 在宅医療に関する課題・力を入れるべき事柄

#### ○令和7年12月16日(火) 第2回在宅医療等に関する懇話会

- (1) 認知症を含む精神科医療への対応
- (2) 各医療機関の機能を踏まえた医療提供体制のあり方

### 【主な意見】

#### ○急変時対応及び看取りに関する体制の整備～病院と診療所との役割分担について～

- －看取りの希望があれば24時間体制で待機しているが、今後、看取り件数を増やすのであれば、輪番制などの仕組みを考える必要がある。
- －在宅医療を行う上で、急変時に患者を入院させるためのバックアップ機能を持つ医療機関の存在は重要であるが、その役割を担うためには、入退院連携を円滑にして病床の回転率を上げる必要がある。

#### ○多職種連携の取組について

- －医療機関内でまめネット活用への理解が得られないこともあるが、業務負担の軽減や多職種連携のメリット等を説明できるとよい。

#### ○高齢者施設における看取り

- －施設によっては、看護師不足のため介護職員による初期対応が必要となり看取り自体が困難。また、急変や看取りに備え、施設入所時に本人の意向を確認しておくことが重要。
- －病院での急性期治療中は、患者の意向を確認することが難しいため、かかりつけ医が在宅で診ている患者の思いを病院へ伝えることが大事。

#### ○在宅における看取りについて

- －老老介護の増加から介護力低下により在宅看取りが困難な現状。在宅での看取りは増えてはいないが、本人の意向に沿った看取りができるようソフト面を充実させ、支援することが大事。そのためにはACPの考え方や普及は必要だが、かかりつけ医として各市町作成のツールの活用までには至っていない。
- －ACPについては、元気なうちに家族と話し合っておくことが1度あるだけで違う。年齢の区切りのタイミング（75歳など）を狙ってリスクマネジメントとして考え、広める仕掛けづくりが必要。
- －在宅での看取りは、病院と在宅との連携が必要。条件がそろえば自宅に帰りたいという希望があれば、地域側は対応していきたい。

#### ○各市町及び保健所での在宅医療等に関する取組状況

- －在宅を支える関係者との顔の見える関係づくりは大切。できるだけその敷居を低くして交流ができるようになれば良い。

#### ○認知症を含む精神医療への対応について

- －家族が疲れ切る前に、早めの受診・入院などで、関係者が連携し、家族調整をしてあげることが重要。家族が頑張り過ぎる状況が続くと、退院が受け入れにくくなる。

#### ○各医療機関の機能を踏まえた医療提供体制の在り方について

- －在宅医療を継続する上で、医療機関とかかりつけ医が協力できる体制ができたら良い。カンファレンス等でのようにしたら家に帰れるかなど、医師同士で早めに方針を話し合う場があったらよい。
- －連携はとかくツールの話になりがちだが、結局は顔の見える関係をどうやって作っていくか。とにかく顔が見える関係を改めてどういう形で構築していくか。これからの課題になる。

## 救急医療提供体制確保に向けた取組について

### 経緯

- 令和7年2月25日付医号外「救急医療ひっ迫に備えた対応について」にて、令和6年から令和7年の年末年始にかけて発生した救急等入院医療のひっ迫を踏まえ、平時から、圏域内の関係機関が連携を図り、入院医療等ひっ迫時に迅速かつ円滑に対応することについて示された。
- 救急医療ひっ迫時の円滑な対応に向けては、三次救急医療機関と連携する他病院との体制強化が重要であることから、令和7年11月26日、三次救急医療機関をはじめとする病院及び保健所等を参集した、医療連携にかかる雲南・出雲・大田圏域合同意見交換会が開催された。
- また、病床ひっ迫の一因である感染症の発生状況については、インフルエンザが警報の基準である定点あたり30を超えるなど、ひっ迫のリスクが高まった。
- これらの状況を踏まえ、迅速に情報共有し対応することを目的に、管内医師会、病院、消防、市町、保健所等による大田圏域の救急医療関係機関連絡会を設置し、連携体制を構築することとした。その他、住民や社会福祉施設等への啓発も同時に行うこととした。

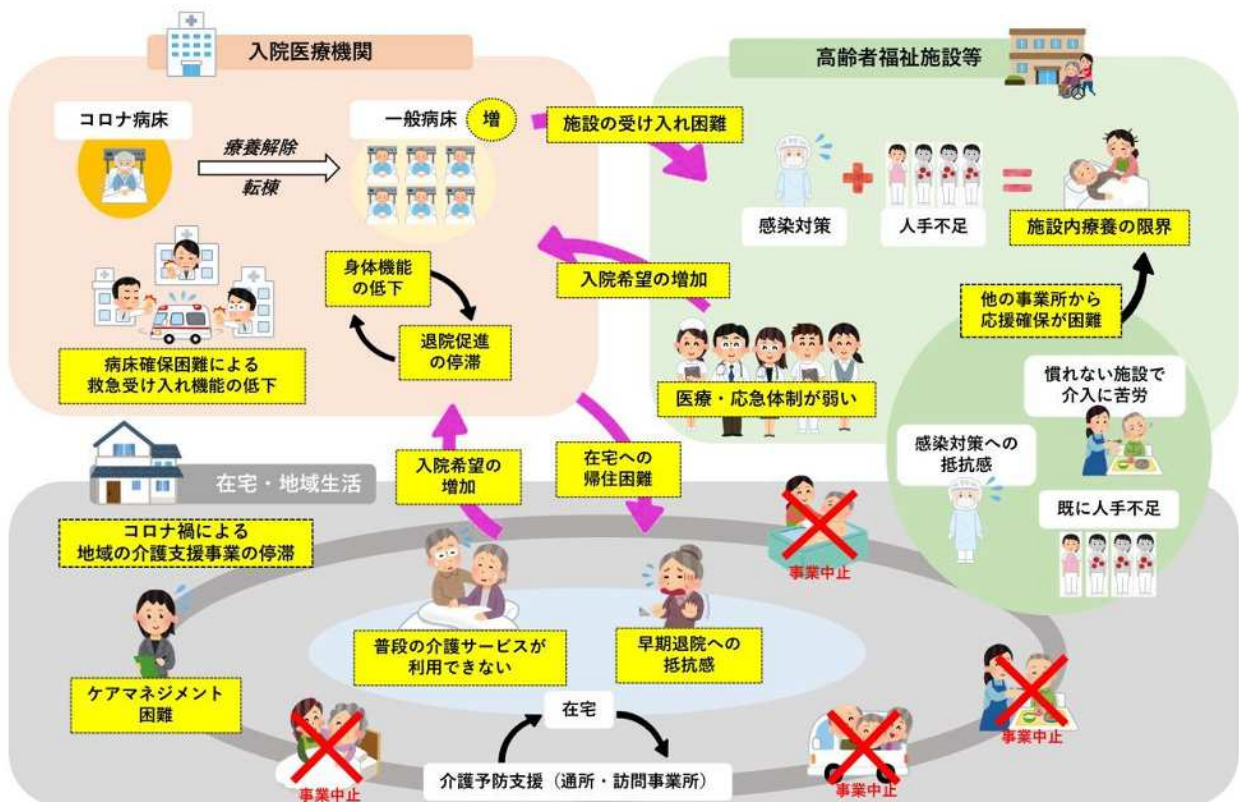
大田圏域の取組

- (1) 地域医療の体制強化  
大田市医師会及び邑智郡医師会による年末年始の体制構築  
大田市医師会では、昨年度と比較し1日増やす等（1月2日）体制を強化
- (2) 大田圏域の連携体制の構築  
大田圏域救急医療関係機関連絡会の設置  
参集：大田市立病院、加藤病院、公立邑智病院、大田市医師会、邑智郡医師会、大田市消防本部、江津邑智消防組合消防本部、管内市町、（必要時）三次救急医療機関  
12月23日：第1回大田圏域救急医療関係機関連絡会の開催
- (3) 住民啓発：救急医療体制確保への協力依頼  
大田市、川本町、美郷町、邑南町の広報誌への掲載
- (4) 社会福祉施設等への啓発：医療機関からのスムーズな退院への協力依頼  
10月2日：入退院連携検討委員会（病院、介護支援専門員、訪問看護、地域包括支援センター等）  
10月16日：大田市立病院地域医療連携室研修会（老健、特養、グループホーム、地域包括支援センター、行政等）  
12月17日：大田市介護サービス事業者協議会 居宅介護支援部会（介護支援専門員等）  
12月18日：大田市立病院が協力医療機関となっている施設とのミーティング（老健、特養、グループホーム等）  
12月25日：邑智郡総合事務組合へ邑智郡の介護保険関係機関への働きかけ等に関する相談

広域的な取組

- (1) 広域的連携体制強化  
11月27日：医療連携にかかる雲南・出雲・大田圏域合同意見交換会の開催

参考：コロナ禍における課題の整理



作成：出雲保健所

# 医療・介護の専門職向け 研修会のお知らせ

Inclusive（インクルーシブ）とは、  
『包括的な』『すべてを包み込むような』  
という意味です。

「インクルーシブな社会」とは、  
障がいの有無や国籍、年齢、性別などに  
関係なく、違いを認め合い、  
共生していく社会を指します。

入場  
無料

3 / 15  
Sun

## InclusiveCooking



## 食を通じた人にやさしい街づくり

～誰もが暮らしやすい社会を目指して～

講師：笠井幸子さん（Seattable代表・かさい食堂女将）

日時：令和8年3月15日（日）

10：00～12：20

場所：あすてらす研修室6

定員：60名（定員になり次第締切）

大田市大田町大田イ236-4

笠井 幸子さんからのメッセージ  
私は、シャルコー・マリー・トゥース病と  
いう神経難病を持つ車いすユーザーで、  
「やわらかメニュー」を提供するかさい  
食堂を営んでいます。

言語聴覚士として病院で働く中で、食べ  
ることに困難を抱える方々と出会い、「そ  
の人らしく最後まで食べる」ことの大切さ  
を実感しました。

臨床家であり当事者として、誰もが食を  
楽しみながら暮らせる地域づくりを目指し  
て活動しています。



主催：大田食支援研究会（通称：食任会）

共催：島根県県央保健所

お問い合わせ先：島根県県央保健所 電話 0854-84-9813  
(島根県大田市長久町長久八7-1)

お申し込みはこちらから  
seat-table ホームページ

